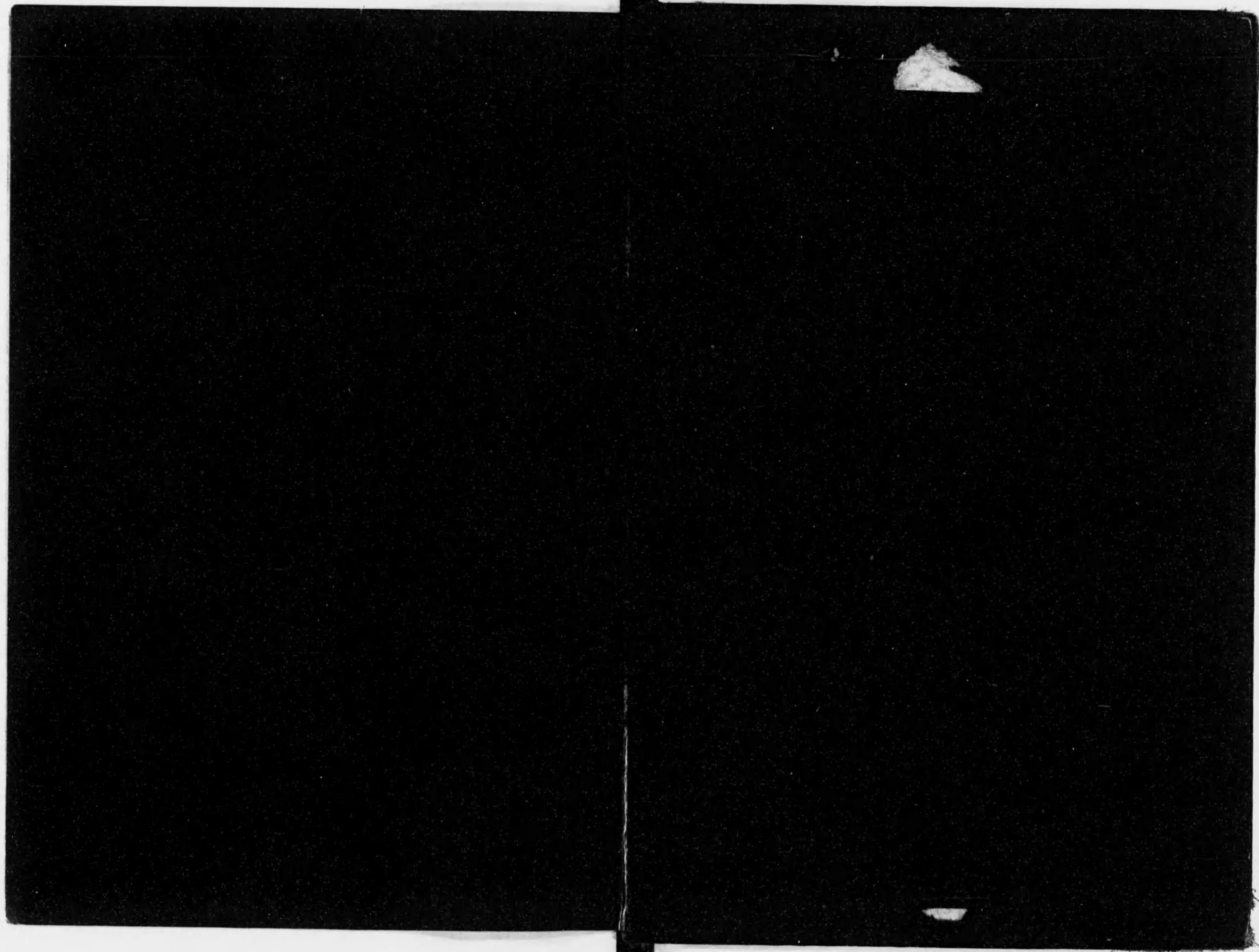


M



始







大塚教授 セーリックマン著
日本法學士関口健一郎譯

租稅轉嫁論

東京博文館藏版

米國コロンビヤ
大亭教授ゼーリグマン著
日本法學士関口健一郎譯

租稅轉嫁論

東京博文館藏版



Handwritten text, possibly a name or date, in cursive script.



344
40

1187



©
Amos A. Seligman



340
600

1187

原書第二版ノ序

第二版ノ出版ニ際シテハ實際上ニハ新著書ヲ成スガ如キマ
デニ第一版ニ大變更ヲ加ヘ沿革、理論ノ兩篇ヲ通シテ變更増
補ヲ行ヒタリ即チ第一版ニ於テハ全期間ニ對シ僅カニ數頁
ヲ費シタルニ過ギザリシ古代ノ英國資料ニ關スル一層細密
ノ研究ニ依リ前篇上卷全體ヲ之ニ費シタル程ニ租稅論ニ關
スル有益ノ材料ヲ蒐集シ前篇上卷ハ其ノ實質全然新トナリ
下卷ニ於テハ重農說ニ關スル一章ヲ加ヘ最後ノ算數說ニ關
スル一章ヲ改作シ其ノ他數章ヲ可ナリ増補シ後篇タル理論
篇ニ於テハ通則一章ヲ挿入シ第五章ヲ全部改作シ第七章ヲ

輸入税及印紙税ノ一層精細ナル研究ニ依リテ増大シ第二章第三章ヲ改正増補シ斯クテ全部ヲ通シテ殆ンド一頁ト雖第一版ト同一ナルモノナキ程ニ充分訂正シ最後ニ書史及索引ヲ加ヘタリ而シテ之等ノ訂正増補ニ因リ本書ガ前ニ第一版ニ對シテ聽サレタル豫想外ノ歡迎ト同様ナル歡迎ヲ受ケ得ルノ確實ナランコトヲ希望スル所ナリ

第二版ノ準備ニ付テハ實ニ同僚諸君ノ貴キ援助ヲ得タリジヨン、ビー、クラーク教授メヨ、スミス教授ハ有益ナル批評ヲ以テ援助セラレアーサー、エム、デー氏ハ本書ノ首尾ヲ通シテ材料及形式ニ關シ詳細ナル助力的提議ヲ寄セラレ他ノ諸友

亦各助力セラレタリ又レーランド、スタンフォード大學ノロックス教授コーチル大學ノハル教授ハ本書中ノ變更及増補ヲ希望スル點ニ付テ余ノ注意ヲ喚起セラレケムブリッジ大學ノマーシャル教授オックスフォード大學ノエッチウォールズ教授ハ二三ノ過失及成シ得ベキ改良ヲ指摘セラレジョージ、ダブリュー、モルガン氏ハ印刷全部ヲ校正スルノ勞ヲ取ラレタリ茲ニ一言謝意ヲ表ス

千八百九十八年十二月

紐育、コロンビヤ大學ニ於テ

エドウィン、アール、エー、セリグマン

自序

余ノ校門ヲ辭シテ内國稅ノ實務ニ執掌スルヤ深ク租稅轉嫁
研究ノ必要且ツ急務ナルヲ感スルト共ニ未タ之ニ關スル邦
文ノ著書ナキヲ遺憾トセリ故ヲ以テ敢テ自ラ揣ラズ公務ノ
傍明治三十五年本書ノ翻譯ニ着手シタリシガ爾來繁忙ナリ
シ職務ハ益々繁劇トナリ一時殆ンド中止スルニ至レリ然ル
ニ爾後租稅ハ益々重ヲ加ヘ稅制ノ整理ハ朝野等シク其ノ必
要ヲ認メ一日モ之ヲ忽ニスベカラザルノ機運トナリ租稅轉
嫁ノ學理的的研究ニ待ツコト益々切ナルモノアルヲ以テ一昨
年轉職以來忙中幾分ノ閑アルヲ幸トシ餘暇ニ舊稿ヲ繼キ以
テ之ヲ公ニスルノ大膽ヲ敢テスルニ至レリ淺學菲才屬文拙

劣ニシテ原書ノ意義ヲ充分貫徹スル能ハザルヲ憾ムト雖讀者ニシテ幾分ノ得ル所アラバ本懐トスル所ナリ終ニ臨ミ非才濫リニ原著者ノ名著ヲ傷ケタルヲ謝シ併セテ本書出版ニ對スル學友法學士柳田國男君ノ好意ヲ謝ス

明治四十二年四月三日

關口健一郎記ス

凡例

- 一、本書ハコロムビヤ大學經濟財政ノ教授ゼーリグマン氏ノ著一八九八年訂正増補第二版 *The Shifting and Incidence of Taxation*. ノ一九〇二年出版ノモノヲ翻譯セルナリ
- 一、文中「ハ原書」ニ當リ人名ニハ右側ニ——ヲ附シ、國名ハ漢字譯ノ普通トナレルモノハ之ニ依リ然ラザルモノハ平假名ヲ用ヒタリ
- 一、ばん、又ハとらすと等ノ如キ譯セザルノ寧ロ了解シ易キモノハ平假名ヲ以テセリ
- 一、原書ニハ殆ンド各頁ニ細字ヲ以テ脚註ヲ附シタルモノ今ハ本文了解ニ必要缺クベカラザルモノ、外ハ總テ之ヲ省略セリ之レ譯者ノ原著者ニ謝スル所ナリ若シ重版ノ機會アラバ參考上必要アルモノハ可成之ヲ譯載セントス
- 一、外國貨幣ハ直チニ圓錢ニ稱呼ヲカヘタルモノアリ又便宜弗ヲ二圓磅ヲ拾圓割ニ換算シタルモノアリ

一 原書ニハ書史及索引アルモ譯書ニハ便宜省略セリ

租稅轉嫁論目次

緒論……………一

前篇 租稅轉嫁論沿革篇……………九

梗概……………九

上卷 古代ノ諸學說……………一二

第一章 一般消費稅論者……………一二

第一節 消費稅ハ貧困ナル消費者ノ負擔ニ歸スルモノニ
アラズトノ說……………一五

マニツォ、オーター、ハウス、フオキエー

第二節 消費稅ハ一般消費者ノ負擔ニ歸ストノ說……………二一

ベテイ、バルナビー、シエリダン、ニコルス、マンレー、ホータン、

テンブル、ド・ウイット、チュカー、チャイルド、ケレー、
ナセント、ヴァンターリント、ホストレー、スウェート、フォスター、
第三節 消費税ハ土地所有者ニ轉帳ストノ説……………四九
匿名記者、バルト子、ダンヴァース、
第四節 消費税ハ商人ノ負擔ニ歸ストノ説……………五二
匿名記者、ロバース、アシン、
第二章 奢侈品單一税論者……………五七
チャムパレン、リチャードソン、チュカー、ニコルス、フォスター、
第三章 家屋單一税論者……………六一
アッケル、ポストレー、スウェート、フォキエー、ホースレー、マッシー、
ヤング、
第四章 一般財産税論者……………六六
カルプバー、デフォード、ドレーク、ウァグスタフ、
第五章 土地單一税論者……………七七
ロック、デーブナント、アスギス、カンチロン、ウード、ヴァンダーリント、

下卷 近代ノ諸學說

第六章 折衷制度論者……………七九
ワルポール、レー子ル、ナシエント、ヒューム、スチュアルト、ヤング、
第一章 重農說……………九三
ケ子、ミラボー、メルシード、ラリアール、ジュホンド、ヌムール、
オード、ラトロー、スン、チュルゴ、フランクリン、ハミルトン、
第二章 絶對說……………一〇
アダム・スミス、リカード、
第三章 均一分布說……………一一
樂觀說
ウヘリー、マンズフィールド、ダイクソン、ヤング、カナール、
クルセル、セニール、シエルブリツツ、ブリトワイツ、チエール、
ド・アロケリー、スタイン、
悲觀說

第四章 資本還元説又ハ償却説……………一三八

ブラウドーン、ホルス、ヤング、グレイ、グ、サルトリウス、ホフマン、ムルバルド、バツシイ、ウオロウス、キ、デスタット、ド、トラシ、バツクスター、ノーブル、ラウ、シエフレー、ピアソン

第五章 折衷説……………一四七

ジュー、ビー、セイ、シスモン、テイ、ガルニ、パリー、デ、ボイ、ノ、ウイニエー、ル、ロア、ポリ、フオン、チュー、ラウ、ボック、ブリンス、スミス、ジ、ヨンス、プ、チャ、ナン、ジ、エーム、ス、ミル、セニ、ヨル、マッカロック、ジ、エーム、ス、ミル、フ、オー、セ、ット、クリ、ップ、フ、レス、リ

第六章 消極説一名不可知説……………一六五

ヘルド

第七章 社會主義説……………一六六

ラッサール、シャーマン

第八章 數量説一名算數説……………一六八

クルノー、ブー、ボウ、ジ、エン、キン、パン、タ、レ、オ、ニ、ウル、ラス、ウイクセル、コニリアニ、パロン、マ、シヤル、エ、ツ、ゲ、ウ、オ、ー、ス

後篇 租稅轉嫁理論篇……………一八四

第一章 通則……………一八四

- 第一項 課稅ノ物體タル貨物ハ永存的性質ヲ有スルヤ將タ一時的性質ヲ有スルヤ……………一八八
- 第二項 課稅物體タル貨物ハ獨占ノ法則ニ支配セララルモノナルヤ將タ競争ノ法則ニ支配セララルモノナルヤ……………一九六
- 第三項 租稅ハ一般的ナルヤ將タ特別的ナルヤ……………一九八
- 第四項 資本ノ移轉ハ完全ニ行ハルルヤ否ヤ……………一九九
- 第五項 課稅物體タル貨物ニ對スル需要ハ屈伸力ヲ有スルヤ……………二〇〇
- 第六項 生産上ノ優劣ノ差等ガ供給ニ影響スル範圍如何……………二〇七
- 第七項 供給セララル貨物ノ生産費ハ均一、遞増、遞減ノ法則中何レニ屬スルヤ……………二一七
- 第八項 租稅ハ限界ニ課セララルヤ將タ剩餘ニ課セララルヤ……………二三五
- 第九項 租稅ノ輕重……………二三八

第十項 租税ハ比例税ナルヤ又ハ累進税ナルヤ……………二三九

第十一項 課税セラレタル貨物ハ終局財貨ナルカ將々中間財貨ナルカ二四一

第二章 農用地税……………二四五

第一項 經濟上ノ地代ニ課スル地租……………二四九

第二項 土地ノ肥瘠又ハ面積ニ從ヒテ均一ニ課スル地租……………二五〇

第三項 土地ノ總收益ニ從ヒ課スル地租……………二五四

第四項及第五項 土地ノ純益又ハ其ノ賣買價格ニ依リテ課スル地租……………二五六

第三章 市街地不動産税……………二六四

第一項 土地所有者ニ課スル場合……………二六九

第二項 家屋所有者ニ課スル場合……………二七〇

第三項 家屋ト共ニ土地ヲ所有スル者ニ課スル場合……………二八三

第四項 賃借人ニ課スル場合……………二八六

第四章 人的財産税及資本並利子税ノ轉嫁……………三〇二

第一項 總テノ資本ニ均一ニ課税スル場合……………三〇四

第二項 資本ニ對スル不均一課税……………三〇八

第一 在來ノ所有者ト新購買者トノ間ニ於ケル資本税ノ轉嫁……………三〇八

第二 債務者ト債權者トノ間ニ於ケル資本税ノ轉嫁……………三一〇

第三 生産者ト消費者トノ關係ヨリ見タル資本税ノ轉嫁……………三一五

第五章 利潤税……………三一六

第一項 總生産又ハ總販賣高ニ課スル租税……………三一七

第二項 總收入ニ依リテ課スル租税……………三三六

第三項 純收入即チ利潤ニ課スル租税……………三四一

第四項 定額課税……………三四六

第六章 勞銀税……………三五〇

第七章 以上各章ニ述ヘタル以外ノ諸税……………三五六

第一節 人頭税……………三五七

第二節 相續税……………三五七

第三節 内國消費税……………三五八

第四節 輸入税及輸出税……………三五八

第五節 印紙税……………三六四

第六節 所得税……………三六八

第八章 結論……………三七二

目次終

租稅轉嫁論

米國教授ゼーリグマン著

法學士關口健一郎譯

緒論

租稅轉嫁ノ問題ハ經濟學ニ關スル問題ノ中ニ就キ最モ複雑ナル者ノ一ナルト同時ニ復最モ等閑ニ附セラレタルモノノ一ナリ勿論從來ト雖多數學者ノ研究シタル所ナリト雖今其ノ所論ヲ科學的資料ニ依リ觀察スルモ亦通俗的資料ニ依リ觀察スルモ共ニ皆バリーノ所謂無學ノ簡單タルヲ免レズ然レドモ租稅制度ニ於テ最モ主要ナル點ハ租稅ガ社會ニ與フル影響ナルヲ以テ財政學上ノ問題ハ一トシテ租稅轉嫁ヨリ重要ナルモノナク租稅ノ轉嫁ヲ正當ニ理解スルコトナカラシ

租税ノ實際ノ影響及租税ノ正邪ニ關シ適切ナル意見ヲ立ツルコト到底不可能ナリ故ヲ以テ吾人ハ從來ノ既ニ唱ヘラレタル學說ヲ論評スルニ止マラズ特ニ意ヲ本問題ノ實際的觀察ニ注グト同時ニ科學的問題ノ解決ニ寄與スル所アラント欲ス、

吾人ハ本論ニ入ルニ先チ用語ニ付キ聊カ説明スベシ吾人ハ課税ノ過程ニ關シ三コケノ觀念ヲ區分スルヲ得即チ第一 租税ハ必ズ何人カニ賦課セラルルヲ要シ第二 租税ハ此ノ賦課セラレタル者ヨリ第三者乙ニ轉移セラルルコトアリ 第三 此第三者乙ガ最終ノ租税負擔者タルコトアリ或ハ又更ニ他人ニ轉移セラルルコトアルコト是ナリ故ニ第一ニ納税スル者必ズシモ最終ノ租税負擔者ニアラズ斯ノ如ク租税ガ甲ヨリ乙ニ轉移セラルル過程ヲ稱シテ租税ノ轉帳 The shifting of the tax) ト云ヒ租税ガ最終ノ納税者ノ負擔ニ落チ着クヲ稱シテ租税ノ轉嫁 (The incidence of the tax) ト云フ然レバ租税ノ轉嫁ハ租税ノ轉帳ノ結果ト云フベシ而シテ眞ノ經濟上ノ問題ハ此ノ轉帳ノ性質ニ存ス、然ルニ不幸ニシテ英語ハ適當ナル學語ヲ有セズ Incidence (轉嫁) ハ人ヲシテ轉帳 (Shifting)

thing)ノ最終ノ結果タルコトヲ思ハシムルガ故ニ租税ノ當初ノ賦課ノ直接ノ結果ヲ意味セズ又租税ノ "Assessment" (賦課)ハ上ヨリ下ニ對スル過程ヲ意味シ下ヨリ上ニ向フ過程ノ特質ヲ示ス語在ラザルナリ佛語ノ Percussion 及以語ノ Percussione (註譯共ニ打擊又ハ過擦ノ義)ハ賦課ニヨル直接ノ結果ヲ意味スル思想ヲ表明ス故ニ此ノ兩國ニアリテハ租税ノ轉帳ハ論理上 Percussion (註譯再度ノ Percussionノ義)ト稱シ其ノ最終ノ落チ着キヲ轉嫁 (incidence, incidenza)ト稱セバ可ナリト雖英語ヲ以テ此ノ場合ヲ言ヒ表ハサントセバ極メテ無作法ナル名辭即チ Original incidence (原始轉嫁)ヲ以テ満足セザルヲ得ズ故ニ形容詞ヲ冠スルコトナクシテ單ニ Incidence ト云フトキハ術語トシテハ最終ノ落チ着キ即チ中間ノ過程ヲ經タル結果ヲ意味ス斯ノ如ク轉嫁ハ結果ニシテ轉帳ハ是ニ至ル過程ナリ世人往々之ヲ混同スルモノアリト雖是注意シテ區別セザルベカラザルコトニ屬ス、加之租税ノ轉帳ト租税ノ逋脱トハ之ヲ混同スルコトナキヲ期スベシ租税ノ轉帳ハ其ノ負擔ヲ自己以外ノ他ノ何人カニ轉移スルニヨリテ租税ヲ負擔セザルモノナルニ逋脱ハ斯ノ如キ轉移ノ事實ナクシテ尙租税ヲ納メザルナリ而シテ租税ハ

元來其ノ負擔ヲ他人ニ轉移スルコトナクシテ尙全然其ノ負擔ヲ免ルルコトヲ得ルモノナルガ故ニ其ノ租税負擔ヲ免ルルニ當リテハ或ハ適法ナルアリ或ハ不法ナルアリ或ハ之ヲ意識シ或ハ之ヲ意識セザルモノアリ例ヘバ密賣買ニ依ルモノノ如キハ不法ニ租税ノ負擔ヲ免ルルモノニシテ租税ノ轉帳無キモ之ニ反シテ新税ノ賦課ニ因リ生産方法ノ改良ヲ獎勵スルガ如キ場合ニ於テハ生産者ハ其ノ租税ノ幾分ヲ免レ而モ其ノ負擔ヲ他ニ移スコトナシト雖之レ適法ニ租税ノ負擔ヲ免ルルモノトス彼ノ歐洲ニ於ケル甜菜糖税及一時米國ニ施行セラレタルラゐすきー税ノ如キ即チ是ナリ而シテ又轉嫁ノ還元(Capitalization of incidence)ト稱スベキモノアリ其ノ詳細ハ後ニ論ズベキヲ以テ茲ニハ之ヲ省略スト雖其ノ主要ナル點ハ課税物件ノ購買者ガ或ル事情ノ下ニ購買價格ヲ低落シ以テ購買者ノ納付スベキ租税ヲ割引スルモノニシテ此ノ場合ニ於テハ租税ヲ免ルルノ事實アルモ而モ租税ノ轉移ナク購買者ハ無意識ニ租税ヲ免ルルモノタリ前ノ二例ハ之レト異ナリ有意ノ行爲ノ結果トシテ之ヲ免ルルモノトス斯ノ如ク租税ノ逋脱ト租税ノ轉帳トノ區分ハ多クノ論者ヲ困迷セシムルヲ以テ吾人モ亦常ニ之ノ點ニ反省スル

ヲ要ス獨逸人ハ意味精密ナル言葉ヲ案出シ轉帳ノ種類ヲ區別セリ例ヘバ租税ガ生産者ヨリ消費者ニ前轉スルカ消費者ヨリ生産者ニ後轉スルカ又ハ消費者ヨリ消費者ニ消轉スルカヲ區別スルガ如キ即チ之レナリ然レドモ英語ニテハ未ダ管テ斯ノ如キ言葉ヲ存セザルナリ而シテ斯ノ如キ言葉ハ管ニ必要ナルノミナラズ租税轉帳ニ關シテ其ノ種別ヲ細密ニ區分スルトキハ其ノ種別ノ細密トナルニ從ヒ此ノ租税ノ負擔ヲ免ルルコトト益々其ノ意味ヲ混亂ニ陷ラシムルノ結果ヲ生スルニ過キズ、

右ノ外多クノ誤謬ヲ來タス原因ハ租税ノ轉帳ト租税ノ轉帳者ニ歸スル負擔トノ區別ナリトス例ヘバ購買者對販賣者又ハ生産者對消費者ノ間ニ行ハルル租税ノ轉帳ヲ研究スルニ當リ吾人ノ問題トスル所ハ租税ノ爲メニ其ノ貨物ノ價格ノ騰貴スルヤ否ヤニシテ若シ價格騰貴スルモノトセバ吾人ハ其ノ騰貴セル丈ハ負擔轉帳セリト云フト雖租税ノ完ク轉帳セラレタルトキニアリテモ販賣者ハ課税ノ爲メニ毫末モ損害ヲ蒙ルコトナシト云フヲ得ザルコトアリ何トナレバ價格ノ騰貴ハ普通販路ノ縮少ヲ來タシ販路縮少スルトキハ假ヒ其ノ貨物ノ價格ハ騰貴ス

ルモ販賣者ノ獲ル所ノ總利潤額ハ從前ヨリ減少スルコトアルベケレバナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ租税ハ單ニ購買者ノ支拂ニ屬スルノミナラズ假令租税ハ完全ニ轉帳セラルルモ尙販賣者モ亦幾分ノ損害ヲ蒙ルモノトス故ヲ以テ租税轉帳ノ研究ハ政府ガ收入シタル租税ガ現ニ問題トセラルル當事者間ニ分配セラルル割合ヲ明カニスルニ存シ決シテ租税賦課ニヨリテ生スルコトアルベキ偶然的又ハ附隨的負擔ノ問題ヲ闡明スベキモノニアラズ、

吾人ハ終リニ臨ミ租税ノ轉嫁ト租税ノ結果トヲ混同セザルコトノ必要ニ付キ一言スベシ租税ハ固ヨリ幾多ノ結果ヲ生スベク或ハ工業ヲ萎縮セシメ個人ヲ貧困ニ陥ラシムルコトモアルベク或ハ生産者ヲ激勵シ個人ヲ富有トナラシムル事モアルベク或ハ社會ニ對シ拭フベカラサル害毒ヲ流シ或ハ必要ナル劇藥タルコトモアルベク或ハ社會全體ヨリ見テ純粹ノ恩惠タルコトモアルベシト雖吾人ノ研究スベキ點ハ租税ガ結局何人ノ負擔ニ歸スルヤニアリ此ノ問題ニシテ解決セラレタル後始メテ一步ヲ進メテ各種ノ階級又ハ各個人ニ對スル租税ノ壓迫ガ如何ナル結果ヲ生スベキヤヲ研究スルヲ得ベキナリ租税ノ轉帳ハ順序道行ニシテ租

税轉嫁ハ其ノ効果タリ而シテ富ノ分配ニ對シテ及ホス變動ハ即チ租税轉嫁ノ効果ナリトス、

故ヲ以テ租税轉嫁ノ論究ハ全ク租税轉帳ノ研究ニ屬シ吾人が眞ニ問題トスル所ハ租税カ或ハ前轉シ或ハ後轉シ或ハ全然轉帳セザルハ如何ナル條件ニ基因スルヤヲ確ムルニアリ而シテ租税現實ノ轉嫁ヲ發見スルハ只ダ租税ガ何レノ方向ニ轉帳スルカ如何ナル理由ニ因リ又如何ナル工合ニ轉帳スルカヲ了解シテ始メテ能フベキコトタリ吾人ハ前篇ニ於テ先ツ轉嫁論ニ關スル詳細ナル批判的沿革ヲ述ベ次ニ轉嫁ノ理論ヲ述ベ後篇ニ於テ先ツ通則ヲ研究シ次ニ主要ナル個々ノ租税ヲ順次ニ考究シ最後ニ財政學ニ適用シ得ベキ一般的結論ヲ述ベントス

前 篇

租 稅 轉 嫁 論 沿 革 篇

梗 概

租稅ノ轉帳及轉嫁ニ關スル著書ハ殆ンド總テノ他ノ經濟上ノ題目ニ關スル著書ト同シク重農學派及アダム・スミスカ分配論ヲ形成セル時代ヲ分界點トシテ前後ノ二階級ニ大別スルヲ得而シテ其ノ時代以前ニ屬スルモノハ吾人ガ之ヲ「古代」ノ諸學說ノ名目ノ下ニ總括スル所ニシテ之ニ屬スル學者ハ殆ント皆英國人ノミナリト云ヒテ可ナリ

アダム・スミス以前ニ於ケル課稅問題ニ關スル英國人ノ著書ハ第十七世紀ノ中葉ニ始メテ公ニセラレ其ノ後約百有余年ノ間二三ノ重要ナルモノヲ除クノ外租稅轉嫁論ハ稅法改正ヲ或ハ辯護シ或ハ攻撃スルガ爲メニ著ハサレタル小冊子ニ時

々散見スルニ過キズシテ租稅轉嫁ニ關スル一般理論ノ思想カ經濟學ノ講究ニ極要ナル地位ヲ占ムルニ至リタルハアダム・スミスヨリ四五十年前ノ事ニ屬ス然レドモ之等ノ政治家及著者ノ意見ハ多少ノ根據ヲ租稅轉嫁論ニ有スルモノナルヲ以テ之等ノ前驅者ヲ租稅轉嫁論ニ對スル實際的關係ニ依リ分類スルトキハ其ノ論旨ヲ明白ナラシムルヲ得ベキガ故ニ之ノ點ヨリ觀察シテアダム・スミス以前ノ著者ヲ分類シテ

- 第一 一般消費稅論者
 - 第二 奢侈品單一稅論者
 - 第三 家屋單一稅論者
 - 第四 一般財產稅論者
 - 第五 土地單一稅論者
 - 第六 折衷制度論者
- ノ六種トス
- 而シテ此ノ經濟上ノ研究ノ全野ハ殆ンド未ダ開發セラレズ參照セラルベキ多數

ノ著書モ其ノ材料極メテ乏シキヲ以テ租稅轉嫁論ノ歷史的發達ノ概要ノミヲ記述スト稱スル著書ハ既ニ多數世ニ存在スト雖吾人ハ之等ノモノヨリモ尙一層詳密ニ沿革篇ヲ論究スルヲ賢シキ方法ナリト信ズ、

重農學派及アダム・スミス以後ニ唱ヘラレタル諸說ハ「近代ノ諸學說」ノ名目ノ下ニ本篇下卷ニ於テ論ズル所アルベシ而シテ此ノ近代ノ諸學說ハ學者ノ間其ノ所說彼此共通ノ點多ク之ヲ區別スルコト常ニ容易ナラザルヲ以テ精密ニ分類スルコト一層ノ困難ヲ感ズルガ故ニ便宜上ヨリ左ノ如ク分類セントス

- | | | | |
|----|------|----|----------|
| 第一 | 重農學說 | 第四 | 還元說 |
| 第二 | 絕對說 | 第五 | 折衷說 |
| 第三 | 分布說 | 第六 | 不可知說 |
| 甲 | 樂觀說 | 第七 | 社會主義說 |
| 乙 | 悲觀說 | 第八 | 數量說又ハ算數說 |

上卷古代ノ諸學說

第一章 一般消費稅論者

消費稅 (Excise) ハ貨物ニ對シ製造者又ハ内國ノ販賣者ニ賦課スル租稅ニシテ輸入者ニ賦課スル關稅トハ全ク異ナレリト雖貨物ニシテ一度輸入セラレタル以上ハ之ニ對シテ内國内稅即チ消費稅ヲ賦課スルヲ妨ケズ而シテ世人ハ一般ニ此ノ内國稅即チ消費稅ハ消費者ニ轉帳スルモノトシ其ノ租稅ガ當初製造者又ハ販賣者ニ賦課セラル、ニモ拘ハラズ尙ホ之ヲ消費ニ課スル間接稅トシテ分類スルヲ普通トスルモ英國ノ學者ハ皆之ノ通俗說ニ賛同スルニアラズ吾人ハ實ニ消費稅ノ轉嫁ニ關シ少クモ相異ナル左記四說ニ區分スルヲ得即チ

第一 消費稅ハ先ヅ販賣者ヨリ消費者ニ轉帳スト雖結局ハ貧困ナル消費者ノ負擔ニ歸スルモノニアラズトノ說

第二 消費稅ハ消費者全體ノ負擔ニ歸ストノ說

第三 消費稅ハ土地所有者ニ轉帳ストノ說

第四 消費稅ハ結局販賣者商業者ノ負擔ニ歸ストノ說

是ナリ

古代ノ著述者中消費稅ヲ主張セシ者ハ消費稅ハ消費セラル、貨物ニ課スル稅ナリトノ表面ノ事實ノミヲ見テ其ノ觀察ノ步ヲ進メザリシガ故ニ直チニ以テ消費ニ對スル租稅トシ其ノ理想トスル所支出ニ對スル課稅ナルヲ以テ此ノ理想ハ一般消費稅ニ依リ最モ容易ニ達セラルトノ意見ヲ懷ケリ而シテ學者ノ多數ハ此ノ說ニ賛同シタリト雖贊成者ト共ニ漸次ニ反對者ヲ生ジ第十八世紀ノ中葉ウオル

ポールノ時代ニ至リ最モ激烈ナル論戰ノ焦點トナレリ
英國ニアリテ課稅ノ基礎ヲ人民ノ消費ニ置クベシト主張シタルハホップスヲ最初トス氏ハ一六四三年英國ガ始メテ消費稅ヲ賦課シタル後幾モナクシテ著ハシタル著書中ニ之ヲ論ジタリ氏ハ近世ノ歐洲大陸ニ於ケル數多ノ稅制改革論者ノ主張スルガ如ク消費ヲ以テ課稅ノ基礎ト爲スコトハ課稅ノ普及並ニ平等ノ理論ヨ

リ自然ニ起ルベキ論理上ノ歸納ナリトシ財產ニ對スル課税ハ人民ノ勤儉貯蓄ノ美風ヲ破壊シ奢侈ヲ獎勵スルモノナリトシ凡ソ人タルモノハ何人ヲ問ハズ必ズ消費スル所ナカルベカラザルガ故ニ消費税ハ如何ニ苦心スルモ何人モ決シテ之ヲ逋脱スルコト能ハズ是レ消費税ガ他ノ租税ト其ノ性質ヲ異ニスル所ナリトシ消費税制度ハ直チニ數多ノ論者ノ賛成ヲ得タリ斯クテクラドックハ其ノ構成當ヲ得タル一般消費税ハ大ニ非難セラレ又ハ免除ヲ請願セラレタリト雖租税負擔上ニ於テ最モ平等ナル賦課ノ性質ヲ有スルモノニシテ消費税ハ利潤ヲ得ントシテ之ヲ販賣スル者及之ヲ購買シテ無意識的ニ其ノ税ヲ支拂フ者ヲ除クノ外ハ何人モ其ノ負擔ヲ荷ハザル者ナリト説明シ又一論者ハ和蘭ノ消費税ヲ論評シ世界ニ於テ最モ公平均等ナル租税ニシテ國民中何人ニモ偏倚スル所最モ少キモノナリトセリ而シテ此ノ制度ガ如何ニ人々ニ嗜炙セラルルニ至リシヤハカルブバーガ「吾人ノ單純ナル消費ニ對スル課税ガ過重ノ負擔トナルコトハ殆ンド皆無ナリト」ノ格言ハ何人モ首肯スル所ナリト云ヘルニ徵スルモ明カナリ氏ハ又他ノ部分ニ於テ注意シテ曰ハク「繁榮ナル國ノ國內消費税ハ一ノ比較スベキ租税ヲモ有セズ

又土地ヨリ何物ヲモ取ラズ勞働者スラモ勞働ノ需要盛ナルトキハ喜ンデ之ヲ支拂フモノナリト

然レドモ消費税ノ施行セラルルヤ忽チ其ノ轉嫁ニ關シ雜誌記者ノ間ニ種々見解ヲ異ニシ諸種異様ノ意見ヲ生ジタリ以下順次之ヲ説明スベシ

第一節 消費税ハ貧困ナル消費者ノ負擔ニ歸スルモノニアラズトノ説

消費税ノ轉嫁ニ關シ兎ニ角ク斷然タル意見ヲ表明セル最初ノ經濟學者ハ夫ノ重商主義ノ有名ナル辯護者タルトーマスマンニシテ氏ハ伊蘭兩國ノ租税制度ヲ論シ兩國制度ノ要點ハ「新ナル工藝品ノ輸入ニ對スル海關稅、生家畜、土地及建物ノ讓與又ハ賣買ニ賦課シタル租税、嫁資稅、飲食店、旅人宿、免許稅、人頭稅、其ノ他穀類、酒類、油鹽等ノ如ク其ノ國ニ於テ製造セラレ其ノ國ニ於テ消費セラルル物品ニ賦課スルノ租税」ヨリ成ルヲ明カニシ之レ等ノ租税ハ「總テ人民ヲ貧弱困窮ナラシムベキ

壓制的攪拌棒タルガ如キ觀アルモ此レ誤謬ノ見解ナリト公言シ勞銀ハ人生ノ必要品ノ價格騰貴ト正比例ニ騰貴スベク從テ時ヲ經ル久シキニ於テハ貧民ニ對セテル租稅ハ勞働使用者ニ轉帳セラレ勞働使用者ヲ經テ其ノ製造品ヲ消費スル富有ナル消費者ニ更ニ轉帳セラルベク富者ハ爲メニ其ノ豪奢ヲ制約シ怠惰ナル傭人ヲ解雇セザルヲ得ザルベキニ至ルヲ以テ斯ノ如キ租稅ノ轉帳ハ善良ナリトセリ故ニ氏ノ意見ハ消費稅ノ推薦セラルベキハ其ノ勞働使用者タル生産者ニ轉帳セラルルガ故ニシテ其ノ負擔ハ社會多數者ノ消費ニ歸スルモノト見ルベカラズト云フニアアルコト明カナリトス

他ノ論者ハ更ニ一步ヲ進メ租稅ハ普通眞實ノ重荷トナルモノニアラズトノ廣キ原則ヲ辯護シ以テ多數ナル消費者ノ負擔ニ歸スルモノニアラザルコトヲ説明セリ即チウオターハウスハ國民ノ貧困ナル階級ヨリ徵收シタル税金ハ貸金ノ騰貴又ハ勞働需要ノ増加ノ形式ヲ以テ再ビ貧民ノ掌中ニ歸シ又租稅ハ一種ノ貸附金ト見做スコトヲ得ベク之レヨリ生ズル利潤ハ速ガニ納稅者ニ還付セラル、モノナリト主張シ又或ル論者ハ人民ニ課稅スルハ則チ人民ヲシテ勤儉貯蓄ノ美風ヲ

成サシムルモノナルコト及租稅ハ國家全體ニ取リテモ又特定ノ個人ニ取リテモ些ノ負擔タラザルノミナラズ却テ全體ニ對シ利益ヲ與フルモノナリト主張シ此ノ說ヲ證明スルニ用ヒタル主要ナル證據ハ 第一 租稅ハ官廳ノ費用又ハ戰費ニ充用スベキモノナルヲ以テ金錢ヲ融通運轉スル効アリ 第二 貧民ハ租稅ヲ以テ備使セラルルモノナルガ故ニ貧民ハ其ノ國家ニ對スル負擔ヲ輕減セラルルモノナリト云フニアリテウオターハウスノ說ニ比スルトキハ確カニ一步ヲ進メタル者ト云ハザルヲ得ズ即チ前者ハ租稅ヲ以テ一種ノ貸附金ナリトシ自ラ満足セシニ後者ハ更ニ進ンデ租稅ハ貧弱者ヲ窮厄ノ中ヨリ救出ス爲メニ設ケラレタル銀行ト見ルヲ適當ナリトシタレバナリ且ツ氏ハ租稅中最モ平等トナルハ消費稅タリ消費稅ニアリテハ納稅者ハ即チ課稅額ノ算定者ニシテ自己ノ消費ニ應ジ自ラ欲スル所ヲ納ムルニ過ギザルヲ以テ消費稅ノ賦課ニ際シテハ何人ト雖壓制セラルルト云フコト能ハザルガ故ニ如何ナル租稅ト雖消費稅ノ如キ善良ナルモノナシトセリ

又同時代ノ一匿名雜誌記者ハ消費稅ガ租稅中最モ平等ニシテ且ツ苦痛ヲ與フル

コト最モ少シト云フニ同意シ租税ノ程度適當ナルトキハ決シテ其ノ消費ヲ妨グ
ルニ至ラザルベシト信ジ十二片ノ砂糖ニ對シ一片ノ消費税ヲ賦課シタリトテ誰
カ砂糖ノ消費ヲ減ズベキ十二片ノりぼんニ對シ二片ノ消費税ヲ賦課スルモ誰カ
りぼんノ使用ヲ節スルモノアラン十二片ノ骨牌若シクハ骰子ニ對シ三片ノ税ヲ
課スルモ爲メニ之ヲ弄スル者ノ減少ヲ見ルコトナカルベク眞珠金剛石扇子及鏡
ニ對シ十二片ニ付キ四片ノ税ヲ課シタルノ故ヲ以テ眞珠金剛石ヲ身ニ飾ルヲ扣
ヘ又ハ扇子及鏡等ノ如キ手道具ヲ購求スルコトヲ扣ヘ得ル婦人幾人カアルト論
ジ商品ノ價格ノ三分一マデ課税スルモ事ニ害ナシトナセリ而モ其ノ時代ノ多數
者ハ之ニ贊同セザリシモノ、如シ
以上述ヘタル如ク消費者ノ多數ハ隱然租税ノ負擔ヲ免ルルモノナリトノ説ハマ
ン及其ノ後繼者ニ依リテ唱導セラレタリト雖遂ニ世ニ行ハレズ其ノ後數十年間
ニ租税ガ貧困ナル消費者ノ負擔ニ歸ストノ説漸ク基礎ヲ成スニ至レリ斯ノ説ニ
付テハ後章ニ述ブル所アラントス而シテ第十八世紀ノ中葉ニ至リマンノ説ニ復
歸シタル別派ノ論者輩出シ其ノ中ニ就キ最モ有名ナルヲホーキエトス氏ハ極

メテ明瞭且ツ銳利ナル論鋒ヲ以テ労働者ニ課スル租税ハ其ノ勞銀ニ課スル直接
税タルト生活ノ必需品ニ課スル消費税タルトヲ問ハズ之ヲ労働者ヨリ他ニ轉移
セザルベカラザルモノナルコトヲ示サント欲シ其ノ通則ヲ定メ貧民ハ租税ノ如
何ヲ問ハズ一モ納ムルコトナク又嘗テ納メタルコトナク又嘗テ納メ得タルコト
ナシ無一物ノ者ハ又何物ヲモ支拂ヒ能ハザルナリト云ヘリ氏ハ勞銀ヲ以テ労働
者カ僅カニ其ノ生計ヲ營ムニ足ルベキ最低額ヲ示スモノナリトノ假定ヲ前提ト
スルガ故ニ若シ課税ノ爲メニ勞銀ノ實力減少スルカ又ハ生活上ノ必需品ノ價格
騰貴ノ爲メ労働者ガ其ノ通常得ル所ノ勞銀ヲ以テ生活ヲ營ムコト能ハザルトキ
ハ其ノ名義上ノ勞銀ハ之ト正比例ニ相場ヲ引キ上ゲザルヲ得ズトセリ又氏ハ課
税ノ爲メニ労働者ノ勞銀昇騰スル場合ニハ其ノ勞銀ハ多クノ場合ニ於テ租税ニ
對スル比例ヨリモ多額ニ昇騰スルモノナリト信ジタルモ敢テ之ヲ論證スルコト
ヲナサズシテ物品ノ生産者又ハ販賣者ニ課税スル場合ニハ其ノ税額以上ニ消費
者ニ轉輾セラルベキコトヲ示サント試ミタリ而シテ此ノ結論ハ利潤ニ關スル場
合ニアリテハ正當ナリト雖其ノ推理ハ勞銀ニハ適用セラレザルモノタリソハ兎

ニ角フオーキエーハ租税ハ富有ナル消費者即チ自己ノ所得ニ依リテ生活スル資
 産家ノ負擔タルベシト確信シ貧民ニ影響スル所最モ多シト云ハルル租税及一見
 貧民自身ノ囊中ヨリ支拂ハルルノ觀アル租税ニアリテスラモ亦然リトセリ
 吾人ハ今實際上ノ結論ニ於テフオーキエートマントヲ對比シ其ノ所論ノ相異ナ
 ル點ヲ示サントスマンハ一般消費稅ヲ辯護シフオーキエーハ同一ノ結果——支
 出ニ課稅スル結果——ハ他ノ方法ニ依リ一層簡便ニ之ヲ收ムルコトヲ得トノ理
 由ニ依リテ反對セリ然ルニ吾人ヲシテ最モ興味ヲ感ゼシメタル點ハ則チ此ノ兩
 者ハ其ノ結論ノ相反對セルニ拘ハラズ消費稅ハ貧困ナル消費者ノ負擔トハナラ
 ズシテ其ノ雇主ニ轉輾スルモノナリトノ點及消費稅ガ消費者ノ負擔ニ歸ストセ
 バ其ノ消費者ハ必ず富有者ナラザルベカラズトノ點ニ於テ相一致セルコト是ナ
 リ此ノ理論ハ其ノ後サ・ジエーム・ス・スチューワルドノ紹述スル所トアリ次ニアダ
 ム・スミス及リカードノ爲メニ大成セラレ遂ニ典據トスベキ卓說ノ一部分ヲ成ス
 ニ至レリ

第二節 消費稅ハ一般消費者ノ負擔ニ歸ストノ說

大多數ノ論者ハ消費稅ハ消費者ノ貧富ニ關セズ一般消費者ノ負擔ニ歸スルモノ
 ナリト爲セリ此ノ廣ク行ハレタル學說ハ夫ノ有名ナル經濟學者ニシテ又統計學
 者タルサ・ウィリアム・ペテイノ紹介スル所ニシテ氏ハ英國ニテ始メテ租稅ニ關ス
 ル一書ヲ著シタルヲ以テ有名ナリ然レバ吾人ガ氏ノ書中ニ現ハレタル租稅轉嫁
 論ヲ稍深ク研究スルモ決シテ徒勞ニアラザルベシ
 氏ハ先ヅ土地ヨリ歲入ヲ得ルニ二方法アリトシ則チ一ハ全領土中其ノ幾何分ヲ
 割テ公共使用ニ供スルモノニシテ他ハ土地ニ課稅スル方法即チ地租ニ依ルモノ
 トス斯ノ如キ地代ノ何分ノ一ヲ分割スル地租ハ一部分ハ土地所有者ノ負擔トナ
 リ一部分ハ消費者ノ負擔ニ歸スルヲ以テ小作人ガ地代以外何等ノ負擔ヲ爲サザ
 ル新開國ニアリテハ之ヲ行フコト正當タリ何トナレバ地租ハ土地所有者ノミノ
 負擔トナルニアラズシテ其ノ土地ヨリ産スル雞卵又ハ葱ヲ食スル者或ハ之等ヲ
 食スル職工ヲ使役スル者ノ負擔ニ歸スルヲ以テナリト氏ハ又其ノ說ヲ續ケテ曰

ハク英國ノ如キ地代ノ年季ノ長期ナル舊國ニアリテハ斯ノ如キ租税ハ地代ヲ更
 新スル土地所有者ノミヲ利スルガ故ニ不當ニシテ土地所有者ハ其ノ收入ノ引上
 グ及其ノ生産品ノ價格ノ騰貴ニ依リ二重ノ利得ヲ爲ス何トナレバ此ノ租税ハ終
 ニ消費者ノ負擔ニ歸ス即チ氏ガ再說スル如ク最モ少シク苦痛ヲ感ズル者ガ最モ
 多ク負擔スル彼ノ不規則ナル消費税ニ變化スレバナリト
 氏ハ又家屋税即チ家賃ヨリ徴收スル租税ヲ論シ此ノ家屋税ノ影響ハ地租ニ比シ
 テ一層不確實ナリトセリ即チ家屋ハ二箇ノ性質ヲ有シ一方ヨリ見レバ出費ノ原
 因ヲ成シ他方ヨリ見レバ利得ノ具タリ其ノ後者ニヨレバ家屋税ハ地租ト同様ニ
 シテ前者ニヨレバ消費税タルヲ以テナリ之ニ依リ氏ノ述ブル家屋税ハ消費者ニ
 即占有者ニ轉帳シ其ノ占有者ニシテ生産者ナルトキハ更ニ一步ヲ進メテ消費者
 ニ轉帳セラルトノ說ナルヲ推測シ得ベシ
 氏ハ海關税ニ付キテハ輸出税モ輸入税モ共ニ皆消費者ニ轉帳スルモノナリトシ
 先ヅ如何ニ海關税ヲ賦課スベキヤノ原則ヲ説明セリ而シテ氏ガ海關税ニ反對セ
 ル重ナル理由ハ海關税ガ生産ノ原料ニ供セラルル貨物ニ往々賦課セラルルニア

リ即チ氏ノ言ニ依レバ海關税ハ未ダ使用ニ供シ能ハザル未製品製成中ノ貨物及
 精製セラルベキ貨物ニ課セラルルモノナリト云フニアリトス
 又氏ガ不平等ヲ理由トシテ反對セル人頭税ハ轉帳セザルモノナリト思料シ一般
 消費税ハ租税中最モ善良ナルモノニシテ一般消費者ニ轉移セラルルモ之レ以上
 轉帳セラレザルモノト断定シ此ノ點ニ於テ一般消費税ハ地租家屋税ニ優ルモノ
 トセリ何トナレバ既ニ述ベタル如ク地租又ハ家屋税ハ一部分ノミ消費者ニ轉帳
 スルモノナルヲ以テナリ
 租税論第一卷ニ見ハレタル一般財産税ニ關スル氏ノ意見ハ英國ニアリテ漸次廢
 滅ニ近ケル斯ノ制度ノ缺點ヲ表明スル點ニ於テ有益ノモノタリ氏ハ此ノ制度ニ
 伴フ種々ノ缺點及弊害ヲ指摘シタル後余輩ハ之ニ對シテ之レ以上多クヲ語ルニ
 堪ヘズ之レ以上ノ骨折ヲ爲サズ單ニ無價値ナリ然リ非常ニ無價値ナリ甚ダ惡ム
 ベクシテ不善ナリト論結スルヲ寧ロ敢テセント云ヒテ其ノ説明ヲ終レリ併モ氏
 ハ他ノ著書ニ於テ一般財産税ハ動産税ヲ誘起スルノ動機タリト信ズルモノアル
 ガ如キ觀ヲナス

氏が出費ヲ課税ノ基礎トスルニ賛成スル理由ハ余輩今茲ニ之ヲ論セズ唯吾人ハ氏が出費ニ課スルヲ以テ課税上ノ理想トスル主義ヨリ續釋シ一般消費税ヲ以テ此ノ理想ニ達スル最モ捷徑ニシテ且ツ最モ安全ナルモノナリト辯護セルコトヲ述ブルヲ以テ満足ス氏ハ其ノ所謂集積的消費税又ハ各種ノ出費ニ通スル標準ニ最モ近シト思料セラルル或ル特種ノ出費ニ對スル税即チ出費ノ目的物中ノ或ル特種ノ物ニ課スル單一税ヲ設クルノ計畫ヲ論ジタリト雖モ氏ハ寧ロ各種ノ必要品ニ對シ其ノ製成セラレ消費ニ適合スルトキニ於テ課税スルノ制度ヲ優レリトセリ然レドモ其ノ制度ノ實行煩雜ニ過クルヲ自覺スルヤ氏ハ之ニ代フルニ最モ計算シ易ク且ツ最モ容易ニ消費セララルル狀況ニアル物品ノ目錄ヲ掲記セザルベカラザル制度ヲ指示シタリ

消費ニ課スル間接税ノ益々廣ク採用セララルト共ニベテイノ意見ハ漸次社會ノ全般ニ普及シ一般消費税ハ第十七世紀ノ末葉ニ於ケル著作者ノ多數ノ熱心ニ辯護スル所トナリ有益ナル或小冊子ノ一著者ハ消費税ノ定義（即内國ニ於テ消費セララルル各種ノ租税トス）ヲ下シタル後更ニ一步ヲ進メ貨物ノ製造者ハ税金ヲ前拂スト雖實ハ

其ノ租税ヲ公衆ニ轉輾シ而モ一般公衆ハ之ヲ覺知セズト説明シ此ノ點ヲ以テ消費税ノ大ナル長所トス何トナレバ若シ其ノ租税ニシテ直接ニ消費者ニ課セラレシカ消費者ハ大ニ不平ヲ鳴ラスベケレバナリ而シテ著書ハ生活ノ必需品ニシテ而モ國民ノ普ク使用スル貨物ニノミ課税スルノ必要ナルヲ切論シ此ノ方法ニ依リテ始メテ政府歳入ノ多大ナルヲ致スノミナラズ課税ヲ普及セシムルノ原理ヲ實行スルヲ得ベシト斷定セリ

消費税ヲ消費者全躰ノ普ク負擔スル所タラシメンニハ如何ニ之ヲ課スベキヤノ論ハバルナビーノ著書ニ見エタリ氏ハ貨物ニ課スル内國税ノ擴張論者ニシテ特ニ麥芽課税ヲ主張シ各人ハ麥芽ノ價格ニ比例シテ租税ヲ支拂フヲ以テ其ノ負擔ヲ感ズルコト普通ノ租税ニ比シテ輕カルベシト説明シ左ノ如ク一般ノ原則ヲ定メタリ即チ如何ナル租税ト雖其ノ益々普通のトナルニ從ヒ或ル特殊ノ場合ヲ除クノ外ハ益々平等トナルト想像セラレベシ從テ余ハ何人ト雖自己ノ消費ニ比例スル其ノ負擔ヲ免ルルコト能ハザルガ如キ租税ハ最モ普通のナルヲ證スルモノトシテ何人モ之ヲ否ム能ハザルモノナリト認ム然レバ斯ノ如キ租税ニ對シテハ

何人モ不平ヲ唱フルコト能ハズ消費スル少キ者ハ其ノ納ムル租税モ亦少カルベシトノ結論ヲ得ル容易ナリト

他ノ記者ハベテイノ説ノ一部分ヲ論評スルニ當リ氏ガ租税中恐ラクハ最モ公平ニシテ且ツ其ノ課税ニ當リ普通世人ノ唱ヘ又ハ引用スル特種ノ方法ヲ要セズト稱スル一般消費税ヲ重要視シ消費税ハ各人自ラ自己ノ税額算定者タルノミナラズ最終ノ消費者ハ無意識的ニ支拂フ租税ニシテ國民ヲ節儉ニ導キ且ツ國富ノ真正ノ根原タル土地ヲシテ其ノ負擔ヲ免レシムルモノナリトス該記者ハ斯ノ如ク其ノ効用ヲ論述スト雖而モ亦決シテ其ノ缺點ヲ忘却スルコトナク土地ヲシテ其ノ過重ノ課税ヲ免レシムルノ目的ハ消費税以外更ニ便宜ナル他ノ方法ニ依リテ達シ得ラレザルヤ否ヤヲ討究セリ

消費税ハ消費者ノ全躰ニ轉帳セラルベシト信ジタル多數ノ論者ハ遂ニ消費税ガ國民ニ利スル所アルヤ否ヤニ關スル疑團ヲ發表シ或ル論者等ハ消費税ノ原則ハ正當ナルヲ認メ單ニ其ノ税率ニ對シテノミ批評ヲ試ムルニ止マリ必要品ニ對スル税率ノ尙一層輕カラシムコトヲ希望シタリ而シテシエリダンハ若シ消費税ニシテ

平等ニ賦課セラレンカ租税中最モ良好ニシテ且ツ最モ簡易ナル租税ナリトシ此ノ説ノ爲メニ世論ヲ鼓吹セリト雖而モ麥酒税ノ如キ特種ノ消費税ヲ論ズルニ當リテハ氏ハ斯ノ如キ租税ハ勞働者ニ課スルヨリハ寧ロ富有ナル階級ニ賦課スルヲ至當ナリト主張セリ然レモ獨身者ニ對スル新税ヲ設ケ消費税ニ代ラシメ得ト云フニ至リテハ氏ハ未ダ全ク消費税ノ眞正ノ利益ヲ解セザルモノ、如シ彼ノ有名ナルブリタニヤ・ラングエンスノ著者モ氏ト殆ンド同一ノ意見ヲ以テ消費税ハ元來富有者ノ餘裕ニ賦課スベキモノナルヲ理由トシテ賛成シ若シ一般ノ必需品ニ賦課セラル、トキハ消費税ハ其ノ税率ノ輕カルベキヲ主張シタリ爾後幾何モナク高率ノ消費税ハ極メテ有害ナルノミナラズ歳入ハ從來課税ヲ免レタル貨物ニ對スル幾多ノ少額ナル消費税ニ依ルニ至ルベキコト主張セラレ終ニ高率ノ消費税ハ所詮消費者ニ影響ヲ及ボスモノナルコト漸次人ノ認ムル所トナリ浪費的消費ヲ低減セシムルノ目的ヨリ特殊ノ消費税ヲ賛成スル論者ヲ見ルニ至レリ例ヘバ郡部ニ龍倫ノ風尙浸入ヲ防遏スル目的ヲ以テ煉瓦ニ課税スルノ發議ヲ爲セシガ如キ即チ是ナリ

以上論ジタル著者ハ生産者或ハ販賣者ニ賦課スル租税ハ消費者ニ轉帳スルモノナリトノ原則ニ依リ消費税ヲ可ナリトシ只歳入ヲ得ルノ方法トシテ囑望ノ程度ヲ人ニヨリ異ニスルノミナリシガ租税轉嫁ニ付テハ之ト同一ノ意見ヲ有スル論者ニシテ而モ消費税ハ消費者ノ負擔ニ歸スルヲ理由トシ總テノ消費税ニ對シ激烈ニ反對スル論者アリ之等ノ反對論者ハ消費税ガ消費者ニ轉帳セラル、ノ原則ハ之ヲ認ムルモ消費者ガ負擔ノ全部ヲ荷ハザル可ラザルノ理由ヲ認メザルモノニシテ此ノ反對論ハ消費税ノ發表セラレタル後幾何モナク發生シタルモノトス消費税反對論ノ漸次旺盛トナリタルノ事實ハ第十八世紀ノ始メニ於テ發刊セラレタル蘇蘭ノ雜誌ニ徴シテ明カナリ該雜誌ハ英國ノ哀ムベキ將來ノ狀況ヲ描寫シ併セテ其ノ因由ヲ叙述シ全國民ノ漸次究乏ニ陥ルベキコトヲ豫言セリ而シテ其ノ特ニ消費税ノ有害ナル結果ヲ痛論シタルハウオルポールガ消費税制度ヲ設ケント計畫セシ時ナリトス乍然消費ヲ課税ノ一般標準トナスベカラズト主張セル二三論者ハ消費税ハ貧シキ階級ニ對シテハ一層烈シキ苦痛ヲ與フルヲ以テ非難スベキモノトセリ

消費税ニ於ケル此ノ缺點ヲ指摘シタルハ前時代ノ著者ノ一人ケリートス氏ハ「貧民ガ其ノ職分ヲ盡スハ納税ニ依ルヨリハ寧ロ労働ト戰闘ニ從事スルニ依ルヲ至當ナリト爲スガ故ニ租税制度ハ貧民ヲシテ殆ンド或ハ全ク租税ヲ負擔セシメザル様定ムルヲ要ス」トノ概念ヨリ立論シ所得ヲ獲ンガ爲メ労働ニ從事スル者ハ其ノ職業ト離ルルヲ躊躇スルノミナラズ政府ガ斯ノ如キ零細ナル納税ニ依リテ得ル歳入ハ殆ンド云フニ足ラザルモノナリトセリト雖斯ノ如キハ消費税ノ非難トシテハ重ヲ置クニ足ラザルモノニシテ氏ノ所論中消費税ニ對スル致命ノ攻撃ハ消費税ノ不平等ナルニアリ之レ富有者ハ貧困者ニ比シ消費スル所多額ナリト雖前者ハ日常ノ必要ナル諸經費ヲ支拂ヒタル剩餘金中ヨリ納税スルニ反シ後者ハ僅カニ生活ノ必需品ヲ得ルニ足ルノ勞銀ヨリ之ヲ支拂フモノナレバナリ此ノ説ハ近世ノ民主黨ニ依リテ維持セラルル説ニ最モ類似スルモノニシテ其ノ後數十年間數々主張セラレタル所ナリ第十八世紀ノ初期ニ當リ大膽ナル一著作者ハ「租税ヲ負擔スルニ最モ不適當ナル人民ヲ主ニ窘究スル苛酷ニシテ且不平等ナル租税ニ反對シ彼等ガ假令精確ニ決定セラレタル觀察ナラズトスルモ尙少ク

トモ眞理タルヲ失ハズト稱ヘタル説即チ土地ニ課税スルトキハ富者ハ貧者ヨリモ多額ノ租税ヲ支拂ヒ土地ノ產物ニ課税スルトキハ貧者ハ富者ヨリモ多額ノ租税ヲ支拂フモノナリトノ説ヲ主張シ更ニ一步ヲ進メ富者ハ土地ヲ所有スルノ故ヲ以テ其ノ土地ニ關スル負擔ヲ支拂ヒ貧者ハ日用品ヲ所有セザルノ故ヲ以テ日用品ニ關スル負擔ヲ支拂フコトヲ明カニセントシタリ氏ハ貨物ニ課スル租税ハ比較的重キ負擔ヲ貧民ニ負ハシムルモノナリトノ所信ニ基キ地租並資金税ヲ贊成セリ

然シナガラ消費税ノ轉嫁ニ關スル此ノ意見ハ第十八世紀ノ中葉ニ至リ漸ク世人ニ忘却セラレントスル危機ニ陥レリ而モ幸ニシテ二著作者ノ抹消ス可ラザル印象ヲ世人ノ腦中ニ刻セルアリ其ノ一人ハ課税ノ基礎ニ關シ舊説ト全然絶縁シ租税ハ財産ヲ標準トシテ賦課スベキモノニシテ消費ヲ標準トシテ賦課スベキモノニアラズトノ原理ヲ創唱シ消費税ハ此ノ根本的法則ニ背戾スルガ故ニ不平等ハ之ヲ免ルルコトヲ得ズト断定シ假リニ消費税ヲ以テ財産ニ課スル税即チ貨物ニ課セラルルモノトシテ觀察スルモ全く不平等ノ租税ト云ハザルヲ得ズ何トナレ

ハ消費税ノ賦課ニ因リテ消費者ニ轉帳スルモノハ單ニ租税ノミニ留ラズ租税以外ニ尙多額ノ轉帳ヲ生ジ生活ノ必需品ニヨリテ貧民ヲ打撃スルモノナレバナリトセリ然ルニ論者ノ消費税ノ害毒ヲ指摘スルニ急ナル途ニ勞銀ハ必需品價格ノ騰貴ニ伴ヒテ増加シ國民ハ一般ニ其ノ弊ヲ蒙ルニ至ルベシト極論セリ若シ此ノ著者ニシテ其ノ所論ノ第二點——消費税ガ社會一般ノ負擔トナルコト——ヨリ寧ロ第一點——消費税ハ貧民ノ負擔トナルコト——ニ重ヲ置カザリセバ遂ニマシ又ハフオーキエト同一派タルベキナリ

消費ニ一般ニ課税スルコトノ途ニ不平等ニ終ルコトヲ論ジタル他ノ一人ハサ！ジヨン・ニコラスニシテ其ノ所論ハ毫モ矛盾ノ點ヲ見ズ氏ハ租税ガ消費者ノ支拂フ所トナルヤ他ニ移ルコトナク消費者ノ負擔ニ歸スルモノナリトノ意見ヲ有セリ故ニ氏ノ説ニ依レバ納税者ノ租税力ハ其ノ所有財産ニ依リテ計算セラルベク其ノ消費ニ依リテ計量セラルベキニアラサルヲ以テ消費税ハ各納税者ノ相對的能力ニ對比シテ均衡ヲ得ルモノニアラズ從テ消費税ハ全然不正タリ而シテ消費税反對論ハ彼ノ多額ノ課税ガ消費者ヲシテ消費ヲ減ズルノ已ムナキ

ニ至ラシメ以テ消費者ニ及ボス損害ノ決シテ尠ナラザルノミナラズ尙又之レガ爲メニ國庫ノ收入ニ巨額ノ損失ヲ來サシムル事ヲ指摘セル論者ノ爲メニ益々盛ントナリデインスイフトハニニヲ加フレバ四ナリトノ算術ノ原則ハ海關稅ニ常ニ適用セラルルモノニアラズトシ既ニ屢々消費稅論中ニ痛論シタル所ナリシガ之レ又内國稅ニモ均シク適用スベキモノナリト論ジタリ

消費稅制ノ可否ニ關スル議論ハ消費稅ノ勞働者ニ及ボス影響特ニ勞働者ノ生活費ニ及ボス結果如何ニアリトス而シテマン及其ノ學派ハ消費ニ課スル租稅ガ勞働者ノ生活上必需品ニ課スル租稅ナル限リハ雇主ニ轉帳スベシト論ジ之ニ反シテベテイ及其ノ學派ハ生活ノ必需品ニ課スル消費稅ハ勞働者ノ負擔ニ歸スベシト論ジタリ其ノ後者ニ屬スル著述家ハ租稅轉嫁ニ關シテハ其ノ說ヲ一ニセシト雖其ノ勞銀ノ高低ニ影響スル點ニ關シテハ各其ノ所信ニ從ヒテ其ノ斷定ヲ異ニセリ第十七世紀ノ末期及第十八世紀ノ初期ノ學者ハ大抵生活ノ必需品ニ課スル租稅ヲ以テ勞働者ノ境遇ヲ改良シ勞働者ヲシテ眞率且ツ用意周到ナラシメ勞働効程ヲ増進セシムルニ大刺撃ヲ與フルモノナリト思料シ勞銀ノ低落ハ即チ生産費

ノ減少ヲ意味スルヲ以テ勞働ニ課スル租稅ハ工業及商業ニ對スル眞ノ刺撃ニシテ又國民ヲ利スルモノナリトシ更ニ歩ヲ進メテ生活ノ必需品ニ租稅ヲ課スルトキハ勞働者ハ其ノ生活ヲ維持スルガ爲ニ勞働ニ精勵シ且ツ勞働時間ヲ延長セサルベカラザルニ至ルベク斯ノ如キハ勞働者自身ニ利益ナルノミナラズ又之ヲ使用者ノ方面ヨリ見ルトキハ即チ勞銀ノ減少ニシテ之レ國民一般ノ利益タリト論シタリ而シテ勞銀ノ低廉ハ經濟上有利ナリトノ信仰ハ徐々ニ長年月ヲ經テ今日ノ普通ニ所謂高キ勞銀ヲ有利ナリトスル經濟論ノ代ハル所トナリ之ト共ニ又勞銀ノ高キハ經濟上有利ナリトノ說ニ應スル生活必需品課稅反對論現ハレタリ斯ノ如ク消費稅ノ辯護者モ攻撃者モ共ニ此ノ觀察點ヨリシテ生活必需品ニ課スル租稅ハ勞働者ノ負擔ニ歸ストノ同一原則ニ基キ其ノ實際上ノ結論ヲ下シタリ』高キ勞銀ハ勞働者ニ不利ナルノミナラズ亦國民全躰ニ不利ナリトノ說ハトーマス・マンレノ著書ニ始メテ述べラレタル所ニシテ氏ハ英國が製造品ノ生産ニ關シ和蘭ト競争シ能ハサル主ナル原因ハ英國ニ於ケル勞銀ノ高キコトナルヲ示シ尙又勞働者ハ勞銀騰貴スレバ其ノ騰貴シタル額ハ飲酒ノ資ニ供シ勞銀低廉ナル

時ニ比スレバ更ニ窮乏スルノミナラズ多額ノ勞銀ヲ得ル場合ニハ從テ勞働日數ヲ減少スルモノナルガ故ニ高キ勞銀ハ勞働者ニ些ノ利益ヲ與フルモノニアラズト論ジタリ

氏ノ後幾何モナク高キ勞銀ノ「害毒」ニ關シ殆ント同一ノ說ヲ爲シ「生活ヲシテ更ニ眞率ナラシメ生活費ヲ節約セシメンニハ勞働者ノ勞銀ヲ低減スルニカムルヲ要スト論ジタル論者アリ

マンレイ及其ノ匿名繼承者ハ勞銀ノ課税ニ關シ特殊ノ方法ヲ提議シタルニアラズマンレイハ英國ノ特ニ注意スヘキ點ハ勞銀ヲ低廉ナラシムルニアルコトヲ概論セルニ止マリ匿名論者ハ勞銀ヲ低落セシムヘキ激烈ニシテ而モ間接ナル方法ヲ推薦セリ然ルニ此ノ說ノ一度發表セラルルヤ其ノ明カナル結果ニ關シテ何人モ注意セザルヲ得ズ直チニジョン・ホータンノ著書中ニ課税權ヲ利用シテ社會ノ改良及勞働制度ノ具タラシムルノ要求現ハレタリ斯ノ論ハ恐ラクハ氏ヲ以テ嚆矢トス

氏ハ該事項ヲ論ジタル章ノ冒頭ニ於テ「食料廉ナルトキニ比スレバ食料高價ナルトキハ英國ハ更ニ節約ヲ行ヒ勞働者ノ生計富裕トナリ製造品ノ價格ヲ低落スルニ至ルベシ」トノ通則ヲ述ベタリ氏ノ原則ノ大前提ハ「食料豐饒ナレバ必ラズ倦怠ヲ來スモノナリ」ト謂フニアルガ故ニ勞働者高キ賃銀ヲ得ルトキハ勞働ヲ休ミ飲食ニ耽リテ其ノ所得ヲ消耗ス現ニ英國ノ普通ノ勞働者ハ三四日間ノ勞働ヲ以テ其ノ一週間ノ生計ヲ支持スルノ所得ヲ獲ルモ若シ其ノ需要スル食物ニ對シ多額ノ金錢ヲ支拂ハザルヲ得ザルニ至ラバ勞働者ハ更ニ勞働ニ精勵シ其ノ生産ヲシテ多大ナラシムルニ至ルベシ然レバ食料ノ價格ヲ騰貴セシムルトキハ勉強ト餘裕ヲ生セシムベキナリ故ニホータンハ物價ヲ人爲的ニ高價ナラシメンガ爲メニ穀類ニ輸出獎勵金ヲ與フルノミナラズ麥酒其ノ他ノ酒精含有飲料ニ課スル消費稅ヲ増徴シ及「毛糸」ニ對シ「一ポンド」ニ付「一グロート」ノ消費稅賦課ノ提議ヲナシ此ノ結果國民ノ劣等社會ヲシテ優等ナル職業ヨリ他ニ轉ズルコトナカラシメ且ツ「食料品騰貴ノ爲メニ已ムヲ得ズ從前ヨリモ勞働ニ勵精ナラザルヲ得ザラシメ從テ製造品モ亦廉價トナルベシ」ト論ジタリ

ペテイノ租稅轉嫁ノ通則ハ既ニ説明シタル所ナルガ氏ハ其ノ後ノ論文ニホータ

ンノト内容同一ナル意見ヲ公ニシ特ニ或ル種ノ租税及公課ハ王國ノ富ヲ減少スルヨリハ寧ロ増加スベシトノ問題ヲ掲ゲ食料品ノ價格廉ナルトキハ勞働者ヲ得ルコト困難ナルガ故ニ日常ノ生活必需品ニ課税スルハ最モ望マシキコトナリト推奨セリ

當時代ノ學者ノ多數ハ生活費ノ増加ハ勞働ヲ獎勵ストノ思想ヲ懷抱シタリト雖租税ノ媒介ニ依リ人爲的ニ物價ヲ高カラシメント企圖シタルモノニ至リテハ殆ンド絶無ナリト云ヒテ可ナリウリアム・テンブルノ如キハ愛蘭ノ困難ハ愛蘭ノ人口増加ニ依リテ生活必需品ノ價格ヲ騰貴セシメ一家族ノ者ヲシテ男モ女モ共ニ各其ノ業務ニ勵精ナラシムルニ至ラバ之ヲ救済スルコト容易ナリトシ之ニ次テ尙一論者ハ食料ノ最モ廉價ナル時ハ勞働ノ最モ高價ナル時ニシテ生活必需品ノ騰貴ハ毫モ勞働者ニ損害ヲ與フルコトナク又生産者ノ生産費ヲモ増加スルコトナキヲ主張スルニ力メタリ

然ルニ租税ハ國民ヲシテ節約ニ至ラシムルモノナリトノ説ハ第十七世紀ノ末期ニ當リ英國ノ大競争者タル和蘭國ノ實蹟ニ徴シ英國人ノ多少知ル所トナレリ之

レテンブルノ如キ著者ガ絶ヘズ和蘭ニ就キ注意ヲ喚起シタルノミナラズ和蘭ニ於ケル消費税ノ結果ナリト想ハルル大ナル便益ハ和蘭ノ著書ニヨリテ幾多ノ證明ヲ得之等ノ著書ハ英語ニ翻譯セラレ英人ニ紹介セラレタレバナリ今其ノ一例ヲ舉グレバ彼ノ有名ナル政治、格、言ト題スル書ノ著者ハ勞働者ニ課スル消費税ヲ辯護シテ曰ハク金錢ヲ消費税ニ依リ徴收スルトキハ其ノ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハズ總テ一般人民ヲ刺撃シテ機敏精勵且ツ節約ナラシムト英國ニテハ該書ノ著者ヲ彼ノ有名ナル和蘭國ノ政治家ジョン・ド・ウイトナリトセルモ之レ誤謬ナリシ

低廉ナル勞銀ノ可否ニ關スル此ノ學說ハ第十八世紀ノ中葉ニ至ルマデ行ハレ其ノ頃ノ重ナル辯護者ノ一人ヲヨシア・タッカートス氏ハ意ヲ國民ノ下等社會ニ注キ下等社會ニシテ殆ンド監督セラレザルカ或ハ全く監督セラレザランカ不道德ニ流ルベク不道德ハ金錢ノ浪費ヲ伴ヒ浪費ハ其ノ勞働ニ對スル勞銀ノ騰貴ニ依リテ填充セラルベク然ラザレバ更ニ一層有害ナル方法ニ依リテ填充セラレザルヲ得ズト主張シ且ツ曰ハク英國ニテハ男子ノ不良ナルコト筆紙ニ盡シ難ク勞銀

騰貴シ食料品低廉ナルニ從ヒ益々品行不良トナリ貧究トナリ怠慢トナレリト氏ハ更ニ進ンデ「自ラ被服ノ大製造家ニシテ而モ機敏ナル一紳士」ノ生活必需品ニ特別税ヲ課スル計畫ヲ論ジタリ此ノ紳士ノ觀察ニヨレバ「穀類并食料品ハ異數ノ高價ニシテ非常ナル生活困難ノ年ハ労働ノ成績最モ佳良ニシテ且ツ其ノ勞銀ハ最モ低廉ナルモ物價低廉ナル年ハ労働者怠慢ニ勞銀ハ騰貴シ労働ノ成績ハ不良ナルモノナリ」然レバ此ノ紳士ハ生活必需品ニ課シタル高額ノ租税及消費税ハ決シテ貿易ノ妨害トナルモノニアラザルノミナラズ寧ロ貿易ノ主タル保持者トモ稱スベキモノナルヲ以テ貧民ヲシテ労働カ飢餓カ二者ノ一ニ居ラシムルノ程度マデ租税ヲ高メザル可ラズト云ヘリト附言シ此ノ計畫ニ賛成スベキ點ノ存在スルコトヲ認メタリ然レドモ氏ハ「同情ニ富ム感情深キ人」ナルヲ以テ熟考ノ後此ノ計畫ニ聊カ疑ヲ狭ミ一方ニハ移住ヲ獎勵スルト同時ニ他方ニハ撰擧權ノ金錢上ノ資格ヲ高メントズル氏ノ計畫ニ依リテ同一ノ結果ヲ得ルノミナラズ「勞銀ヲ低廉ナラシメ労働者ノ結合ハ總テ之ヲ豫防シ得ベク此ノ結果恐ラクハ道德ヲシテ非難ヲ蒙ル所ナカラシメ勞銀ハ他ノ商業國ノ何レヨリモ低廉ナラシムルヲ得ベシ」

ト思考セリ然ルニ氏ハ其ノ後稍々説ヲ變更シ奢侈品ニ對スル直接税ノ辯護者トナリタルノミナラズ勞銀ノ低廉ハ有利ナリトノ意見ヲ全然放棄スルニ至レリ勞銀ハ食料品ノ價格ノ騰貴ニ伴ヒテ騰貴スルモノニアラズトノ説ハ小麥輸出ノ制限ニ反對シタル二三ノ論者ノ爲メニ普及セラレタリ即チ該論者ハ輸出制限撤去ニ因リ價格ノ騰貴スルヲ否定セズト雖食料品ノ價格ノ騰貴ハ勞銀ヲ騰貴セシムルヨリモ寧ロ却テ労働者ヲ勤勉ナラシムルモノナリト認メタリ例ヘバアイサ・ヤングノ如キハ「食料品ノ價格同一ニシテ勞銀ノ騰貴セル場合ナキヲ叙述セルノミナラズ更ニ進ンデ労働者ハ一般工業ニ依リテノミ其ノ生活ヲ保持シ而シテ一般工業ガ其ノ根ヲ國內ニ鞏固ニスルニ先チテ其ノ生活ハ困難トナレル」コトヲ説明シ語ヲ續ケテ曰ハク「製造業ヲ最大主要ノ産業トスル國家ニアリテハ重税ニ依リテハ勞銀ハ必然騰貴セザルヲ得ザルナリト」消費税ハ労働者ノ利益タリトノ理論ヲ最モ完全ニ解説シタル者ハアダム・スミスニ僅ニ先ンシタルテンブルノ匿名著書トス一七六五年倫敦ニ於テ食料品ノ高價ト仕事ノ缺乏トニヨリテ労働者社會ノ騷擾起リタリシガ氏ハ之ニ付キ一小冊子

ヲ公ニシ高キ物價ハ事業ヲ刺撃シ繁盛ニ赴カシムルヲ以テ労働者ハ爲メニ利益ヲ受クルコトヲ證明セントセリ其ノ後五ケ年ヲ經テ氏ハ之ヲ訂正増補シテ再版ヲ刊行スルニ際シ「租税ハ勞銀ヲ低落セシムルノ傾向ヲ有スルモノナリトノ奇論」ヲ掲ゲ「食料品廉價ナルトキハ労働ノ常ニ比較的高價ナルコト」ハ何人モ能ク知ル所ノ眞理ナリトシテ説明セリ而シテ此ノ著書ノ基礎ヲ成セル自明ノ原理ヲ概括スレバ即チ 第一 人類ハ一般ニ逸樂ト放慢トニ流レ易キ天性ヲ有シ人ヲシテ労働ト勤勉ニ赴カザルヲ得ザラシムルモノハ絶對的必要ヲ措テ他ニ何物モアルコトナシ 第二 貧民ハ一般ニ唯ダ生命ヲ維持スルニ必要ナル資料ヲ得ンガ爲メニ又ハ下等ナル嗜慾ノ資ヲ得ンガ爲メニ労働スルモノナルガ故ニ一度之ヲ得ルトキハ再ビ其ノ必要ニ迫ラルルマデハ又労働スルコトナシ 第三 労働ノ斷ヘズ使用セラルルハ労働者自身ノ爲メニモ又社會ノ爲ニモ最モ善良ナルモノナリト云フニアリトス

テンプルハ食料品甚ダ高價ナルトキハ貧民ノ職業ヲ求ムルコト一層急ナルヲ以テ斯ノ如キ場合ニ於テハ労働ノ供給増加シ從テ勞銀ヲ低落セシムルモノナリト

シテ曰ハク「斯クテ一般工業ハ直チニ着手セラルベシ何トナレバ労働者ハ職業ヲ與ヘラレンコトヲ求ムルガ故ニ殆ンド勞銀ノ高下ヲ問フコトナクシテ製造家ノ門ニ群集シ平素一週間ニ三四日ヲ労働シタルモノハ四五日ヲ労働スルニ至ルベク而シテ労働モ亦一種ノ商品ナルガ故ニ斯ノ如キ状態ノ下ニアル労働ハ勢ヒ下落スベキ傾向ヲ有シ人工的作爲又ハ自然的事故ノ起ラザル限りハ必ラズ低落スベシ然レバ食料品高價ナルトキハ製造場ニ於ケル勞銀ハ下落スベキ傾向ヲ有ストノ奇説ハ斯ノ如キ經驗ニ依リテ説明セラレ證明セラレタリ」ト氏ハ更ニ進ンデ此ノ提案ノ他ノ方面ヨリ食料ノ價格低落スルトキハ勞銀ハ騰貴スルノ結果ヲ來スモノナリトノ理ヲ證明セント試ミ和蘭ノ實驗ハ氏ノ説ニ有力ナル實例ヲ供シタリト雖氏ハ労働者ニ對スル租税ノ増加ヲ主張シタルコトナク只ダ消費税又ハ輸入税トシテ生活必需品ニ課セラレタル租税ハ國民一般殊ニ労働者ニ善良ナル影響ノミヲ與ヘ決シテ何等ノ弊害ヲ及ボシタルコトナキヲ指摘スルニ力メタリ」上述ノ如ク此ノ理論ノ最モ充分ナル説明ハ前記ノ著書ニ掲ゲラレタリト雖此ノ理論ニ包含セラルル觀念ヲ最モ強ク且ツ格言的言語ヲ以テ表示シタルハテンプル

ルノ他ノ著書ニシテ吾人が引用セル所ハ皆其ノ書ニアリ而シテ氏ハ「貧民ヲシテ其ノ品行ヲ方正ニシ且ツ勤勉ナラシムル唯一ノ方法ハ生活上ノ日常必需品ヲ得ル爲メニ食事ト睡眠トノ時間ヲ除キタル他ノ時間ヲ擧ゲテ勞働スルノ外ナキ必要ニ迫ラレシムルニアリ」ト爲シ和蘭ノ實驗ニ論及シタル後最上ノ策ハ「豐饒ノ時ニ於テ生活必需品ニ課税シ以テ資金ヲ集收スルニアリ」ト論斷セリ

上述セル幾多ノ著述家ハ實際ニ於テハ各其ノ説ヲ同フスルモノナルヲ以テ之ニ反對ナル意見ハ勞力ヲ得ルコト困難ナルガ如キ觀アリト雖低廉ナル勞銀ハ一國ニ取リテ必ズシモ利益トナルモノニアラズ及租税ニ依リテ勞銀ヲ低落セシムルノ要ナシトノ説ハ初メハ經濟論者ノ賛成ヲ得ザリシガ次第ニ學者及實際家ノ賛成スル所トナレリ

低廉ナル勞銀ハ國家ニ有利ナリトノ説ヲ始メテ否定シタルハ恐ラクハ「ジョシア・チャイルド」ナラン氏ハ「マンレイト」ノ論戰ニ於テ英國ノ商業ヲ敗殘セシムルモノハ即チ不廉ナル勞銀ナリ」トノ説ヲ取ラス却テ「全國ヲ通シテ一般ニ勞銀ノ高キハ其ノ國ノ富メルヲ最モ確實ニ證明シ勞銀ノ低廉ニ赴クハ其ノ國ノ貧弱ナル證據ナ

リ」トノ原則ヲ設ケ勞銀ヲ低廉ナラシメントノ計畫ハ有害ナル結果ヲ來タシ國民ヲ勞銀高キ國ニ移住セシムルニ過ギスト説明シテ曰ハク「吾人ノ祖先ハ法律ヲ以テ勞銀ヲ制限スルノ政策ヲ取レルガ故ニ（假ヒ實効ヲ奏セザリシト雖吾人ハ他ノ商業國ニ比シ此ノ事ニ關シテハ一層優レテ賢明タリ然レバ吾人ハ今後ト雖常ニ此ノ事ニ付キ賢明タラザルベカラスト然リト雖氏ハ從前ヨリ唱ヘラレタル食品ノ高價ナルハ勞働者ニ有利ナリトノ説ヲ捨テタルモノナラザルガ如シ氏ハ從來ノ學者ト同一ノ態度ヲ以テ高價ナル食料品ノ工業ニ對スル影響ヲ論議シ終ニ消費税ハ世人ヲ儉約ナラシムルモノナリト論スルニ至レリ故ニ氏ヲ以テ財政學上ノ問題ニ關シ舊派ノ學說ニ反對シタル者ナリトスルハ失當ナリトス

既ニ他ノ問題ニ關シ其ノ意見ヲ紹介シタル「ジョン・ケレー」ハ高キ勞銀ヲ可トスル學者中最モ明快ニ論斷シタルモノニシテ氏ハ「勞銀ハ英國ノ製造業ヲ阻喪セシメ又ハ其ノ生産物ノ改良ヲ阻害スルヤ」ノ問題ヲ提起シ「生産物モ製造業モ貧民ノ勞銀ヲ低廉ナラシムルコトナクシテ共ニ有利ニ發達スベシ」ト説明シテ此ノ問題ヲ解決シ尙歩武ヲ進メ第一農業ニ付テハ名義上ノ勞銀ハ食料品ノ價格ト共ニ變動

スベキコトヲ忘ルベカラサルガ故ニ勞銀ノ低落ハ食料品ノ價格低落ヲ意味シ食料品價格ノ低落ハ土地ノ價格ノ低落ヲ意味ス然レバ農産物ノ價格ヲ低落セシメザレバ勞銀ヲ低落セシムルコト能ハス農産物ノ價格低落スレバ土地ノ價格モ低落スベキコト必セリト論ジ第二製造品ニ關シテハ世人ノ知ル所ハ只ダ其ノ價格ガ勞銀ノ低落ニ伴フ事ナク而モ絶ヘズ低落スト云フニ過ギズト雖モ斯ノ如キハ如何ニシテ發生シタルカ之レ製造者ノ才智及製造方法ニ加ヘラレタル改良ノ結果ナリト論シ尙此ノ結果ヲ來タスニ器械ガ如何ニ有力ナルカヲ説キ新シキ計畫ハ日ニ日ニ吾人ノ製造ヲ簡易ナラシメ貧民ノ勞銀ヲ減少スルコトナク製造者ノ頭腦ニ依リ貨物ヲ廉價ニ生産スト論結セリ

以上ノ所論ハ工業ニ關スル最近ノ思想ト一致スルモノアリト雖之ヲ租稅問題ニ適用シタルコトハ殆ント無カリシガ如シ其ノ以後ニアリテハ他ノ問題ヲ論スルノ際勞銀課稅ノ不得策ニ論及シタルモノ往々ニ存シ就中或ル論者ノ如キハ「下級人民ノ勞働ガ商業國民ニ對スル結果ハ重大ナルヲ以テ決シテ之ヲ輕視シ又ハ等閑ニ附スベキモノニアラズ」ト論ジ其ノ後數年ナゼントハ熱心ニ他事ハ兎ニ角商

品ニ課稅スルモ爲メニ一個ノ貨物ヲモ生産スルコト能ハザルハ確實ナリ課稅ハ懶惰者ヲ勤勉ナラシムルコトナク又浪費者ヲ節儉ナラシムルコトナシト論ジタリ而シテ十八世紀ノ中葉ニ至リテハ消費稅論者ノ前提及結論ニ對シ一層激烈ナル攻撃現ハレタリ

ヴァンターリンハ之等ノ論者中最モ有力ナル者ノ一人ニシテ其ノ所論ヲ一見スルトキハ商業ノ繁榮ハ勞銀ノ低落ニヨリテノミ得ラルベシト論ズルガ如シト雖而モ氏ハ斯ノ如キ理由ニ基キ必要品課稅ノ廢止ヲ主張スルニ拘ハラズ實ハ勞銀ノ一層高カルベキヲ熱心ニ辯護スルモノナリ氏ノ目的トスル勞銀ノ低減ハ租稅ノ廢止及通貨ノ増加ニ基ク外觀上ノ低落ニ過ギズ氏ハ斯ノ如クスルトキハ物價ハ一層甚シク下落シ物價ノ下落ハ比較上當然勞銀ノ騰貴トナルト思考セリ氏ハ實ニ勞働者ノ生活程度ノ高上ハ非常ニ望マシキコトナリトノ說ノ強キ信者ニシテ近來非常ニ有力トナリタル說——勞働者ハ消費者ノ大部分ヲ占メ有利ナル生産及一般ノ繁榮ニ動力ヲ供スル大消費ハ消費者ノ購買力ニ屬ス——即チ高キ勞銀及勞働者ノ生活程度ノ高上ヲ可ナリトスル說ノ首唱者ト云フモ可ナリ

其ノ後二十年サ！ジョン・ニコルスハ本問題ノ根本ニ立チ入り「重税ヲ消費ニ課スルニ依リテ爲メニ労働者ヲ質朴ナラシメ彼ノ佛國人ノ如ク草根木皮若シクバ水トばんヲ用ヒ彼等ハ生活スト云ハンヨリハ寧ロ餓死スト云フベキ程節儉ナラシムルカ又ハ乾魚若クハ乳油渣ニテ満足スル和蘭人ノ如ク節約ナラシメ得ト信ゼバ之レ實ニ自己ニ諂リ過グルモノト云フベク労働者ガ既ニ之レ以上ニ勞銀ノ騰貴シ能ハザルヲ心中ニ覺悟スルトキハ身ヲ労働界ヨリ脱シテ置ク所ニケアルヲ知ラン即チ一ハぱりしゆニシテ他ハ強盜ノ群之レナリト説明セリ

新主義ノ代表者中最モ多ク世ニ知ラレタルハポストレイスウエートナリ氏ハニコルスノ所論中前段ニ引用セル部分ヲ抄寫シ労働者ニ課税スルニ反對シ勞銀ハ食料品ノ價格ニ從ツテ決定セラル、コトヲ主張シ課税ノ爲メニ勞銀騰貴セバ生産費ハ増加シ決シテ減少スルモノニアラズ從テ國家ハ外國トノ競争上不利益ノ地位ニ立チ其ノ結果労働者ヲモ包括スル社會全體ノ衰滅ヲ招グベシトセリ氏ノ意見ニヨレバ課税ノ結果トシテ人爲的ニ勞銀ヲ騰貴セシメバ其ノ國ノ製造品ノ「價格騰貴」ヲ來タシ關係者ハ總テ只ダ害ヲ蒙ルニ過ギズト雖氏ハ又他ノ著書ニ於

テ自然的原因ニ因ル勞銀ノ騰貴ト労働者ニ餘暇アルコト、ハ製品ヲ良好ニシ且ツ其ノ産額ヲ多カラシムル最モ確實ナル保證ナリト説明セリ同時代ノ學者マツシ「ハ消費税ハ労働者ノ「苦痛税」ナルコトヲ證セントセル著書ニ於テ力ヲ極メテ同一ノ結論ヲ主張セリ

此ノ點ニ關シテハナサニアル「フォースター」ノ所論最モ明快ニシテ他ニハ之ニ過グルモノナシ氏ハ「生活ノ必需品ニ對スル重税ハ其ノ結果トシテ之等ノ貨物ノ生産額ヲ増加スルニモ至ルコト並ニ貧民ハ其ノ感ズル生活上ノ必要ノ程度ニ相應シテ精勵スルモノナルコトヲ主張スルヲ難シトスル輩ヲ痛罵シ斯ノ如キハ即チ「私」人生活ニアリテ貪慾者カ熱心ニ把持シ自己ノ目的ニ進ムニ決シテ過ツコトナキ主義」ナリト呼ビ乍而斯ノ主義ヤ人道ニ反シ且ツ虚偽ナリトノ言ヲ加ヘ尙其ノ必ラス虚偽ナラザルベカラザルコトヲ示サントシ若シ仕事ノ益々困難ヲ加フルニ從ヒ其ノ勞銀益低廉ナリトセバ貧民ハ課税ノ爲メニ精勵トナラサルノミナラズ寧ロ其ノ反對ニ走ルニ至ルベシト言明セリ

之レ即チ議論變轉ノ支點ヲ示スモノニシテタツカイノ如キハ其ノ前説ノ非ナリ

シヲ悟リ勞銀高キ國ハ勞銀低キ國トノ競争ニ勝ヲ制スルモノナルコトヲ證明セ
 ント欲シ特ニ一書ヲ著ハシテ曰ハク勞銀ノ高キハ當然生産費ノ大ナルヲ意味ス
 ルモノニアラズ假ヒ勞働者ニ支拂フ勞銀ハ高クトモ勞働者ニシテ大ニ其ノ技ニ
 熟練ナルトキハ之ヲ償ヘバナリト氏ハ尙問ヲ發シテ曰ハク富國ニ於テ敏捷器用
 ナル技術者ニ支拂フ一日二志六片ノ勞銀ハ貧國ニ於テ魯鈍不器用ナル失錯者ニ
 支拂フ一日六片ノ勞銀ヨリ低廉ナルニアラズヤト之ト同シク又シヨムベルグハ勞
 銀低キ國ノ勞働ハ勞銀高キ國ノ勞働ヨリモ比較的不廉ナリト説明シテ一層新シ
 キ主義ヲ發表セリ

以上述ブル所ニヨレバ第十八世紀ノ第三期ニ於テハ勞働ニ對スル租稅ハ工業ヲ
 刺撃シ以テ社會ヲ利スベシトノ說ハ非常ニ動搖セシメラタルヲ見ルベク而シテ
 此ノ疑問ガ吾人ノ既ニ研究セシ所ニシテ一層廣ク行ハレタル說即チ其ノ社會ニ
 及ボス結果ハ如何ニアレ貧民ニ對スル租稅ハ貧民ニ取リテハ苦痛ナリトノ說ニ
 加勞セララルヤ消費稅ハ充分ナル信用ヲ受クルコト能ハザルニ至レリ乍而茲ニ注
 意スベキハ消費稅ノ賛成者モ反對者モ共ニ消費稅轉嫁ノ原則ニ付テハ一致シタ

ルコト之レナリ消費稅ノ賛成者モ反對者モ必要品ニ課スル租稅ハ貧民ノ負擔ニ
 歸スルヲ各々其理由トスルニアリ消費稅轉嫁ノ此ノ原則ヲ簡單ニ云ヘバ消費稅
 ハ消費者ナル或ル階級ノ負擔ニ歸スト云フニアリ

第三節 消費稅ハ土地所有者ニ轉輾ストノ說

前節ニ研究シタル論者ト比較スルトキハ消費稅ハ消費稅トシテ土地所有者ノ負
 擔ニ歸スト主張スル學者ハ僅少ナリ勿論總テノ租稅ハ土地ノ負擔ニ歸スト主張
 スル有力ナル學者アリト雖他ノ租稅トノ關係ヲ離レ一個獨立ノ租稅トシテモ消
 費稅ハ結極土地ノ負擔ニ歸スト主張スル說ハ其ノ勢力微々タルモノナリ

此ノ說ヲ始メテ主張シタルハ第十八世紀ノ末葉ニ於ケル無名ノ雜誌記者ノ如ク
 其ノ論ズル所殊ニ飲料食料其ノ他市場ニ販賣セラルル貨物ニ課スル家庭消費稅
 ニ關シ消費稅ヲ租稅中ノ煩雜ニシテ賤シキ種類ト名ツケ消費稅ハ消費者ノ負擔
 ニ歸ストノ通說ハ誤謬ナリト主張セリ其ノ言ニ依レバ例ヘバ農民ガ其ノ消費ス

ル貨物ニ對シ支拂フ所多キニ從ヒ地代トシテ支拂ヒ得ル所ハ益々少キニ至ルベシ加之消費稅ニ依リテ苦ムモノハ農民及土地所有者ノミ今例ヲ農產物ニ消費稅ヲ課スル場合ニ取ランカ麥芽ニ對スル課稅ハ其ノ全部又ハ大部分農民ノ負擔タルベシ若シ農民ニシテ之ヲ負擔セザランカ其ノ需要ハ減少スベク從テ價格ノ低落ヲ見ン而シテ眞ニ利スル者ハ釀造業者ノミ釀造業者ハ安價ナル原料ヲ仕入レ同一價格ヲ以テ其ノ製品ヲ販賣シ得レバナリト云フニアリ然レドモ其ノ所論ハ何ガ故ニ斯ノ課稅ニヨリテ製品ノ價格ノミ騰貴シ農產物ノ價格ハ騰貴セザルヤノ説明不明瞭ナリトス

同時代ニ「家庭消費物」ニ課スル一般消費稅ハ實ハ地租ニシテ吾人ガ地租又ハ月稅ト稱スルモノト同一ノ影響ヲ地價又ハ地代ニ及ボストノ說ヲナセルモノアリ斯ノ論者ハ物價ハ供給ノ増加ニ伴フテ下落ストノ通說ヲ認メ英國ノ貨物供給ノ盛大ナル市場ハ常ニ購買者ニ都合好キガ故ニ貨物ニ課スル租稅ハ生産者又ハ販賣者ノ負擔ニ歸シ此等ノ貨物ハ總テ皆土地ノ生産スル所ナルガ故ニ貨物ニ課スル租稅ハ即チ土地ニ課スル租稅ナリト思料セリ

ワルポールノ消費稅ノ計畫ニ對スル論戰ノ時ニ當リテモ消費稅ノ惡結果ヲ表示セントセル小冊子中ニハ往々之ト同一ノ意見アリ之等ノ中ニ於テバルトチー及ダンヴァイスノ意見ヲ最モ可ナリトス此等ノ論者ハ消費稅ノ轉嫁ニ付キ土地所有者ト土地ヲ賃借セル農民トノ間ニ何等ノ差別ヲ設ケズ只ダ一人ノ稍々充分ニ論ジタルアルノミ此ノ論者ハ占有者即チ賃借農民ニ課スル地租ハ土地所有者ノ負擔ニ歸スルガ如ク消費稅——例ヘバ鹽稅ノ如キ——モ一度ハ農民ノ支拂フ所トナルモ遂ニ地代ノ低落トナリ結局ハ土地所有者ノ負擔ニ歸スト主張シ又假リニ消費稅ハ消費者ノ負擔ニ歸スルモノトスルモ此等ノ消費者ハ長期間其ノ負擔ヲ爲スモノニアラズ何トナレバ消費稅ヲ以テ地租ノ代リトセバ土地所有者ハ其ノ土地ノ保護及改良ノ爲メニ費ス所一層大ナルヲ得ベク而モ其ノ利益ヲ收ムル者ハ勞働者タレバナリト説明セリ然レドモ論者ノ説明ガ誠心ヨリ出ヅルモノナルヤ否ヤ及論理上ノ誤ナキヤ否ヤ大ニ疑ナキ能ハズ何トナレバ他ノ論者ハ消費稅ガ土地ノ利益ニ影響スルヲ理由トシテ反對セルニ論者ハ熱心ニ消費稅ニ賛成スルト同時ニ一方ニハ地租ノ増徴ニ痛ク反對スレバナリ

第四節 消費税ハ商人ノ負擔ニ歸ストノ説

消費税ノ轉嫁ニ關スル各種ノ觀察ハ以上ヲ以テ未ダ盡セリト云フ能ハズ吾人ハ尙消費税ハ轉帳スルコトナク最初ニ納税シタル商人ノ負擔ニ歸スト主張スルニ三論者ニ就キ論述シテ極メテ完キヲ得ベシ而シテ此ノ説ハワルポールノ消費税計畫ニ對シアラユル反對論ヲ試ミント欲シタル反對論者ノ特ニ熱心主張シタル所ナリ

例ヘバ最モ熱心ナル一雜誌記者ハ曰ハク航海ノ危險ヲ冒シ輸入税ヲ納メ而モ尙消費税ト稱スル罰課金ヲ納ムルニアラザレバ販賣契約濟貨物ヲ相手方ニ引渡スヲ許サレザルハ奴隸商人ノ困難ニ異ナラズ斯クテ商人ハアラユル取引上ノ遲延及不便ヲ蒙リ往々販賣ノ機會ヲ失フト而シテ氏ハ一層巧妙ナル言葉ヲ以テ消費税ニ反對ノ理由九條ヲ擧ゲ就中課税ノ不權衡不平等商業ノ負擔非常ニ重大ナルコト從テ才能アリ勤勉ナル當業者ニ嫌厭ノ情ヲ起サシムルコトヲ最モ慨クベキ

モノトセリ氏ハ又引キ續キテ消費税ノ課税ハ厭フベク且ツ數々咀ハレタルモノナリト主張シタリ消費税ノ不公平ナル理由九ツヲ説明セル氏ノ熱烈ナル言語ハ英國ノ學者中只ダ消費税ノ缺點三十三ヲ擧ゲタル余程後年ノ著者自ラ斯拉シブラスト名署セリノ匹敵スルアルノミ

他ノ論者ダンヴァイスハ兩派ノ地位ヲ占メント試ミ消費税ガ消費者ニ轉嫁スルヲ否定セサルト同時ニ消費税ガ商人ヲ害スルコトヲ主張セリ氏ハ反對者ニ對シテハ曰ハク「反對論者ハ若シ消費税ニ支拂ハレザランカ有益ニ使用セラルル貨幣ガ商人ノ財布ヨリ直チニ取り出サレ其ノ商業ノ運轉ニ障礙ヲ爲スモ而モ尙消費税ハ商人ニ何等ノ負擔ヲ負ハシメズ何等ノ困難何等ノ損失ヲ來タスモノニアラズト籍口セント欲スルカト又氏ハ通則ヲ定メテ「商業ニ課スル租税ハ既ニ有用ナル商業ヲ滅亡セシメタリ」ト云ヘリ

ダンヴァイスノ説ハ第十八世紀ニアリテ普通唱ヘラレルトスロバイスノ名著ニ明快ニ説明セラレタル彼ノ商業ニ課スル租税ハ商業ノ一般ノ利益ヲ害スルコト往々ナリトノ説以上何事ヲ意味スルヤハ疑問トセララル所タリ而シテ商業ニ課ス

ル租税ノ轉嫁ニ關スル一層適切ナル問題ハ植民地ノ砂糖ニ課シタル租税ニ付キテ充分ニ研究セラレ此等ノ論者ハ皆其ノ租税ガ砂糖賣却者又ハ耕作者ノ負擔ニ歸スルコトヲ主張スルモノニシテ其ノ中二三ニ付キ説明スルハ有益ナリト信ズ第十七世紀ノ頭腦明晰ナル一著者ハ其ノ論文ニ於テ曰ハク砂糖ニ課セラレタル新税ガ購買者ノ支拂フ所タリト云フハ單ニ假托ニ過ギズ何トナレバ砂糖ニ課セラルル負擔ハ何人ノ支拂フ所トナルヲ問ハズ眞ニ之レヲ負擔スル者ハ耕作者ナリ販賣者ハ其ノ税金ヲ砂糖ノ代價ニ加フベキガ故ニ購買者ハ納税スト雖果シテ購買者ノ負擔ニ歸スルカト又曰ハク貨物ノ價格ハ如何ニシテ決定セラルル實況ナルカ麥酒ノ如キハ釀造者ガ税金ヲ其ノ價格ニ加フルコト容易ナリト雖價格ハ不定ニシテ取引盛ニ行ハレ而モ租税ハ納メザルベカラザルガ如キ場合ハ事跡甚ダ之ト異ナリ競争ノ爲メニ販賣者ハ其ノ得ル所ヲ益々減少セシメラルルノ已ムナキニ至ルベシト而シテ氏ハ一般ノ通則トシテ市場ヲ支配スルハ租税ニアラズシテ貨物ノ在荷ノ豊富ナルヤ手薄ナルヤニアリ平素ノ經驗ニヨレバ需要盛ナル貨物ニ課スル租税ハ其ノ一部ハ購買者之ヲ負擔スルコトアリト雖貨物市場ニ充

滿シ其ノ保存困難ナルトキハ購買者ハ毫厘モ之ヲ負擔スルコトナク租税ハ全部販賣者ノ負擔タルベキモノタリトセリ第十八世紀ノ第四期ニ砂糖ニ新税ヲ課スルノ議アルヤ本問題ハ再ビ世人ノ注意ヲ喚起シ多數ノ記者ハ砂糖税ハ販賣者ノ負擔ニ歸スベシト云フニ一致シタリ而シテ販賣者ト耕作者ト同一人ナルトキハ右ノ法則モ前ニ論シタル土地所有者ガ租税ヲ負擔ストノ法則ト同一ナリ之レ砂糖耕作者ハ土地所有者ニシテ同時ニ又販賣者ナレバナリ砂糖税ガ砂糖耕作者ノ負擔ニ歸スルコトヲ證センガ爲メニ著ハサレタル一小冊子ハ此ノ場合ニ於テ考慮スベキ條件ハ供給ノ制限シ得ベキヤ否ヤニアリトシテ曰ハク「貨物ニ價格ヲ生ズルハ其ノ數量ト取引トニ由ルハ各人ノ認ムル所ナリ故ニ如何ナル場合ニハ其ノ取引ニ應ジテ其ノ數量ヲ増減シ得又如何ナル場合ニハ其ノ數量ヲ増減シ能ハザルカラ考察シ前者ニ該當スルトキハ租税ハ消費者ノ負擔ニ歸シ後者ニ該當スルトキハ數量ガ取引額ヲ超過スル毎ニ生産者ノ負擔ニ歸ス」ト斯クテ著者ハ砂糖ニアリテハ後者ノ眞實ナルヲ證センガ爲メ其ノ記述ヲ進メ他ノ論者モ亦本問題ニ關シテハ同様ノ原則ヲ定メタリジヨ

アッシュレーモ亦同一ノ結論ニ達シタルガ經驗ニヨレバ砂糖ニ課セラレタル租税ハ總テ消費者ヨリモ生産者ニ影響ヲ及ボセルコトヲ説明シ又本問題ヲ論ジタル一雜誌記者ハ租税ハ消費者ニ轉嫁スルモ而モ砂糖ノ價格ハ歐洲ノ市場ニ輸入セラレタル數量ニ從ヒテ高低スルモノニシテ一國ノ課スル租税ニ關係ナキコトヲ説明シ供給ヲ需要ニ適合セシムルハ他ノ貨物ニ於ケルヨリモ砂糖ニアリテ其ノ困難遙カニ一層甚シキガ故ニ課税ノ純粹ノ結果ハ租税ハ遂ニ耕作者ノ負擔ニ歸スルモノナリト思考セリ

以上消費税ニ關スル研究ニ依リ消費税ノ轉嫁ニ付キ思考シ得ラルベキ殆ンド總テノ法則ヲ示シタルヲ見ル或者ハ消費税ハ全然轉嫁セズト主張シ或者ハ土地所有者ニ轉嫁ストシ或者ハ消費者ニ轉嫁ストシ或者ハ一旦土地所有者又ハ消費者ニ轉嫁スルモ更ニ勞働者ノ雇主ニ轉嫁スト主張セリ而シテ此等ノ議論ハ皆各々確信シテ主張シタル所ナルモ二三ノ外ハ議論ノ根本タル經濟學上ノ法則ヲ理解セザルナリ乍而其ノ主張及證據ノ中ニ近世學理ノ有益ナル萌芽ガ所々ニ散在

スルヲ見ル而シテ吾人ハ此等諸說ノ中ニ就キ何人モ異議ナキ又典據トスベキ原則ヲ見ルト雖從前ノモノヨリ優リ且ツ漸次熱心ナル賛成者ヲ得タル意見ハ消費税ハ消費者ニ轉嫁スル傾ヲ有ストノ說ト勞働者ノ階級ノ負擔ニ歸ストノ說ナリトス斯クテ科學上ノ意見ハ漸次通俗ノ意見ト一致スルニ至レリ

第二章 奢侈品單一稅論者

大多數ノ論者ノ主張セル一般消費税——生産者又ハ販賣者ニ課セラル、租税ノ意味ニ於ケル——ハ其ノ轉嫁ノ點ヨリ觀察シテ消費者ニ對スル間接税ナリトノ說第十八世紀ニ於テ漸次勢力ヲ失ヘルハ既ニ論ジタルガ如シ而シテ貧シキ消費者ガ租税ノ重荷ヲ負擔スルヲ公平ナリト認ムル者ノ既ニ存セザルト斯ノ如キ消費税ハ商業ニ有害ナリト思考セラル、トニ依リ一般消費税ニ課スル間接税ノ思想ハ特種ノ支出ニ課スル直接税ノ思想ノ代ル所トナリ租税ハ生産者又ハ販賣者ニ課税スル代リニ消費者ニ直接ニ課スベシト云フニ至レリ一般消費者ヲシテ租税

ノ重荷ヲ負ハシメズ特種ノ奢侈品ノ購買者ニノミ課税セントスルニ至レリ簡單ニ云ヘバ必需品ニ課スル間接税ヲ廢止シ代フルニ奢侈品ニ課スル直接税ヲ以テセントスルニアリ

斯ノ如キ説ハ始メテチナムパレオンノ第十七世紀ノ著書中ニ隱ニ認メラレタル所ニシテ氏ハ其ノ計畫ヲ詳述シタル後放蕩又ハ奢侈道樂安逸又ハ豪華ノ所爲惡習ニ要スル如キ貨物ニ對シテハ重大ニシテ法外ナル負擔ヲナサシムベシト結論セリ乍而氏ノ隣國民ノ實況ニ依レバ氏ノ説ハ奢侈品ニ對スル直接税ナルヤ將タ間接税ナルヤ明カナラズト雖此ノ疑ハ該世紀ノ末葉ニ於テ購買者又ハ消費者ニ依リテ支拂ハルベキ貨物ニ對スル租税ヲ主張スルニ意ヲ用ヒタル他ノ論者ニハ存セザル所ニシテ其ノ指ス所ノ奢侈品タルハ其著書ニ總テ人ハ端正且ツ必要ナル使用ヲ超過スル放縱ノ程度ニ從ヒテ自ラ課税スト云ヘルニヨリテ明カナリトス而シテ購買者ハ過度ニ課税セラレ易キガ故ニ租税ハ豫言シ得ル販賣者ニ依リテ納メラレザルベカラズトノ反對論ニ對シ三重ノ答辯ヲ爲セリ即チ 第一貨物賣却セラレザルトキハ營業者ハ一錢モ納税スルコトナク 第二販賣者ハ租税ヨリ

多額ニ物價ヲ騰貴スベキ誘惑ヲ蒙ラズ 第三脱税ノ機會少ク租税ハ賦課セラレタル者ノ負擔ニ歸シ他ニ轉帳スルコト能ハズト結論セルコト之レナリ

以上ノ意見ハ第十七世紀ニアリテハ殆ンド一人ノ贊成者ナク漸ク世人ノ注意ヲ惹クガ如キ權威アル態度ヲ以テ唱ヘラレタルハ漸ク第十八世紀ノ中葉少シ以前ナリトス

奢侈品單一税ノ計畫ハ或ハリチャードソンノ著ナリトシ或ハ斯克思ヒツ、モ尙デッケルノ著ニハアラズヤトセラレ今日ニ至ルモ未ダ何人ノ著ナルカ明カナラザル匿名ノ著書ニ發表セラレタリ此著者ハ一般消費税ハ其ノ商業ニ及ボス害毒ノ甚シキガ故ニ殊ニ強ク反對セル者ニシテ其ノ計畫ハ奢侈品ノ消費者ニノミ租税ヲ賦課シ其ノ他ノ租税消費税及關稅ハ總テ廢止セントスルニアリテ其ノ課税セントスル貨物ノ目錄ヲ掲ゲ租税ハ其ノ賦課セラレタル者ノ負擔ニ歸ストノ説明ノ必要ヲ認メズトシ尙附言シテ曰ハク此ノ計畫ノ利益中最モ大ナルハ現行ノ租税ノ如ク其ノ課税ノ範圍廣カラズ從テ徵稅費ヲ要セズ商業破滅ノ結果ヲ來サザルニアリ其ノ然ル所以ハ或ル特種ノ貨物ノ價格ヲ騰貴セシムルコトナク却テ奢

侈ヲ矯正シ道德並ニ工業ノ滅亡ヲ防キ依リテ以テ吾人ヲ富有繁榮ノ民タラシムベケレバナリト

ジヨシア・ラッセルハ此ノ單稅論ヲ熱心ニ贊成辯護シ其ノ重要ナル著書ノ附録ニ其ノ概要ヲ示シタルガ其ノ理由ノ主ナルモノハ各人ハ其ノ貨物ノ使用ニ比例シテ納稅スルコト公正ニシテ道理ニ適合ス而シテ吾人ノ採用シ得ル最モ信憑スベキ基礎ハ何トナレバ事件ノ性質トシテ精確及確證ヲ許サザルガ故ニ人ハ普通其ノ地位ニ相應スル生活ヲ營ムルモノナルコトニアリトノ氏ノ一般法則ニ包含セラレ從テ奢侈品ニ要スル支出ヲ標準トシテ各人ニ課稅スルハ最モ衡平ナル課稅方法ナリトス他ノ贊成者ハ吾人ガ既ニ其ノ一般消費稅ニ反對スル理由ヲ説明シタルニニコルスニシテ氏ハ課稅ノ一般原理ニ關シ有益ナル説用ヲ與ヘタル後種々ノ奢侈品並ニ其ノ消費(絶對的必要品ヲ除外シタル以外ノ物)ニノミ課スル自由意思ニ依ル租稅ガ此等ノ條件ヲ充タスニ最モ適當ナルガ如シト結論シ原著者氏ハデッケルヲ原著者トス)ノ主張シタル計畫ヲ贊成シ各種ノ奢侈品ニ消費セララルル金額ガ課稅ノ標準トシテ其ノ用ニ適合スル所得ノ指數ト認めラルルガ故ニ特ニ之ヲ可

ナリトセリ此ノ説ハ其ノ後幾何ナラズシテ採用セラレタルガ勿論單一稅トシテ採用セラレタルニアラズ現行稅ノ補完トシテ採用セラレタリ—吾人ハ其ノ贊成論者ノ最后トシテ勞銀ニ課スル總テノ租稅ニ固ク反對シ且ツ聊カ彼ノポストレ¹スウエートニ反對シタルフォスターヲ舉グベシ而シテ此ノ問題ニ關スル議論ハ英國ノ租稅制度一般ノ計畫ニ或種ノ奢侈品ニ對スル課稅ノ加ヘラルルヤ直チニ終了ヲ告ケタル所ナリ

第三章 家屋單一稅論者

第十八世紀ノ歲入改革論者ハ單稅計畫ヲ好愛シ世人ガ消費ニ課スル租稅ハ消費者ノ負擔ニ歸スルコト及商業ニ課セラルル結果トシテ往々發生スル商業トノ衝突ヲ避クルノ寧ロ賢明ナルヲ認メタルハ絶ヘズ奢侈ヲ精査セザルヲ得ザル奢侈品單一稅ノ改良セラルベキヲ論ズル第一着歩タルニ過ギズ課稅ノ標準トシテ一般のナルノミナラズ各人ニ避クベカラザル費用ヲ採擇センカ奢侈品單一稅ニヨ

リテ得ントスル同一ノ結果ハ殆ンド困難ナクシテ得ラルベク此ノ望マシキ標準トシテ示サレタルハ家屋ニシテ家屋單一税ハ以テ一般消費税ニ代フベシト提議セリ

此ノ家屋單一税ノ主タル辯護者ハサー・マッスニー・デッケルニシテ氏ハ最初ニ輸入者又ハ販賣者ニ課スル租税ヲ廢止シ茶ノ消費者ニ課スル租税又ハ免許料ヲ以テセントスル思想ヨリ議論ヲ試ミタルモ之レ其ノ必要少ナリトシテ深ク討究セズ一般消費税ノ研究ニ其ノ歩ヲ進メ深ク意ヲ用ヒテ説明ヲナセリ氏ノ所謂一般消費税ハ普通ノ所謂一般消費税トハ全ク其ノ性質ヲ異ニシ單一消費税ニシテ而モ家屋ニ課スルモノタリ氏ハ其ノ性質ヲ評論シ其ノ主要ナル功果ヲ説明シテ曰ハク此レニ依リテ各種ノ租税廢止セラルルガ故ニ危險ノ行爲ハ總テ之ヲ防ギ彼ノ密貿易ニ從事シタル者及現ニ從事スル貧シキ不幸ナル數千人ノ破滅ヲ妨ゲ得ベキノミナラズ商人ハ今日ノ如キ虚偽ニシテ煩雜ナル報告ヲ必要トセザルニ至ルベク就中卸賣商モ小賣商モ倉庫業者モ其ノ資本ヲ半減シ而モ從前ト同額若シクハ以上ノ利益ヲ收ムルヲ得ベシト

吾人ハ氏ノ所論中到ル所ニ生産及商業ノ利益ガ力ヲ極メテ主張セラル、ヲ見ル之レ長年月ノ後ニアリテハ此等ノ利益ガ重要ナリト思考セラルベシトナシタル爲メニシテ此ノ事タル労働者ニ對スル課税ニ關スル氏ノ意見ニ依リテ明カニ見ルコトヲ得實ニ氏ハ最下級極貧者ノ家屋ノ除外セラルベキヲ欲スルモ之レ之レニ因リテ彼等ノ勞力ノ夫レ丈廉價トナルベシトノ明白ナル理由ニ基クモノナルガ故ニ氏ノ說ニヨレバ生活必需品ニ對スル租税ハ労働使用者ノ負擔ニ歸シ労働者ノ負擔ニ歸スルコトナク生産及商業ヲ保護スベシトノ氏ノ一般思想ハ英國ニ就テ彼等ノ商人ハ王侯タリ彼等ノ商人ハ地球上ノ尊敬スヘキ者ナリト云ヘル說明ニヨリ之レヲ知ルヲ得ヘシ

デッケルノ主張ハ熱心ナル多數ノ賛成者ヲ得賛成者ノ多數ハ家屋單一税ガ生産者及商業者ニ課スル負擔ノ甚ダ重カラザルト生活必需品ニ對スル租税ノ輕キハ夫レ丈ケ勞銀ヲ低廉ナラシムルトニ依リ一般消費税トシテ家屋單一税ヲ撰擇セリ斯クテ吾人ノ現行ノ不條理ナル課税方法ニ代ルベキ新計畫ヲ主張スル匿名著者ハサー・マッスニー・デッケルノ計畫ト殆ンド同一ニシテ而モ一層利便アル計畫ハ總テノ

租税ヨリ労働者ノ負擔トナルベキモノヲ除クニアリテ之ガ爲ニ土地關係者及社會ノ有要ナル各人ハ非常ニ利益ヲ受クルモノナルベシト説明セリ又ポストレーヌウエートハ租税ニ原因スル勞銀ノ人爲的騰貴ハ労働者並ニ社會全體ニ有害ナルコトヲ主張シ更ニ我國ニ於ケル租税ノ増加ハ吾人ノ商業ヲ破滅セシムルニアラザルカトノ問題ヲ提起シ此ノ結果ヲ避ケンガ爲メニハ家屋ニ對スル中庸公平ノ租税又ハ他ノ處ニ述ベタル如ク家屋又ハ其ノ他ニ對スル或ル一種ノ一般税ヲ可ナリトセリ之ニ依レバ氏ハ家屋單一税ヲ充分ノ確信ヲ以テ主張シタルモノニアラザルヲ見得ルモ其ノ後ニ至リ氏ハ奢侈品單一税ノ代リトシテ之ヲ主張シタルヲ見ル他ノ一著者即吾人ガ既ニ其ノ熱心ナル消費税反對論ヲ研究シタルフォキエーモ亦デッケルノ計畫ヲ賛成シ消費税ハ租税全額ヲ支拂フモノナルガ故ニ如何ナル方法ニ依リ又如何ナル物ニ課税セラルルトモ窮極スル所消費者ニ取リテハ均シカルベク消費者ノ眞ニ念トスル所ハ國家ノ必要ガ許ス限リ可成其ノ支拂フ所ノ僅少ニシテ既ニ支拂ヘル所ハ當初ノ賦課ノ目的ニ應スル爲メ出來得ベクンバ毫厘ノ減少ナク全部國庫ニ收メラルルニアリト簡單ニ説明セリ

而シテ又其ノ主義ニ賛成ナルモ家屋ニ代フルニ窓戸ヲ以テセントスル二三ノ論者アリ就中議論ノ最モ明快ナルヲホースレートス氏ハデッケルガ其ノ計畫ヲ發表シタル後幾何モナク其ノ計畫ヲ發表セリ此ノ計畫ニ依レバ氏ハ他ノ諸點ヨリモ最モ意ヲ租税ノ單一ナルコトニ注ギタルモノ、如ク問題ハ即チ何物ニ課税スルカ及其ノ課税以外他ニ課税ナキヤ之ノミト云ヘリ氏ノ後數十年各種ノ單一税ノ思想總テ夢ト消ヘ去リシ時ニ至リ一論者ハ氏ト同ジク如何ナル種類ノ租税ヲ問ハズ總テ之ヲ窓戸税ニ集中スベシトノ意見ヲ發表セル者アリタリ

デッケルノ家屋單一税ノ計畫ハ其ノ後直チニ非常ニ有力ナル反對論ノ爲メニ論破セラレタリ之ノ反對論中最モ優レタルヲマッシュイトス氏ハフォキエーノ計畫ヲ攻撃セル著書ニ於テハ只ダ溫和ナル反對論ヲ唱ヘタルニ過ギザリシガ其ノ後デッケルニ對シテハ全力ヲ注ギ各種ノ缺點ヲ指摘シテ之ヲ非難セリ而モ今其ノ詳細ヲ述ブルノ必要ナキヲ以テ只ダ氏ガ家屋單一税ハ實ニ大英國ノ商品及製造品ニ對スル單一ノ一般税ニ依リテ公共ノ經費全額ヲ收メントスル計畫ナリトシテ攻撃シタリト云フニ止メントス氏ハ斯ノ租税ガ消費者ニ轉嫁スルヲ信ジ農夫又ハ商人

ガ家屋税トシテ支拂フ貨幣ハ彼等ノ賣却スル貨物ノ物價トシテ支拂ハレタルモノニシテ又支拂ハレタルモノナラザルベカラズトセリ氏ハ又現行ノ地租ハ結局土地所有者ノ負擔トナルガ故ニ可ナリトシ他ノ租税ノ轉嫁ニ關シテハ此ノ王國ノ租税ハ賢明ニモ其ノ相手國ヲ不利益ナラシメ以テ工業及善良ナル農業ヲ獎勵スル如クニ課セラレタリトノ舊說ニ復歸スルモノ、如シ其ノ後稍々暫クシテアイサー・ヤングハデッケルノ計畫及其ノ根底ヲ成ス轉嫁ノ理論ニ反對シ家屋税ハ消費スルガ爲メニ納税スルニアラズ所有スルガ爲メニ納税セシムルモノニシテ彼ノ租税消費税又ハ消費ニ課スル租税ハ納税者ガ納税シ得ルコトヲ證シ此ノ租税(家屋ニ課スル租税)ハ何等斯ノ如キコトヲ證スルモノニアラズトセリ此ノ後幾何モナクノルス卿ニ依リ住家税ノ施行ヲ見ルニ至リタルガ爲メ家屋單一税ノ議論終局セシヲ以テ家屋單一税ニ關スル記述ハ之ヲ以テ終了トス

第四章 一般財産税論者

第十七世紀ノ終ニ際シ古來行ハレタル英國ノ一般財産税ハ事實上地租ト變化シ其ノ名目モ亦地租ト改メラレタルガ此ノ時ニ於テモ尚今日ノ如ク現在ノ弊害ヲ除ク最良ノ方法ハ各種ノ人的財産殊ニ無形ノ人的財産ニ課税スルニアリト信シタル論者少カラズ此等ノ論者ハ貸金税ヲ主張シ後幾何モナク證書又ハ一般資本ノ課税ヲ以テ之ヲ補完スベシト主張シタリ而シテ其ノ主張ノ根本理由ハ資本ニ課スル租税ハ資本主ノ負擔ニ歸スト云フニアリ

此ノ說ノ第一ノ主張者タルカルプバーハ土地ニ課スル租税ハ土地所有者ノ負擔トナリ商業又ハ奢侈品ニ課スル租税ハ納税者ノ負擔ニ歸シ只ダ金錢貸付業者ノミハ課税外ニアリ而シテ貸金ニ課スル租税ハ貸金ニ伴フ弊害ヲ減少スルニ止マラズ貸主ノ負擔ニ歸スルガ故ニ貸金ニ課税スルトキハ現在實力以上ニ租税ヲ負擔スル土地ノ價格ヲ騰貴セシムベシト説明セリ

而シテ租税轉嫁ノ問題ニ關連スル難解ノ點ヲ尙深ク研究シタル論者ハ一般普通ノ場合ニアリテハ貸金ニ課スル租税ガ借主ノ負擔ニ歸スルノ傾ヲ有スルヲ認めザルニアラズト雖此ノ事タルヤ議會ノ立法ニ依リテ防止シ税金ハ總テノ債務及

抵當權ノ強制登記制度ニヨリテ徵收スルコトヲ得ルト信シタリ之ト同ジク「議會ハ爲サント欲シテ何事カ成ス能ハザルナシ」ト信シタルデ「ブナントハ何等勞働スル所ナクシテ蜂蝨ヲ食スル雄蜂ノ如キ社會ノ厄介者タル金錢貸付業者ニ對スル課稅ヲ提議シタルモ之レデ「ブナントガ一時ノ空想ニ過ギズシテ租稅轉嫁ノ根本原則ハ稍々趣ヲ異ニセルナリ

他ノ論者ハ貸金ノミナラズ各種ノ人的財産全體ヲ包括シテ一般財産稅ヲ構成セシメント希望シタリ而シテ又「土地單稅」ニ反對シタル論者ハ「貸金ニ對スル租稅ハ他ノ總テノ不確定歲入ト共ニ地租ニ對シ相當ノ割合ヲ保ツ額トナルベキコトヲ主張シ其ノ相當ノ割合ハ其ノ説明ニヨレバ土地ニ課セラレタルモノヨリ非常ニ高キ率ナリシナリ之ト殆ンド同時代ノ人ニシテ其ノ消費稅ニ關スル意見ヲ既ニ紹介シタル他ノ二論者モ亦タ此ノ計畫ヲ衷心贊成シ其ノ一人ハ地租ノ連結セラレタル人的財産稅ハ「複雜廣汎タル部分ヲ成ス即チ各人ノ負擔力ニ對スル租稅ヲ成ストシ他ノ一人ハ「吾人ノ祖先ノ採リタル古代ノ方法ナル補助金又ハばうんどれ」とノ再興ヲ希望スルニ止マリデ「ブオーハ此ノ世紀ノ終ニ於テ貧民ニ對スル

租稅ノミナラズ尙地租ノ不均一ニモ反對シ各自ノ財産額ニ相應シテ課稅スルニヨリ其ノ不均一ヲ救濟シ得ベシト信ジタリ

其ノ後數年ニシテ同一ノ計畫ハ年金、東印度會社ノ配當、英蘭銀行ノ配當、及貸金ニ對スル租稅ヲ辯護スル爲メニ著ハセル著書中ニ主張セラレ此ノ著書ノ理想トスル所ハ「階級及貧富ノ如何ヲ問ハズ人ガ總ラ其ノ社會ヨリ受クル所及自ラ社會ニ於テ獲ル所ニ比例シ其ノ政府維持ノ爲メニ支拂フ公正且均一ノ租稅」ニ存シ此ノ理想ハ「多年土地ニ課シタルガ如ク利子ニ比例シテ貸金ニ課稅スル」ニ依リテ達セラルベシトセリ

斯ノ如キ計畫ハ數々反覆セラレタルニ拘ハラズ既ニ其ノ實行ノ機會ヲ失ヘリ例ヘバ第十八世紀ノ始メニ於テウ「グスタフ」ハ現行制度ノ缺點ヲ明カニ指摘シ「一般消費稅若シクハ他ノ均一ナル租稅實行セラルトセバ余ハ先登第一ニ之ニ贊成スベシ」ト附記セリ然モ斯ノ如キ計畫ハ存セサルヲ以テ人的財産ニ對スル課稅制度ノ概要ヲ記シ「人的財産稅ハ國民ノ商業ニ有害ナラズシテ國民ノ商業ヲ獎勵シ維持スル唯一ノ方法ナルコトヲ示スニ力メタリ吾人ハ一八五〇年及六〇年ニ於テ

斯ノ如キ計畫ノ再ビ主張セラレタルヲ見ルト雖當時ハ思想ノ潮流モ又實行の方
面モ人的財産課税ニ反對スルコト甚シク殆ンド耳ヲ傾クルモノサヘナク二三記
者ガ人的財産課税説ノ基礎ヲ成ス理由ニ形式的反對ヲ試ミタルニ過ギザル程輕
視セラレタリ尤モ資本ニ對スル利率ノ減少ハ實質上資本税ナルコトヲ示サント
セル一二ノ論者ナキニアラザリシモ斯ノ如キ議論ハ其ノ薄弱ナルコト明瞭ニシ
テ何等ノ價值アルモノニアラズ以上ノ外本論ニ付テ論ジタルモノアルハ未ダ聞
カザル所ナリ

第五章 土地單一稅論者

租税ハ總テ盡ク終ニ土地所有者ノ負擔ニ歸ストノ説ハ通常重農學派ノ創唱セル
所ナリトスルモ英國ニ於テハ重農學派ノ未ダ起ラザル久シキ以前ヨリ盛ニ唱
ヘラレタル所ニシテ其ノ萌芽ハ第十七世紀頃ノ有名ナル一著書中ニ之ヲ見ルコ
トヲ得而シテ該著者ハ土地所有者ガ租税其ノ他ノ公共ノ負擔ヲ總テ負擔スベク

此等ノ負擔ハ實ニ只ダ貨物ヲ買フノミニシテ賣ルコトナキ者ノミガ負擔スルモ
ノニシテ販賣者ハ課税ノ結果トシテ其ノ貨物ノ價格ヲ引上クルカ然ラズンバ其
ノ品質ヲ粗惡ナラシムベシト主張セリ

然レドモ租税轉嫁ニ關スル此ノ説ハジョン・ロックノ説明ニヨリテ始メテ充分ニ明
確トナレリ氏ハ一般ノ原則トシテ曰ハク租税ハ如何ナル方法ニ依リテ課セラル
モ又何人ノ囊中ヨリ直接ニ徵收セラルルモ一國ノ大資源ガ土地ナル場合ニ於テ
ハ結局其ノ殆ンド全部ガ土地ノ負擔スル所トナルベシト氏ハ之ヲ證明センガ爲
メニ先ヅ土地所有者ニ賦課シタル租税ガ他人ノ負擔ニ移ルコト能ハザルヲ示サ
ント試ミ若シ地方ノ紳士ガ眞ニ其ノ囊中ヨリ地租ヲ納ムルトキハ確カニ負擔ヲ
感ズルモ而モ地租ハ其ノ土地ヨリスル小作料ノ性質ガ如何ナルモノタルヲ問ハ
ズ毫モ之ニ影響スル所ナキモノタリ之レ小作人ヨリ見レバ之ヲ國王ニ納付スル
ト將タ土地所有者ニ納付スルトハ同一ニシテ何等ノ差異ヲ見ザレバナリ即チ小
作ノ收益ハ土地ガ年々一定金額ヲ他人ニ支拂フベキ負擔ヲ有スルト有セザルト
ヲ問ハズ同一ナレバナリ換言スレバ土地所有者ハ地租ヲ他人ノ負擔ニ移シ得ル

モノニアラザレバナリ

然レドモ今租税ガ土地ニ賦課セラレズシテ貨物ニ賦課セラレタルトキハ其ノ結果如何ロツクハ租税ヲ貨物ニ課スルトキハ消費者ニ對シ貨物ノ價格ヲ騰貴セザルヲ得ズトシ此ノ場合ニ於テハ吾人ハ久シキヲ經テ始メテ何人ガ之ヲ負擔シ何處ニ之ガ落ち著クカヲ知ルヲ得若シ從前ヨリモ高價ニ買入ルルトキハ之ニ比例シテ價格ヲ引キ上クベキガ故ニ商人モ仲買人モ此ノ租税ヲ負擔スルコトヲ欲セズ又之ヲ負擔スルモノニアラズ然ルニ貧シキ勞働者并手工業者ノ生活ハ既ニ辛フシテ其ノ日ヲ過ゴスノ現況ナルガ故ニ現在ノ負擔以上ニ租税ヲ負擔スルコト能ハズ而シテ勞働者ニ租税ヲ賦課スル結果ハ彼等ヲシテ其ノ生活ヲ營マシムル爲メニ物價ニ伴フテ其ノ勞銀ヲ騰貴セシムルカ然ラザレバ其ノ勞働ニ依リテ自己及ビ其ノ家族ノ生活ヲ營ムコト困難ナルガ爲メニ救貧區ニ入ラシムルニ至ルベギガ故ニ土地ハ從前ニ比シテ一層重キ負擔ヲ爲スニ至ル而シテ勞銀ニシテ騰貴セシカ農民ハ一方ニ於テハ勞働及ビ其ノ他ノ貨物ニ對シテハ從來ヨリモ一層多額ノ支拂ヲ爲スト同時ニ一方ニ於テハ自己ノ穀物及ビ獸毛ハ從來ト同價若シクハ

一層低廉ニ市場ニ賣却スルノ結果ヲ見ルガ故ニ此等ノ貨物ハ租税ヲ賦課セラルルガ故ニ之ニ對スル一般ノ購買力ヲ減ズ其ノ小作料ノ減額ヲ請求シ若シ聽カレザラシカ契約ヲ破棄シ土地所有者ニ對シテ負債ト爲スノ外ナク斯クテ土地ノ年價(譯註一ヶ年ノ收益ヲ以テ計算スル價值)ハ減少シ其ノ租税ハ土地所有者ノ外何人モ終ニ之ヲ支拂フベキモノナキニ至ルベシト云フニアリ

氏ハ尙言ヲ續ケテ輸入税ハ輸入商ヨリ消費者ノ負擔ニ轉移スルヲ常トスト主張セリ勿論輸入業者ハ利益ヲ得ントスルコト非常ニシテ物價騰貴ノ爲メニ一般社會ハ流行外國品ノ需要ヲ減少ストハ思ヒモ寄ラザルガ故ニ課税物件ノ價格ハ税額ヨリ多ク引キ上ケラルベシト雖而モ農産物ハ全ク之ト異ナリ土地所有者ハ土地及農業ニ依リテ世人ガ一般ニ熟知スル貨物ヲ收獲シ之ヲ市場ニ搬出セザルヲ得ザルガ故ニ其ノ貨物ハ購買者ノ欲スル價格ニテ賣却セザルヲ得ズ而シテ租税ガ斯ノ如キ家庭用貨物ニ課セラルルトキハ之等ノ貨物ハ一般ノ好愛物タル稀レナルガ故ニ各自ニ出來得ル限り其ノ使用ヲ節約スベキヲ以テ其ノ價格ハ下落シ地代モ從テ減少スルニ至ルベシ

斯クテロックハ論結シテ曰ハク「一國ノ資産ノ大部分ガ土地ナルトキハ政府ノ歳出ヲ土地以外ノ何物ニ負擔セシメント欲スルモ畢竟徒勞ニ屬シ結局土地ノ負擔ニ歸スベシ商人負擔セシメ能フ者ハ之ヲ負擔スルヲ欲セズ勞働者ハ之ヲ負擔スルノ力ナシ然レバ土地有者ハ之ヲ負擔セザルヲ得ザルニアラズヤ而シテ其ノ之ヲ爲スニ當リテ結局負擔ノ歸スル所ニ直接ニ課税スルト又ハ一度引キ下グルトキハ再ビ引キ上グルコトノ甚ダ容易ナラザル小作料ノ低落ニヨリテ土地所有者ノ負擔ニ歸セシムルト何レガ土地所有者ニ最モ善良ナル方法タルヤハ土地所有者ヲシテ考量セシムルヲ要スト」

ロックノ說ハ直チニ多數ノ贊成者ヲ得タルガ有名ノ財政家デューブナントモ亦率先贊成シタル一人ニシテ氏ハロックノ轉嫁論ヲ贊成シタルモ土地ニ課スル地租ノミノ單一制度ヲ採用スベシトノ結論ヲ爲サズシテ却テ或ル場所ニ於テ地租ヲ補完スルニ金錢ニ課スル租税ヲ以テスルノ優レル方法ナルヲ主張シタル例アリ氏ハ又消費税贊成論者ニシテ消費税ヨリモ正當ナル如何ナル租税カ存在シ得ルゾヤトノ疑問ヲ發シタルコトアリ而モ氏ハ「奢侈ニノミ供セラルル貨物ニ課スル租税

ハ下層人民ニ影響スル所最モ少キガ故ニ斯ノ種ノ物コソ消費税ヲ課スルニ最モ適當ナル貨物ナリトシ尙此ノ場合ニ於テモ消費税ハ直接ニ土地ニ課スル地租ヨリ土地所有者ニ對スル打撃力ノ稍緩弱ナルニ過ギズシテ結局土地ノ負擔ニ歸スルモノナリトセリデューブナントハ課税ノ時期ガ貨物ノ生産者ノ手ヲ去ルコト益々遠キニ從ヒ租税ガ土地ノ負擔ニ歸スル傾向ハ益々薄弱トナルト主張スルモ而モ尙此ノ傾向ハ全然阻止セラルコト能ハサルヲ認め租税ハ其ノ如何ナル種類ヲ問ハズ總テ結局ハ土地ノ負擔ニ歸スベシト説明セリ又アスギル及カンチロンハ土地ガ總テノ富ノ眞ノ基礎ニシテ從テ結局總テノ租税ヲ負擔スルモノナリト主張スル點ニ於テハ重農學派ノ重要ナル先驅者タリ

第十八世紀ノ初期ニアリテハロックノ說ハ屢々反對セラレ又單ニ其ノ說ヲ引用シテ全く満足セル二三學者例ヘバウードアリタルモ又加フル所アラントセルモノアリ又一般ニ通ズル原則トシテハ贊成スルモ大膽ニモデューブナントノ説明セル如キ主義ト一致スルモノナリトシ租税ト土地所有者トノ關係益々間接トナルニ從ヒ土地所有者ニハ益々惡結果ヲ來タスト主張シタル者アリ又或ル學者ノ如キ

ハ其ノ著書ノ大部分ガロツクノ説ノ引用ニ過ギザル著述ヲ爲シ而シテ物價ニ加ヘラレタル消費稅ハ消費者ノ支拂フ所トナルコトヲ拒ムコトナク而モ各個ノ場合ニ於テ生産者モ亦之ヲ支拂フトシ之ヲ麥芽稅ノ歸納的研究ニ依リテ説明セントセリ之等ノ學者ハ「門窓稅」ニ對スル細心ノ研究ニヨリ同一ノ結果明了ナリト思料ス此ノ門窓稅ハ本來貸借人ニ負擔セシメントシタルモノナルニ所有者ノ負擔ニ歸シタルモノニシテ此ノ著者曰ハク「此ノ例ニ於テモ吾人ハ如何ニ租稅ガ迅速ニ土地所有者ニ集中スルカヲ知ルヲ得ベシ然ルニ如何ナル點ヨリシテ消費稅ヲ課セラル、貨物ノ大多數ニ付キテ斯ノ如キ結果ノ發生ヲ疑ヒ得ルカ」ト其ノ結論ニ曰ハク「商業上ノ紆餘曲折ハ租稅ガ地主ノ負擔ニ歸スルマデニ長時間ヲ要セシメ從テ租稅ガ土地所有者ノ負擔ニ歸スルヲ發見スルヲ妨害スト雖而モ租稅ハ土地所有者ノ負擔ニ歸セザルベカラズシテ又結局ハ土地所有者ノ負擔ニ歸スルモノナリ」ト

ワルポールノ消費稅計畫ノ時代ニ此ノ觀念ノ再ビ勃興シタルハ自然ノ理數ニシテ此ノ計畫ノ一反對論者ハ此ノ王國ニ行ハル、總テノ租稅ガ遂ニ土地ニ影響ス

ルハ最モ明確ナル典據ニ依リテ充分證明セラレタリト説明シ其ノ反對説即チワ
ルポールノ計畫ヲ粉碎セント企テタリ然レドモロツクノ後ニ至リ此ノ説ハ消費稅
ニ關スル議論トハ全ク關係ナク獨立シテ殆ンド同時代ニヴァンダーリントニヨリ
テ最モ充分ニ説明セラレ而シテヴァンダーリントノ勞働者問題ニ關スル意見ハ世
人ノ既ニ熟知スル所タリ

ヴァンダーリントハ現行ノ租稅ヲ總テ突然廢止シ之ニ代フルニ不動産ニ課スル租
稅ヲ以テスルトキハ利益ハ土地所有者ニ歸スベシト主張シタルモノニシテ其ノ
議論ノ概要ハ即チ課稅ヲ廢サレタル貨物ノ價格ハ其ノ儘ニ維持スルカ又タハ下
落スベク若シ前者ナルトキハ「貨幣ノ供給ニハ何等ノ變動起ラズト假定ス」
生産者ニ對スル課稅廢止ノ爲メニ生産費ハ減少シ生産費ト生産物ノ價格トノ差
ハ即チ地代ナルガ故之ニ依リ生ズル唯一ノ結果ハ土地所有者ノ得ル地代ヲ増加
スベシ又之ト反對ニ價格下落スルトキハ需要増加スベキモ總テノ貨物ノ結局ノ
泉源ハ土地ナルガ故ニ需要ノ増加ハ地代ノ騰貴ヲ意味ス故ニ孰レノ點ヨリ見ル
モ租稅廢止ハ循環シテ土地所有者ノ利益ニ歸スルモノトス換言スレバ租稅ハ總

テ土地ノ負擔ニ歸スト云フニアリトス從テヴァンダーリントハ土地單一稅ヲ主張シ之ニヨレバ結局土地ノ負擔ニ歸スル現行ノ錯雜不便利ナル租稅ヨリ遙カニ徵稅費ヲ減少シ遙カニ優秀ナルモノトセリ

租稅轉嫁ニ關スル此ノ意見ハ爾後機會ノアル毎ニ起リ一論者ハ「吾人ノ家庭用品ニ課セラレタル租稅ガ主トシテ土地ノ負擔ニ集中セラルルノミナラズ其ノ原因ノ如何ヲ問ハズ生活必需品ノ價格騰貴スルトキハ之モ亦土地所有者ノ負擔ニ集中スベキコト」ヲ證明セントシ同時代ノ他ノ論者ハ「今日ニアリテハ之レ既ニ疑問ニアラズ租稅ガ總テ直接間接ニ又ハ結局ハ土地所有者ノ負擔ニ歸スルコトハ何人モ確信シ明カニ知ル所ナリ」ト説明シタリ而シテアダム・スミスノ直グ前ノ時代ニアリテハ此ノ說ハ假ヘ佛國ノ著書中ヨリ引用翻譯シタルモノナルニセヨ」大心理學的立法者タルロックヨリ後代ニハ消費物ニ課スル租稅ハ總テ結局土地所有者ノ負擔ニ歸スルハ聊カ事理ヲ解スル總テノ人ガ承認シ採用シタル主義ナリト英國人ニハ傳ヘラレタルナリ

第六章 折衷制度論者

ロックガ土地單一稅ヲ唱導シタル後暫時ノ間ハ其ノ土地單一稅ノ計畫ニモ又其ノ主張ノ基礎タル租稅轉嫁ノ理論ニモ殆ンド反對說ヲ見ザリシガ之レ疑モナク此ノ計畫ガ有力ナル政治家ノ眞面目ニ思考スル所トナラザリシ事實ニ因ルモノニシテワルポールガ消費稅ノ計畫ヲ提議スルヤ租稅轉嫁ノ問題ハ議論ノ燒點トナリ數多ノ論者ハ總テ租稅ハ土地ノ負擔ニ轉移ストノ通則ヲ否認シタルノミナラズ却リテ地租スラモ土地ノ負擔スル所トナラザルコトヲ主張シタリ

ワルポール自身モ亦土地ニ課スル租稅ハ消費者ノ負擔ニ歸スト主張セル書ノ著者ナリト推測セラレタリ氏曰ハク「地租ハ地代ノ引上ケ從テ之ニ伴フばん飲料其ノ他食料品ノ騰貴ニ依リ國民ノ負擔ヲ重カラシムルガ故ニ土地ノ納ムル所ノ租稅ハ之レ國民ノ拂フ所ナリ」ト氏ハ他ノ理由ヨリスルモ地租ノ輕減ハ望マシキコトナリトシテ曰ハク「地租輕減ハ勞働者スラモ亦之ヲ利益トスベシ之レ地租輕減ニヨリテ土地所有者ノ節減シ得ル貨幣ヲ以テ勞働者ハ傭使セラルベケレバナリ」

ト
此ノ點ニ關スル最モ充分ナル説明ハ主トシテ租稅轉嫁ニ就テ述ベタル匿名ノ小冊子ニ見ハル著者ハ地租ガ消費者ノ負擔ニ移ルヲ理由トシテ土地ノ課稅ニ反對スルト共ニ消費稅計畫ニ賛成シ地租輕減ハ食料品ノ價格ヲ益々下落セシムベク之レ即チ勞働者ニ對スル貨幣上ノ勞銀低落ヲ意味シ勞働使用者ヲシテ外國人トノ競争ニ適セシムルモノナリトセリ

著者ハ又他ノ場所ニ於テ「自國產ノ一般生活必需品全體ニ影響スル地租ハ精確ノ意味ニ於ケル事實上ノ一般消費稅ナリトスルノ」正當ナルヲ説明シ從テワルボー|ルノ如キ計畫ヲ賛成シ何トナレバ「此ノ計畫タルヤ普通ノ必需品ニ對スル一般消費稅ヲ排斥シ外國ヨリ來ル過剰品及奢侈品ニ對スル特別消費稅タレバナリ」トセリ其ノ少シ後ニ著者ハ地租ガ土地ノ產物並ニ總テノ製造品ノ價格ヲ如何ニ騰貴セシムルヤヲ可ナリ詳細ニ示サント試ミタル後論結シテ曰ハク土地ニ課スル租稅ハ其ノ如何ナルモノタルヲ問ハズ土地所有者ガ租稅ヲ扣除シタル殘額ノ課稅以前ト同額ナルヲ知ルニ至ルマデハ地代及土地ノ產物ノ價格ハ課稅ノ爲メニ引

クニ引上ヲ以テスベシト著者ハ又「ロック氏」ノ議論ヲ稍長ク論ジ而モ「當時ノ縉紳等ハ此ノ大著述家ノ思想ヲ束縛シ自己本來ノ思想ヲ語ラシメズ却テ彼等ノ思想ヲ語ラシメタリト思料セリ

既ニ論ジタルガ如ク之等ノ論者ハ地租ニ反對シタル者ニシテ其ノ理由ハ數多ナリト雖就中主要ナルハ地租ガ消費者ニ轉嫁スト云フニアリ而シテ他ノ論者ハ地租ハ消費者ニ轉嫁スト主張スルニ拘ハラズ其ノ結論ハ全ク反對ニシテ地租ヲ贊成セルノミナラズ地租ハ農夫土地所有者何レノ負擔ニモ歸セザルヲ理由トシテ農夫及地主議員ヲシテ地租ニ同意セシメント盡力セリ斯クテ有益ナル一論說現行消費稅ノ性質及其ノ擴張ノ結果ノ著者ハ土地所有者ハ地租額丈地代ヲ引キ上クベシト雖而モ農夫ハ其ノ生産物ノ價格ニ地租ヲ加ヘ從テ地租ハ結局消費者ノ負擔トナルガ故ニ農夫ハ地租ノ爲メニ何等損害ヲ蒙ルコトナシトセリ

地租ハ消費者ニ轉嫁ストノ說ハベテイノ主張シタル所ナルハ吾人既ニ論ジタルガ如シト雖此ノ論ハ一般ノ識認ニ反スルノミナラズ尙土地所有者ニ課稅スベキヤ否ヤノ意見如何ニ依リ其ノ地租ニ反對スルト賛成スルトヲ問ハズ苟モ地租ヲ

研究シタル多數論者ノ反對スル所タリ斯クテ第十七世紀ニ於テハ或ル論者ハ強ク地租ヲ主張シレ^レテ^ルハ熱心ニ反對シタリシガ兩者共ニ地租ガ納稅者ノ負擔ニ歸セズトハ寸時モ思ヒ及バザリシ所タリ

尙又消費稅計畫ヲ爲スニ當リ消費稅ニ賛成シタル論者ノ大多數ハ土地ヲ其ノ賦課セラルル負擔ヨリ救ヒ出サンコトヲ希望シタルガ爲メニシテ例ヘバ一論者ハ「土地ニ課シタル租稅ハ毫厘モ逋脫スルコト能ハズ^{ふり}」^一ほ^るだ^一（譯註王以外ノ義務ヲ負ハサル土地ノ所有者）ヲシテ可成煩擾少カラシメ彼ヲシテ大家族ヲ有セシメ彼ヲシテ節儉ノ人タラシメ彼ノ訴訟ハ彼ノ欲スル如ク成ラシメヨ彼ハ其ノ所得ニ課セラルル負擔ニ對シテ如何ニ爭フモ又如何トモ爲スコト能ハザルナリ彼ノ土地ノ負フ重荷ハ如何ナル處置方法モ之ヲ輕減スルコト能ハザルモノタリト云ヘリ

第十八世紀ニ至リテハ各種ノ租稅行ハレタルガ故ニ租稅轉嫁論モ單ニ地租ニノミ局限セラル、コトナク其ノ研究ノ範圍大ニ擴張セラレタルガ其ノ擴張ト共ニ^ロックノ單稅說ニ對スル反對論ハ迅速ニ發達シタリ廣ク繙讀セラレタル論說（地租ノ輕減ニ關スル研究）ノ著者ナジエントノ如キハ其ノ一人ニシテ何等ノ制限ヲモ附

セズ其ノ價值ヲ最モ充分ニ見積ルモ^ロックノ位地ハ大ニ議論ノ存スル所ニシテ且ツ^ツ氏ノ格言ハ推理并經驗ノ保證スル範圍ヲ超越ストシ農產物ニ課スル租稅ガ世人ヲシテ農產物ヲ買ヒ扣ヘセシムルコトニハ反對セザリシト雖而モ何故ニ此ノ理論ガ他ノ貨物ニ對シテ同一ノ作用ヲ及ボサ^ハルカニ付テハ疑團氷解セザリシナリ思ヘラク貨物ニ對スル需要ハ市場ニ存スル貨幣ノ數量ニ屬ス此ノ數量ニ變動ナカラシカ一般商人ニ對スル増稅ハ商業上ノ利潤ヲ減少セザルベカラズト而シテ地租ガ納稅者以外ニ移轉セザルヲ證明スル理論ハ商人ノ利潤ニ對スル租稅ガ同ジク他ニ轉移シ能ハザルコトヲ均シク示スベキナリ然ルニナジエントハ茲ニ一ノ注意スベキ例外ヲ設ケ動產課稅ニ依リテ富者ヲ稅セントスルハ無用ニ屬スルコトヲ主張シテ曰ハク債權又ハ一般資金ニ課稅センカ之ニ應ズル利子ノ引上ニヨリテ債務者及一般世人ハ相互ニ之ヲ負擔スルニ至ルベシト氏ハ租稅増徴ガ貧者ヲ勤勉ナラシムトノ觀察ニ反對シ從テ消費稅ヲ尙此ノ上幾分タリトモ増徴スルニ反對セリ故ニ氏ハ土地單一稅ニ賛成セザルト同時ニ商業及貨物ニ對スル増稅ヲ包含スル地租輕減論ニ反對セリ

ナジエントハ其ノ後ノ論説ニ於テ攻撃ノ態度ニ轉ジ「徵稅費ヲ要スルコト最モ少クシテ國家ノ得ル所最モ多額ニ而モ納稅者ノ苦痛ヲ感ズルコト最モ少キ租稅ハ其ノ如何ナルモノタルヲ問ハズ何人ニモ都合好キモノナレバ斯ノ如キ租稅ニ反對スル者ノ不道理ナルヲ論ジ而シテ斯ノ如キ租稅ノ地租ナルコトハ明白ニシテ論争ノ餘地ナキ所ナリ簡單ニ云ヘバ地租ガ其ノ最モ強固ナル反對者ノ利害ニ對スル影響ハ數量又ハ純生産ニ比例シテ課スル他ノ如何ナル租稅ヨリモ最モ僅少ナリトセリ

ロックノ説ノ眞理ナルヤ否ヤニ關シ一般ニ疑ヲ存ジタルハ他ノ著書ニモ見ル所ニシテ殆ンド同時代ノ匿名ノ記者ハ現行租稅ガ單ニ土地所有者ノミナラズ勞働者並ニ商人ニモ影響ストシテ曰ハク「前ニ租稅ハ相當ナリシガ此ガ爲メニ生活必需品ハ廉價ニシテ勞働モ低廉ナリキ吾人ノ製造品ガ世界ノ市場ノ大多數ヲ左右シ得タル所以ノモノ亦其ノ結果ナリト」其ノ後幾何モナクシテポストレーイスウエートハ自説ヲ述ベズシテロックノ説ニ反對シ他ノ論者ハ特ニ貨物ニ課スル租稅ハ間接ニ土地ニ課スル租稅ナリトノロックノ説ニ對シ此ノ説ノ誤レルハ勞働ニ課スル

租稅ニ比シテ勞銀ノ騰貴セザルガ爲メノミナラズ商業ニ課スル租稅ノ消費者ニ轉嫁シ得ラルルニ依ルモ亦明カニシテ結局租稅ヲ負擔スル者ハ土地所有者ニアラズシテ勞働者ナリトセリ

然レドモ土地單一稅ニ對スル最モ著名ナル反對論者ハ第十八世紀ノ第三期ニ於ケルヒューム及スチュアルトノ二大經濟學者ニシテヒュームハロックノ説ヲ攻撃スルニ當リ 第一 何人モ他人ニ租稅ヲ轉移セント試ミ 第二 此ノ點ニ於テ土地所有者ガ社會ノ他ノ階級ヨリ弱者ナリト想像スベキ何等ノ理由ナキヲ理由トシテ曰ハク「何人モ自己ニ課セラレタル租稅ハ其ノ何タルヲ問ハズ之ヲ排斥シ他人ニ負ハシメント熱望スルハ確實争フベカラザル所ナリト雖而モ又何人モ同一ノ性質ヲ有スルノミナラズ尙自己ニ負擔セシメラルルヲ防禦スルガ故ニ社會ノ何レノ階級カガ此ノ争ニ於テ全ク勝利ヲ占ムルコトハ想像シ能ハザル所ナリ而シテ土地所有者ハ全躰ノ犠牲ニ供セラレザルベカラザルカ何故ニ他人ノ爲ス如ク土地所有者ハ自己ヲ防禦スルコトアタハサルカハ余ノ思ヒ到ルコト能ハザル所ナリトヒュームハ有名ナル著者ニ依リテ首唱セラレタル彼ノ原則モ典據ト爲スコト

能ハズ何人モ之ヲ賛成セザリシ程ニ始ンド道理ノ面影ダモ有セザリシト思ヘルナリ

ヒュームハ又他ノ有名ナル著述ニ於テ「新ナル租税ハ常ニ之ヲ負擔シ得ル新シキ能力ヲ人民ニ發生セシム」ト「收税吏」ノ格言ヲ幾分賛成シツ、論究シ一般人民ノ費消スル貨物ニ課税スルトキ其ノ結果トシテ労働者ガ之ヲ自身ニ負擔スル限リハ夫レ丈勞銀ノ減少ニシテ若シ又其ノ負擔ヲ労働使用者ノ負擔ニ歸セシムルトキハ夫レ丈勞銀ノ増加ナリト普通想像スルコトヲ指摘シタル後語ヲ加ヘテ曰ハク「而モ茲ニ甚ダ屢々課税ニ伴フ第三ノ結果アリ即チ貧民ハ其ノ業ヲ勵ミ其ノ効果ヲ増加シ而モ其ノ労働ニ對シテハ從前ニ比シ多クヲ求ムルコトナク其ノ生活ハ從前ト異ナルコトナシ」ト

之ニ依レバヒュームハ吾人ノ既ニ述ベタル租税ハ工業ニ對シ拍車ノ用ヲ爲ストノ意見ヲ有スルガ如シト雖而モ細心留意以テ其ノ所論ヲ研究スルトキハ氏ハ此ノ理論ヲ廣キニ及ホスコトヲ欲セサルヲ見ルベシ何トナレバ氏ハ第一此ノ理論ヲ生活ノ必需品ニ課セラレタル租税以外ノモノニ限リ第二假ヒ之等ノモノニアリ

テモ疑ヲ存シタレバナリ氏ハ曰ハク「此ノ説ハ或ル程度ニ於テハ之ヲ認メ得ルモ而モ其ノ不條理タルヤ疑フベカラズ極端ニ必要ナル貨物ニ對スル法外ノ課税ハ人ヲシテ失望ノ念ニ驅ラレシムルガ故ニ工業ヲ破壊スベク其ノ未ダ此ノ點ニ達セザル以前ニアリテモ尙労働者並製造業者ノ勞銀ヲ騰貴セシメ且ツ總テノ貨物ノ價格ヲ騰貴セシムベシ細心ニシテ公平無私ノ立法ハ此ノ利益ヲ減シ弊害ヲ生ズル點ニ注意スベキナリ」ト

アダム・スミス以前ニ於ケル租税轉嫁ノ最モ充分ナル研究ハサー・ジェームス・スチュア^アルトノ著者中ニ之ヲ見ルヲ得ベシ氏ハ租税ヲ三種類ニ分類シ比例税累進税及人税トス比例税トハ消費ニ課スル租税吾人ノ間接税ト稱スル所ヲ云ヒ累進税又ハ專斷税トハ財産ニ課スル租税ヲ云ヒ人税トハ人ノ勤勞ヨリ得ル所ニ課スル租税ヲ云フ而シテ氏ハ比例税ハ常ニ生産的消費者ノ拂戻消費者ニ轉帳ス^ス所トナルト云ヒ消費者ガ無用ノ貨物ヲ消費スル場合ノ外ハ如何ナル場合ニ於テモ消費者ハ「生産的」ナリトセリ換言スレバ労働者ハ毫末モ利潤ヲ集積スル所ナク單ニ「肉體上」ノ必要ヲ充タスヲ主義トスル者ナルカ故ニ生活ノ必需品ニ課スル租税ハ此ノ

労働者ヨリ轉ジテ其ノ雇主ノ負擔ニ歸スベシ而モ労働者ノ購買スル課税貨物ガ其ノ者ノ屬スル階級ノ他ノ労働者ノ消費セサルモノナランカ此ノ労働者ハ其ノ租税ヲ轉帳スルコト能ハズト云フニアリ

而シテ此ノ點ニ付テハスチュアルトハ左ノ如ク説明セリ革商ハ其ノ革ヲ靴製造者ニ賣リ靴製造者ハ其ノ革ノ代價ヲ革商ニ支拂ヒ以テ革商ノ生活費利潤及革稅ヲ支拂ヒ自用ノ爲メニ靴ヲ購フ者ハ靴商ノ支拂額ヲ靴商ノ生活費利潤及靴ニ對スル租税額ト共ニ償還ス從テ靴ノ代價ハ精勵ナル靴製造者ノ支拂ヘル租税ヲ償還スルニ依リテノミ騰貴スルモノタリ若シモ靴商ノ生活費ガ遊興費又ハ懶惰ニ過セル日ノ費用ヲ包含スルトキハ之等ノ分ハ拂戻ヲ受クルコト能ハサルベシ之レ他ノ遊興スルコトナキ又怠惰ナラザル靴商ハ前者ヨリモ廉價ニ販賣スベケレバナリ故ニ總テノ比例税ハ遂ニ何人ヨリモ何等ノ拂戻ヲ受ケ得サル富有ニシテ懶惰ナル製品消費者ノ負擔ニ歸シ此ノ者ハ其レヨリ以前ノ支拂額及其ノ償還額ノ全額ヲ負擔スベシトスチュアルトハ論結シテ曰ハク此ノ故ニ總テノ租税ハ結局土地ノ負擔ニ歸ストノ説カ如何ニ背理ナルニセヨ又ハ他ノモノ、負擔ニ歸ストノ

説ガ背理ナルニセヨ租税ガ商業ノ負擔ニ歸ストノ説明ニ付テモ有力ナル理由存セザルナリ比例税ハ懶惰者以外ノ何人ノ負擔ニモ歸スルコトナク又其ノ以外ノ者ニ何等ノ影響ヲモ與フルモノニアラズ即チ比例税ハ不生産的消費者ノ負擔ニ歸スルモノトスト

氏ハ累進税ト稱スルモノニ關シテハ此等ノ租税ノ性質タル各個人ノ所有所得並ニ利潤ニ影響シ如何ナル方法ニ依ルモ決シテ割戻サル、コトナク從テ此ノ種ノ租税ハ殆ンド貨物ノ價格ヲ騰貴セシムル傾ヲ有スルコトナシトノ通則ヲ定メタリ故ニ氏ノ意見ニ依レバ此等ノ租税ハ一般ニ排斥セララルベシ氏ハ思ヘラク地租ト同額ノ租税ヲ貨物ニ課スルトキハ其ノ課税貨物ノ價格ヲ騰貴セシムルモ土地所有者ニシテ地租ニ比例シ其ノ穀價ヲ騰貴セシメントセバ地租ヲ納メサル小作農夫ハ之ヲ安價ニ賣却スベギガ故ニ地租ハ小麥ノ價格騰貴セシムルコトナシ然リトテ貨幣ニ課税セント欲スル者ハ總テ失敗ニ歸スト認メラルト又曰ハク商業上ノ利潤ニ課スル租税ハ利潤ノ負擔ニ歸スベキ傾向ヲ有シ利潤ハ一見所得ト認メラルルガ如キモ余ハ寧ロ之ヲ課税スベカラザル元資ト認ムルガ故ニ斯ノ種ノ

租税ハ賛成セサル所ナリト氏ノ最終ノ結論ニ曰ハク「余ハ論結ス比例税ハ精勵者ニ關スル限りニ於テハ完ク割戻サルガ故ニ一ノ反對モ加ヘラレルコトナカルベク累進税ハ割戻サレザルガ故ニ精勵者ニ影響スルヲ以テ大ナル反對アルベシ從テ勞働ガ勞働者ニ何等ノ利潤ヲ與ヘザルトキハ納税者ノ肉躰上ノ必要ニ影響ヲ及ボスベシ之ニ反シテ累進税ガ所有者ニ有形ノ歳入ヲ年々生ズル財産ニ課セラルルトキハ殆ンド反對ヲ見ザルベシト信ス」ト

故ニ第十八世紀ノ第三期ニ於ケル經濟學者ハ其ノ間多少ノ差異ナキニアラザルモ租税ハ總テ土地ノ負擔ニ轉移ストノロックノ説ニ反對スル點ニ於テハ一致シタルコト明瞭ニシテ彼ノデューガルド・スタールトガ其ノ後數十年ニシテ土地單一税ノ計畫ニ對シ此ノ計畫ノ根本理想ハ其ノ説ガ佛人ニヨリ復活セラレタルトキハ現ニ説破セラレタル幻想トシテ忘レラレタルトハ云ヘ曾テハ有名ナル著者ニヨリテ數々反復セラレタル邦國ヨリ借りタルニ過ギズト記スニ止ムベシト云ヘルモノ敢テ驚クヲ須ヒザルナリアーサー・ヤングハ曰ハク「余ハ其ノ課税方法ノ如何ヲ問ハズ租税ハ結局總テ土地ノ負擔ニ歸スベシトノ説ハロックノ創唱タルヤ否ヤヲ

知ラズ然レドモ之ノ説ノ反對者モ賛成者モ共ニ嘗テ常識ニ背キタル最モ危險不條理ナル説ノ建設ニ寄與シタルモノナリト信ズ」ト

以上ヲ以テ租税ニ關スル古代資料ノ研究ヲ終レリ而シテ吾人が其ノ資料ヲ英國ニ局限セルハ 第一 財政上ノ著述ハ一般經濟上ノ著述ト同ジク最モ多ク英國ニ現ハレタルト 第二 大陸ノ稀少ナル資料ハ既ニ人ノ熟知セル所トナレルニ因ルモノナリ大陸ノ資料ハ租税轉嫁ノ問題ニ關シテハ主トシテ間接税對直接税ノ問題ニ關スル通則ニ自然局限シ特ニ消費税ノ効果ニ一層局限セラレタルヲ見ル佛國ニアリテハポアギルベルト及ポウバンノ主張シタル財政改革ノ原理ヲ進歩セシムベキ二箇ノ計畫ハ政治部面ノ賛成ヲ得ルコトナク本問題ノ研究ヲ半世紀以上ニ亘リテ停止シタル程ナリ獨乙ニアリテハ官房財政學派ノ千篇一律ナル著述以外ニハ第十七世紀ノ末期及第十八世紀ノ初期ニ於ケル一般消費税ノ議論中ニ本問題ノ研究ヲ見ルヲ得ルノミ以太利ハ著者ノ數ヨリ云ヘバ或ハ獨佛ニ優ラシク其ノ影響ハ實ニ微々タルモノトス

英國ノ資料ニ就テハ其ノ當時ノ著者ノ殆ンド全部ノ意見ヲ研究シタリ租稅ハ納稅者ノ負擔ニ歸スルコト租稅ハ商人ノ負擔ニ轉嫁スルコト租稅ハ勞働者ノ負擔ニ歸スルコト租稅ハ富有ナル消費者ノ負擔ニ歸スルコト租稅ハ毫モ消費者ノ負擔ニ歸セザルコト——之等ノ説及其ノ變形セルモノガ紛糾錯雜シテ吾人ノ眼前ニ現ハレ吾人ヲシテ其ノ取捨ニ迷ハシメタルモ思想ノ一定セル潮流ハ之ヲ識別スルヲ得吾人ハ前各章ニ於テ之等潮流ノ一般ノ方向ヲ指示セント企テタリト雖何レノ説ニモ現ルル最大ノ弱點ハ一般經濟ニ關スル一定ノ理論殊ニ分配ニ關スル一定ノ理論ノ欠缺ニアリトス基礎タルベキ一般ニ亘ル定論ナクシテハ轉嫁論ナル全建築ガ輕浮ニシテ動搖スルハ必然ニシテ重農學派及アダム・スミスニ至リテ始メテ新シキ經濟學ノ眞基礎タル分配論ノ理論ハ建設セラレ之ト共ニ租稅轉嫁ノ近代ノ理論ハ發生シタリ此ノ理論コソ吾人ガ本篇下卷ニ於テ述ベント欲スル所ナリ

下卷近代の諸學說

第一章 重農說

租稅轉嫁ニ關スル重農學派ノ理論ハ斯ノ派ノ始祖ケチー之ヲ概説シミラボー之ヲ布演シメルシード・ラ・ブール・ジュ・ボン・ド・ヌムール・アベ・ボデーノ諸氏各方面ヨリ之ヲ論究シ終ニテブルゴーノ各種ノ著書ニヨリ大成セラレタリ今其ノ理論ノ概要ヲ述ベンニ農業ハ富ノ唯一ノ源泉ナリ純生産即チ生産ニ必要ナル經費ヲ扣除シ尙潤餘ヲ存スルハ農業ノミナルヲ以テ農業ノミカ生産的勞務ナリト云フニアリテ重農學派ハ此ノ必要ナル經費ヲ農業ノ出費ト稱シ之ヲ二種ニ區分シ即チ第一ハ初期ノ出費ト稱シ或ハ器具トナリ或ハ荷物ノ運搬土地ノ開墾耕耘ノ準備ニ要スル動物トシテ土地ノ爲メニ使用セラレタル資本ヨリ成リ第二ハ年々ノ出費ト稱シ或ハ勞銀トシテ支拂ヒ或ハ初期ノ出費ノ効果ヲ維持スル爲メニ要スル

資本ニシテ即チ土地動物器具ヲシテ善良ナル状態ヲ保タシムルニ要スル資本ヲ云フ又生産ノ總額ヲ農業ノ報酬ト呼ビ生産總額ヨリ年々ノ出費及初期ノ出費ノ利子ヲ扣除シタル殘額ヲ純生産又ハ耕作費ニ超過セル潤餘ト云フ

斯ノ如キ潤餘ヲ生スルハ農業ノミ其ノ他ノ總テノ業務ハ全ク不生産的ナリ又ハ「不毛」ナリ工業モ商業モ社會ニ有要ナラン否寧ロ必要ナラン而モ之ヲ經濟上ヨリ觀察スレバ不生産的ナリト云ハザルヲ得ズ之等ハ一ノ富モ新ニ作ル事ナク只ダ現存スル富ヲ甲所ヨリ乙所ニ移スノミ之等ノ業務ハ貨物ノ價值ヲ増加スベシ而モ其ノ増加シタル價值ハ爲メニ費サレタル勞力ト同一ナラザルヲ得ズ此ノ勞力ハ結局スル所農民ノ生産セル食料其ノ他ノ諸物ニ因ルベキナリ斯ノ如ク農業ノ純生産ノミガ富ノ唯一ノ基本泉源ナルヲ以テ總テノ租稅ハ其ノ賦課ノ方法如何ヲ問ハズ結局此ノ泉源ヨリ支拂ハルベキナリ故ヲ以テ地租以外ノ他ノ租稅ニ依リテ間接ニ課稅センヨリハ寧ロ地租トシテ直接ニ課稅スルヲ優レリトス何トナレバ斯クスルトキハ經費ト煩勞ヲ省畧シ得ルノミナラズ租稅ハ或ハ直接稅トシ或ハ所謂間接稅トシテ賦課スルヲ問ハズ常ニ土地ノ負擔ニ歸スレバナリ

今日英國ニハ重農學派ノ一般經濟論ニ關スル有益ナル拔萃ハ存スルモ斯ノ派ノ財政上ノ觀念ニ關スル詳細ノ記錄並ニ斯ノ派ノ重要書籍ノ翻譯缺乏スルヲ以テ租稅轉嫁ニ關スル斯ノ派ノ原理ヲ稍々詳細ニ説明スルハ敢テ無益ノ勞ニアラザルベシト信ズ

租稅轉嫁ノ原理ニ關スル最トモ充分ニシテ最モ明快ナル説明ハ之ヲケチーノ著書中ニ發見スルヲ得ケチーハ租稅ガ國民所得ニ對シ或ル比例ヲ保ツベク勞銀又ハ貨物ニ課セラレズシテ土地ノ純生産ニ直接ニ課セラレベシトノ格言ヲ信ジ農業ニ對スル出費ハ尊重セラレ單ニ租稅支拂ノ基本タルノミナラズ社會所得ノ發生國民存續ノ基本トシテ保維セラルベク若シ然ラザランカ租稅ハ單ニ奪略スルノミナリトセリ

ケチーハ此ノ原理ヲ説明シ一步ヲ進メテ整理セラレタル租稅ハ土壤ヨリスル純生産ヨリ分タレタル一片ト見ルベク若シ然ラザレバ租稅ト富又ハ所得トノ間ニ存スベキ比例ニ如何ナル規則ヲモ組ミ立ツルコト能ハズシテ總テノ納稅者ハ政府ガ納稅ヲ告知スルニ先チテ亡ブルニ至ラント論ジ尙眞ノ純生産ハ之ヲ三分シ

一ハ國家ニ屬シ一ハ土地所有者ニ屬シ一ハ十分一税ノ徵收者ニ屬スルモノトナ
 スヲ得三者ノ中土地所有者ノ分ノミ賣買ノ目的物トナリ土地ノ價格ハ其ノ部分
 ヨリ生ズル收入ニ從ヒテ變動シ土地所有者ノ財產ハ此ノ部分ノミナレバ土地所
 有者ハ自己ニ歸セズ自己ノ獲得スルコト能ハザル又賣却シ能ハザル部分ヲ割取
 スル他人ノ爲メニ租税ヲ支拂フノ要ナシ土地所有者ハ租税ヲ自己ノ割取スベキ
 部分ニ課セラレタル負擔トシテ觀ルベク一般ノ租税ハ彼レニ歸セザル財產ノ一
 部分ナルガ故ニ土地所有者ハ之ヲ支拂フノ要ナシ只ダ其ノ共有者一同ガ一時租
 税ヲ分擔スルハ財產其ノ物ノ安全ガ侵害セララルル非常ノ場合ノミナリト論ジタ
 リ

吾人ハケチ一ガ租税ハ實所得——土地ノ年々ノ純生産——ニ課セラルベクシテ
 農業労働者ノ勞銀工業労働者ノ勞銀若クハ貨物ニ課セラルベカラズ若シ農業勞
 働者ノ勞銀ニ課税セラレンカ租税ハ生産ヲ障害シ土地ヲ荒廢ニシ農業者土地所
 有者政府ヲ衰亡セシメ工業労働者ノ勞銀又ハ貨物ニ課税センカ租税ハ放恣ニ流
 レ徵稅費ハ徵收稅額ニ超ヘ負擔ハ主權者ノ所得ト人民ノ所得トニ對シ均衡ヲ失

スルニ至ルベシト警告セルヲ忘ルベカラズ氏ハ又吾人ハ租税即チイムポスト(im-
 post)トイムボジション(imposition)トヲ明劃ニ區分セザルベカラズ後者ハ前者ノ三
 倍ニ上リ前者モ亦増大ス之レイムボジション即チ貨物ニ課セラレタル虛稅ハ終
 ニイムポスト即チ實稅ニ依リテ支拂ハレサルヲ得サレバナリト論シタリ

ケチ一ハ所謂租税ト稱セラルルモノ即チ自己ノ勞働ニ依リテ生計ヲ營ム者ニ課
 スルイムボジションハ農業用ノ馬ニ對スル課稅ガ事實上耕耘ノ費用ニ對スル租
 稅タルガ如ク實ハ勞働ニ對スル租稅ニシテ必ズ勞働使用者ノ支拂ニ歸ス故ニ租
 稅ヲ收入ニ課セズシテ人ニ課センカ工業費及農業費ニ課スルコトトナリ結局土
 地ヨリ生スル收入ニ對シテハ二重ノ課稅トナリ(何トナレバ總テノ工業ハ土地ニ
 ヨリテ存在スレバナリ實稅自ラヲ速カニ破壞スルコト、ナルベク貨物ニ課稅ス
 ル場合モ亦同一ノ結果ヲ生ストセリ

若シ土地生産物人勞働商品運搬用家畜ヲ個々ニ區別スルコトナクシテ課稅セン
 カスノ如キ租稅ハ相互重複シテ課セラレ六個ノ均一ナル租稅ノ變數法ヲ包含シ
 同一ノ泉源ニ歸スルニモ拘ハラズ而モ個々分離シテ支拂ハルベシ然ルニ之等ノ

租税ハ經費ヲ扣除シタル純生産ニ課シタル單一ノ實税ヨリ其ノ收入少額ナリトス
スノ實税ハ自然ノ法則ノ示ス如ク主權者ノ收入ヲ大ニ増加スルニ拘ハラズ爲
メニ國民及國家ノ費ス所ハ凡百ノ貨物ニ課税スルモノニ比シテ六分ノ五ヲ減ズ
ルノミナラズ後者ハ國ノ生産力ヲ減絶シ根本的改革ノ餘地ナキニ至ラシムスノ
如ク主權者ヲ耽迷シ國民ヲ滅亡セシムル租税ハ農業進歩ノ破壊者トシテ之ニ優
ルモノナシト世人ノ眼底ニ映スベシ

故ヲ以テケチーハ租税ハ總テ土地ノ純生産ニ直接ニ賦課スベシ之レ租税ハ賦課
ノ方法ノ如何ヲ問ハズ常ニ土地ニ依リテ支拂ハルモノナレバナリト結論セリ
然レバ最モ簡單ニシテ最モ整正シ最モ生産的ニシテ手數最モ少キ租税ハ新ナル
富ヲ永遠ニ生スル泉源ニ對シ純生産ニ比例シテ直接ニ賦課スル租税ナリトス
ケチーハ亦自ラ他ノ著書ニ於テ間接税ニ關スル問題ヲ研究シ二三ノ間接税例ヘ
バ一般財産税又ハ所得税 (taille personnelle) 人頭税徭役 (corvée) 又ハ道税家賃税資本税
ノ如キハ比較的簡單ニシテ經濟的ナルモ生産物商品ニ對スル税輸出税内地通
過税運搬交通税販賣税身分及階級税特權及免許税ノ如キハ益々復雜ニシテ徵税

費ヲ要スルコト益々大ニ此等ノ租税ハ相合シテ間接税ノ名目ノ下ニ概括セラレ
ル一團ヲ成シ徵收費及其ノ他ノ監視費ハ又相集リテ間接税費ノ一項ヲ成スト云
ヘリ

氏ハ又一步ヲ進メテ總テ之等間接税ノ惡結果ニ對スル注意ヲ喚起シ氏ノ有名ナ
ル經濟表ノ詳密ナル計數ニ從ヘバ氏ハ社會ニ對スル間接税ノ損害額ヲ計上セリ
例ヘバ今直接税ニヨリテ八億萬圓ノ收入ヲ得ル代リニ三億萬圓ハ直接税ニヨリ
五億萬圓ハ間接税ニ依リテ得ルトセバ土地所有者ハ爲メニ二億三千五百萬圓ヲ
多額ニ拂ヒ政府ハ爲メニ三億七千九百萬圓ヲ失ヒ勞銀ノ負フ所ハ三億千八百萬
圓ニシテ社會ノ全損失額ハ九億三千二百萬圓ナルヲ示メシ且ツ此ノ金錢上ノ巨
額ナル損失ノミナラズ實ニ他ニ幾多ノ惡結果アリトシ之ヲ四項ニ分類セリ即チ
第一 農業資本ノ減少ト現ニ使用セントスル機械並ニ採用セントスル方法ガ間
接税ノ課税物躰タルヲ恐ルト耕作者自身ノ財産ノ衰亡ノ爲メニ土地ノ荒廢ヲ
急速ナラシメ 第二 徵税官ハ多額ノ貨幣ヲ所有スベキガ故ニ貨幣ノ流通ヲ妨
クルト同時ニ貨幣ノ農業ニ復歸スルヲ防グ 第三 富裕ナル事業家ハ首府ニ居

住スルガ故ニ生産ト消費ノ場所ヲ分離シ 第四 間接税ハ富ノ毎年ノ復生産ヲ一部分不能ニ歸セシメ勞働及生活ノ方便ヲ減滅スルガ故ニ乞食ハ直接ニ間接税ニ原因シテ増加シ土地所有者ハ救助費ノ支出ヲ拒絶シ能ハザルヲ以テ乞食ノ増加ハ遂ニ土地所有者ノ負擔ヲシテ大ナラシムトセリ

氏ハ土地所有者ガ土地單一税ヲ認メザルヲ烈シク攻撃セリ然レドモ土地所有者ハ單一税ヲ以テ自己ノ負擔ヲ過重ナラシムルモノナリト觀シ其ノ愚ナル自愛心ハ租税ガ實ニ土地ノ所得ニ對シテノミ課セラルルモノナルコトヲ了知スル能ハズ各人ハ各政府ノ保護ヲ受クルヲ以テ租税ハ人及人ノ消費スル貨物ニ課セラルベシト思考シ人ハ其ノ缺乏ヲ滿タスニ依リテ肉躰ヲ維持スルモノニシテ自己ハ何物ヲモ成シ能ハザルコト人並ニ消費物ニ課スル租税ハ總テ人ノ生活資料ニシテ且ツ土地ノミガ生産スル富ヨリ必然支拂ハルベキモノナルコトヲ反省シ能ハザリシナリ

氏ハ其ノ所論全體ノ結論トシテ生産的階級土地所有者及租税自身——總支出ノ第一寄與者トシテ——ハ如何ナル關係ニ配置セラルルニ拘ハラズ彼等ガ使用ス

ル人又ハ彼等ガ消費スル貨物商品ニ對シテ賦課スル間接税全部ヲ當然支辨シ各自支出ノ割合ニ比例シテ租税ニ寄與スト述ベタリ

ケチーノ説ハ速カニ熱心ナル多數後繼者ノ奉ズル所トナリミラボー侯ハ租税ニ關スル一書ヲ著ハシ「租税ハ年々ノ復生産」又ハ「總テノ收入ノ泉源ニ直接ニ賦課スベシ」トノ通則ヲ説キ又租税ハ賦課ノ方法如何ヲ問ハズ盡ク純收入ニヨリテ支辨セラルベク若シ純收入ニ直接ニ賦課セラルルニアラザランカ之レ根底ナク又方針ナキモノナリト論ジタリ後數年ニシテ聖バラベールハ同一ノ觀察點ヨリシテ間接税ノ研究ノ爲メニ一書ヲ著ハセリ

重農學派中最モ明晰ナル思想家トシテ敢テ失當ニアラザルマルシュード・ラリブールハ租税轉嫁ニ關シ直接税ト間接税トノ間ニ區別ヲ附スル爲メニ特ニ研究ヲ積ミタリ其ノ説ニヨレバ課税上必要缺クベカラザル方式ハ租税ヲ其ノ有スル所ヨリ直チニ徵收シ其ノ有セザル所ヨリハ之ヲ徵收セント試ミザルニアリ租税納付ノ爲メニ定メラレタル基金ハ土地所有者ノ掌中ニ於テ否ナ寧ろ農夫ノ掌中ニ於テノミ發見セラルルハ明瞭ナリ而シテ農夫ハ此ノ基金ヲ土地ヨリ受クルモノニ

シテ之ヲ國王ニ呈スルモ爲メニ自己ニ屬スル一物ヲモ實質的ニ與フルニアラザルナリ故ニ何人ニモ負擔ヲ負ハシメザラントセバ農夫ニ課税スルノ外ナシ然ルニ今直接課税ノ方法ヲ變更シテ間接課税ノ方法ニ依ランカ自然ノ法則ニ反シ非常ノ惡結果ヲ生ズ租税ガ人又ハ商品ニ課セラルル時ハ則チ間接税ニシテ何レノ場合ニアリテモ國王及人民ニ對スル危害ハ非常ニ大ニシテ又到底避クルコト能ハザル所タリ

氏ハ又上述ノ惡結果ハ間接税ノ本性ト離ルベカラザルモノニシテ間接税ナル名稱自躰ガ既ニ租税ノ其ノ外觀上ノ負擔者ノ負擔ニ歸セザルヲ表示シ又實際ニ於テモ常ニ然ル所ナリト説キ租税ハ土地所有者ト毫末ノ關係ナキガ如キ觀ヲ呈スルトキト雖尙土地所有者ハ之ヲ負擔スルノミナラズ之ト共ニ相當ノ附加物ヲ負擔シ國王ノ收納額ヨリモ土地所有者ノ負擔額ハ常ニ大ニシテ時ニ或ハ何人ノ利益トモナル事ナク實ニ土地所有者ヲシテ損失ヲ蒙ラシメ漸次富ノ全量ヲ減少セシムルコトアリトセリ

故ヲ以テ氏ハ其ノ著社會ノ必要ナル法則^{氏ノ著書全體ノ梗概ヲ示シタルモノ}ニ

於テ租税ハ全然獨立ニシテ他ト交渉スルコトナク租税ニ依ル歲入ハ常ニ同一ノ常體ヲ保チ常ニ同一ノ結果ヲ生ズル原因ノ結合ノ必然ノ結果タリ然レドモ此ノ評價シ得ベキ利益ハ只ダ其ノ要素トスル形態ノ變更セラレズ又王ガ自己ノ土地ニ對スル共有權ノ結果トシテ收納シ得ル部分丈ヲ直接ニ收納スル限リニ於テノミ存スト結論セリ

重農學派ノ大普及者タルジ・ボン・ド・ヌムールハ後チ佛國ノ革命議會ニ自己ノ租税轉嫁論ヲ注入セント試ミタリシガ從來ノ重農學派ト多少其ノ趣ヲ異ニシ此ノ說ニヨレバ租税ハ各種ノ富ニ均一ニ賦課セラレ能フモノニアラズ自然ハ農業ニ使用セラルル富ニ租税ノ幾分タリトモ負擔シ得ルノ力ヲ與ヘザリシナリ實ニ農業用ノ富ハ土地ノ耕耘ヲ經營スル爲メニ費消セラルベシトノ法則ニ全然服從シ耕作ノ困難ニ因リ穀物モ人民モ國家モ次第ニ消亡スベク故ヲ以テ穀物全額中純生産ト稱セラルル部分ノミガ性質上租税ヲ負擔スベキモノタリトス

氏ハ曰ハク租税ノ目的ハ財産權自由權ヲ其ノ本來自然ノ範圍ニ保維スルニアルヲ以テ自由並財產ヲ減殺シ從テ富並人口ヲ必然減少スル租税ハ明カニ租税ノ目

的ニ背反ス而シテ人貨物出費又ハ消費ニ對シテ租稅ヲ賦課スルトキハ多大ノ徵稅費ヲ要スルノミナラズ其ノ租稅ハ人類勤勞ノ自由ヲ侵害シ從テ商業及農業ノ費用ヲ増加スルコト必セリト

氏ハ終リニ租稅ノ轉帳ヲ研究シ若シ租稅ヲ賦課スルニ當リ間接稅ノ方法ヲ取ラシカ土地ノ純生産ガ結局負擔スル所決シテ少々ニアラズ土地所有者ノ感ズル苦痛及迷惑ハ非常ニシテ之等ノ租稅ハ人民ノ自由ヲ制限シ財產ヲ束縛シ生産者ノ庫中ニ存スル生産物ノ價格ヲ減少シ從テ生産量ヲ減シ尙國民收入ノ全量ヲ減シ國家ヲ悲境ニ導キ其ノ人口ヲ減ジ土地農民土地所有者國民及國王ヲ次第ニ滅亡セシムベシト論ジタリ重農學派ハ斯ノ如キ見解ヲ有スルヲ以テ租稅ノ原則ヲ說明スルニ當リ左ノ有名ナル句ヲ以テセルコト敢テ怪ムニ足ラザルナリ

間接稅ハ人民ヲ貧ニシ貧シキ人民ハ王國ヲ貧ニシ貧シキ王國ハ國王ヲ貧ニス

ト
アッペー・ボーデーモ亦之ト同一ノ思想ヲ有シタリシガ氏ハ純生産ナル語ニ代フルニ土地ノ明確ニシテ流動スル收入年額ナル語ヲ以テシ之ノ語ニヨレバ其ノ言ヒ

表ハサントスル思想ヲ直チニ會得シ得ベシトセリ氏ハケチーガ既ニ說明セル事實ヲ一層強クシ其ノ結果チユルゴイヲシテ容易ニ其ノ説ヲ理解セシメ即チ此ノ「明確ナル收入」ハ所有者ニ屬セズシテ國王ノ有ニ歸スベキモノナリトシ人ガ土地ヲ購求スルトキハ其ノ土地ノ全收入ヲ買フニアラズシテ全收入ノ中政府ニ屬セザル部分ヲ買フモノナリトノ觀念ヲ抱カシメタリ故ヲ以テ國王ガ主權者タルニ依リ人ノ之ニ納ムル所ハ實ニ租稅ニアラズシテ多數人民ノ稱スル如ク財產ノ殘部ヲ保有スル爲メニ其ノ一部ヲ提供スル犠牲ナリトス

輸出入稅及一般交通運搬稅ノ轉嫁ニ關スル特殊ノ問題ハ重農學派ノ一人ケトロスチー可ナリ詳細ニ之ヲ論ゼリ氏ノ所論ノ大部分ハ今日尙參考スルノ價值ヲ有シ輸出稅又ハ輸入稅ガ終ニ外國ノ負擔ニ歸スベシトセラル、條件ヲ論ズル項ノ如キ特ニ然リトス然レドモ斯ク之ヲ論ズルハ岐路ニ亘ルコト甚シキヲ以テ今ハ其ノ詳細ヲ盡サズ

重農學者中最モ注意スルニ値シ最モ偉大ナルハチユルゴイニシテ氏ハ地租ハ眞ニ何人ノ負擔ニ歸スルヤヲ論ズルノ條ニ於テ後世ニ至リ資本主義トシテ知ラレタ

ル原則ヲ甚ダ明快ニ説明セリ曰ハク土地ノミガ租税ヲ賦課セラレ而モ其ノ租税一旦確定センカ資本主タル買主ハ租税ノ爲メニ支拂ヒタル金額ヲ自己ノ資本ノ利子ニ算入セザルベシ之レ恰モ今日土地ヲ買フ者ガ僧侶ノ受クル十分一税又ハ地租ヲ買ハズシテ十分一税及地租ヲ除算セル所得ノ殘額ヲ買フガ如シト一七六四年ニ著ハセル氏ノ記録ニ依レバ氏ハ租税ハ總テ所得ヨリ支拂ハルベキコトヲ主張シ終ニ一般所得ニ論及シ眞ノ社會收入ヲ形成スル純生産ガ課税ノ目的物タルベキヲ主張セリ曰ハク眞ノ所得ヲ有スルハ只ダ土地所有者ノミ所得ニ關スル他ノ概念ハ總テ誤謬ノミト故ヲ以テ租税ハ如何ニ課セラルルモ結局ハ此ノ所得ヨリ支拂ハルベシトノ結論ニ達ス

斯クテ氏ハ間接税直接税ノ區別ヲ生ズルニ至リ少シク後ノ記録ニ於テ之ニ定義ヲ與ヘ土地所有者ガ自己ノ所得ヨリ直接ニ支拂フモノヲ直接税トシ其ノ所得ニ對シ間接ニ賦課セラルルモノヲ間接税トシ間接税ヲ三種ニ大別セリ即チ小作農民ニ課スル税 資本又ハ工業ニ課スル税 購買又ハ消費セラルル貨物ニ課スル税トス然レドモ土地所有者ハ二ケノ方法ニ依リテ間接税ヲ負擔ス一ハ自己費

用ノ増加ニ依リ 一ハ自己所得ノ減少ニ依ル故ニ間接税ナル語ハ土地ノ純收入ニ直接ニ賦課スル租税ヲ除キ他ノ總テノ租税ヲ包含ス

氏ハ又他ノ部分ニ於テ一般ノ富ヲ租税ノ本源ナリト主張スル論者ノ攻撃ニ對シ租税ヲ拂ヒ得ルモノハ盡ク眞ノ富ナルニアラズ若シ租税ヲ拂ヒ得ルモノ盡ク眞ノ富ナリトセンカ富ハ何レノ用ニモ供セラレ得ベキモノナラザルベカラズ詳言スレバ富ハ後年ノ復生産ニ對シ直接又ハ間接ニ必要トセラルルモノタルベカラズ勿論富ハ生産上有要ノ元素ナリト雖而モ復生産ニ要セラルル富ヲ他ノ方面ニ施用スルトキハ常ニ國富ヲ害シ從テ政府ノ勢力ヲ害スベシトセリ氏ノ轉嫁論ハ全部此ノ主義ノ上ニ築カルルモノトス

ベンジヤミン・フランクリンノ爲メタリト稱セラルル記録ニ依レバチヨルゴトハ遂ニ間接税ガ總テ土地所有者ニ轉輾ストノ理論ヲ一層充分ニ闡明セリト雖氏ハ此ノ理論ヲ唱ヘタルニ拘ハラズ大藏大臣在職中單一税ノ計畫ヲ實行セントハ企テザリシナリ之レ斯ノ如キ不確實ナル計畫ヲ自ラ實行センニハ氏ハ餘リニ大政治家タリシナリ

重農學者ハ其ノ時代ノ米國思想界ニ著大ノ影響ヲ與ヘ早キ時代ノ米國政治家ノ著書中「エコノミスト」ノ學說ニ不斷ノ交渉ヲ爲スモノ少カラズ例ヘバベンジャミン・フランクリンハアッペー・モレイル・ペイラート切リニ文書ヲ往復シ氏ノ後年ノ手紙ニヨレバ氏ハ重農學派ノ理論ヲ自己本來ノ經濟主義中ノモノノ如クニ注意シタルガ如トシト雖氏ハ實際的の見識大ナリシガ故ニ之ヲ米國ニ實施スルノ無用ナルヲ自覺シアレキサンダー・ハミルトンモ又其ノ著コンチネンタクストニヨレバ重農學派ノ理論ヲ信ジタルガ如シト雖氏ノ議論ノ趣旨ヲ熟讀スルニ土地單一稅論ヲ賛成セザリシノミナラズ「米國ノ現狀ニ於テハ特ニ意ヲ用ヒテ土地及其ノ產物ニ重キ負擔ヲナサシメザルニ心懸クベシ」トセリ

佛國ノ卓越セル學者エム・ルロア・ポリョーハ奇妙ナル誤ニ陥リ氏ハ重農學者ヲ以テ土地單一稅ヲ實行スルトキニ於テモ土地所有者ハ土地ノ價格騰貴ニ依リ何等失フ所ナク本來ノ出資ヲ償フコトヲ得ト主張スルモノナリト解スルモ之レ氏ノ誤謬ニシテ重農學者ノ根本理論ハ總テノ租稅ハ結局土地所有者ノ負擔ニ歸シ土地所有者以外何人モ之ヲ負擔スルモノナシト云フニアリ之レ彼等ノ主張スル土地

單一稅ハ即チ轉嫁スルコトナキ租稅ナリト信ジタルガ故ナリトス彼等ノ意見ニヨレバ土地所有者ハ間接稅ニ依リテヨリモ直接稅ニ依リテ蒙ル苦痛ヲ感ズルコト少ナキナリ何トナレバ間接稅ハ稅率ヲ高クスルヲ必要トシ而モ得ル所少キノミナラズ土地所有者ノ繁榮ノ基礎ヲ破壞スルノ傾ヲ有シ直接稅ハ破壞的傾向少ナクシテ本來賦課セラレタルモノ即チ土地所有者ノ負擔タレバナリ

租稅轉嫁ニ關スル重農學派ノ理論ハ之ヲ形式上ヨリ見ルトキハ何等ノ否認スベキモノナシ此ノ主義ハ只ダ農業ノミ生産ストノ特殊ノ理論ヲ基礎トスルガ故ニ人ヲシテ誇張不安ノ念ヲ抱カシムト雖重農學派ノ分配論及自然法ニ對スル觀念ハ經濟學ヲ現代的ニ導キタルモノト云フベシ而シテ重農學派ノ根本原則第三——純生産ニ關スル原則——ハ分配論及自然法ニ關シ深大ノ影響ヲ斯派ヨリ受ケタルアダム・スミスノ爲メニ其ノ基礎ヲ動搖セシメラレタリ若シ重農學者ニシテ經濟政策ヨリ農業主義ト稱セラレ得ベクンバアダム・スミスハ即チ商業主義ト稱セラルルニ至ランカ而モ純生産ナル特殊ノ理論ヲ離レ租稅轉嫁ニ關スル彼等ノ理論ニ就テ見ルトキハ世人ノ想像スルガ如ク相異ナルモノニアラザルナリ

第二章 絶對說

租稅轉嫁モ他ノ經濟的研究ノ諸問題ノ如クアダム・スミス及リカードノ著書ニ溯リテ研究スルヲ普通トス而シテ此等ノ大思想家ニヨリテ唱ヘラレタル說ハ後述ノ理由ニ依リテ絶對轉嫁論ナル名目ノ下ニ概括スルヲ得

アダム・スミスノ研究ノ基礎ハ總テノ收入ヲ地代・利潤・勞銀ノ三者ニ區分スルニアリ氏ノ說ニヨレバ土地ニ課スル租稅ハ地代ニ比例スルト將タ生産ノ總額ニ比例スルトヲ問ハズ實ハ總テ地代ニ對スル課稅ニシテ地租ハ假令小作人納稅者タルモ遂ニ土地所有者ノ負擔ニ歸シ地代ニ課スル租稅ハ必然土地所有者ノ負擔ニ歸セザルヲ得ス何トナレバ農夫ハ年々其ノ租額ヲ計算シ之ヲ累積シ彼等ノ土地所有者ニ支拂フベキ地代ヨリ之ヲ削減スレバナリ農夫モ亦商人ト同ジク相當ノ利潤ヲ得ザルベカラザルヲ以テ租稅トシテ支拂フ額ノ益々増加スルニ從ヒ地代トシテ土地所有者ニ支拂フ額ハ益々減少セザルヲ得ズ而シテ家賃ニ課スル租稅ハ

聊カ之ト異ナリ何トナレバ家賃ハ二種ノ要素——建物料及敷地料——ニ區分セラレ其ノ敷地料ニ對スル租稅ハ恰モ地代ニ對スル租稅ノ如ク土地所有者ノ負擔タルヲ免レズ之レ租稅トシテ住民ノ支拂フ所益々増加スルニ從ヒ土地ニ對シテ支拂フ所ハ益々減少セザルヲ得ザレバナリ然リト雖建物料ハ家屋ノ建築ニ支出セシ資本ノ利潤ニ過キザレバ建物料ニ對スル租稅ハ借家人ノ負擔ニ歸ス何トナレバ家屋ノ建築者ニシテ其ノ資本ニ對シ他ノ商人ト同率ノ利子ヲ得ルコト能ハザルトキハ建物料——即チ此ノ場合ニ於テハ利潤——ガ需要増加ノ爲メニ再ビ利潤ノ水平線ニ上ルマデハ家屋ノ建築ヲ中止スベケレバナリ故ヲ以テ家賃ニ課スル租稅ハ一部分ハ土地所有者ノ負擔ニ歸シ一部分ハ借家人ノ負擔ニ歸ス然レドモ如何ナル比例ヲ以テ終ニ兩者ノ間ニ分配セララルカヲ決スルハ恐ラクハ容易ノ業ニアラザルベシ

利潤ニ課スル租稅ハ其ノ解剖簡單ナリアダム・スミスハ資本ヨリ生スル利潤ヲ利子トシテ支拂フ部分ト利子ヲ超過セル部分トニ二分シ後者ニ屬スル潤餘ハ資本使用者ヲシテ引續キ資本ヲ使用セシメンニハ必ズ受ケシメザルベカラザル資本

使用ニ伴フ勞務ト危險トニ對スル報償ナルヲ以テ此ノ種ノ潤餘ニ對スル租稅ハ常ニ轉輾スルモノニシテ其ノ資本農業ニ使用セラル、トキハ土地所有者ニ轉輾シ商業ニ使用セラル、トキハ消費者ニ轉輾スベシ之レ「農業資本」トシテ使用セラルトキハ土地所有者ニ支拂フベキ額即チ地代ヲ減少スルノ外何等其ノ利潤ノ歩合ヲ高ムルコト能ハズト雖商業又ハ工業資本トシテ使用セラル、トキハ貨物ノ價格ヲ騰貴セシムルニ依リテノミ利潤ノ歩合ヲ高ムルコトヲ得ベケレバナリ利子稅—スミスノ所謂資本使用ニ伴フアラユル危險勞務ヲ充分補償シテ尙殘ル所ノ純生産ニ課スル租稅—ハ恰モ地代ニ課スル租稅ノ如ク全ク資本主ノ負擔ニ歸スルガ如シト雖實際ニ於テハ利子ハ直接稅ノ課稅物件トシテハ稍々地代ヨリモ適當ナラズ何ントナレバ土地ハ之ニ觸ル、コトヲ得又確定スルコト容易ナルモ資本ハ然カスルコト能ハズ資本ハ轉々其ノ地ヲ移シ得ルニ拘ハラズ土地ハ然カスルコト能ハザレバナリ故ヲ以テ資本ニ對スル課稅ハ資本ヲ國外ニ驅逐スルノ原因トナリ資本ニ依リテ維持セラル、總テノ事業ヲ廢絶ニ歸セシムベシ斯ノ如キトキハ單ニ資本ヨリスル利潤ヲ減少スルノミナラズ又地代及勞銀ヲ減少ス

ルニ至ル故ニ利潤ニ課スル一般稅ハ資本使用者ノミナラズ尙他ノ階級ニ影響スト雖特殊ノ商業ニ用ヒラルル資本ノ利潤ニ課セラル、租稅ハ販賣者ヨリ消費者ニ轉嫁スルモノタリ之レ販賣者ハ通常ノ場合ニ於テハ常ニ相當ノ利潤ヲ得サルベカラザレバナリ而シテ消費者ハ其ノ消費スル貨物ノ價格ノ引上ニヨリ販賣者ノ納付スル租稅ノミニ止マラズ尙其レ以上ノ負擔ヲ爲スモノトス勞銀稅ハ常ニ轉輾スルモノタリ之レ勞銀ハ勞働ニ對スル需要及食物ノ平均價格ニ依リテ定メラル、事實ニ因ルモノニシテ若シ此ノ二者ニシテ變動セザランカ勞銀ニ課スル直接稅ハ其ノ租額ヨリ尙多額ニ勞銀ヲ騰貴セシムルノ外何等ノ影響ナク若シ其ノ勞働者工業ニ從事スル者ナランカ工業主ハ其ノ勞銀ヲ増加セサルヲ得ズト雖而モ終ニハ利益ヲ増加シ消費者ノ負擔ニ歸セシムベク又其ノ勞働者農業ニ從事スルモノナランカ農夫ハ終ニ土地所有者ニ支拂フ小作料ヲ減少スベシ乍而小作料ノ減少及物價ノ騰貴ハ共ニ租額ヨリ大ナルモノトス然ルニ勞働ニ課スル租稅ガ常ニ其ノ租稅ニ比例スル増加ヲ勞銀ニ致ササルハ課稅ノ爲メニ勞力ノ需要減少スルガ故ニシテ此ノ結果ハ即チ工業ノ衰退勞働者需要ノ減少並

ニ一國ノ土地及労働ノ生産年額減少トナル而モ尙勞銀ハ課税以前ニ比較スルトキハ騰貴セザルベカラズシテ此ノ騰貴ハ結極消費者ノ支拂フ所トナラザルベカラザレバナリ而シテ之ト同一ノ議論ハ「天才アル技術家自由職業者ニ對スル報酬」ニ適用スルヲ得ト雖此ノ理論ハ市場ノ自由競争ノ範圍外ナル「役人ノ俸給」ニハ充分適用スルコト能ハザルモノトス

最後ニアダム・スミスハ「所得ノ各種ニ平等ニ負擔セシムル」租税ハ人頭税及消費貨物税ナリト論ズ人頭税ハ下層ノ人民ニ課セラルルトキハ勞銀税タルガ故ニ勞銀税ニ對スルト同一ノ批難ヲ受ク即チ本税ハ消費者ニ轉帳ス又消費貨物税ハ必需品若シクバ奢侈品ノ兩者ニ賦課セラレ必需品ニ對スル課税ハ勞銀ヲ騰貴シ(何トナレバ勞銀ハ一部必需品ノ價格ニヨリテ決定セラルレバナリ)消費者又ハ土地所有者ノ負擔ニ歸シ労働ニ對スル租税ト全ク同一ノ結果ヲ來タス之ニ反シテ奢侈品税ハ勞銀ヲ騰貴セシムルコトナク單ニ其ノ貨物ヲ消費スル者ノ負擔ニ歸シ貧民ノ側ヨリ云ヘハ單ニ節儉法ト同一ノ作用ヲ爲スニ過ギズ故ヲ以テ必需品税ニ反對スルハ常ニ富人ノ利益タリ何トナレバ奢侈品税ヲ負擔スルハ單ニ奢侈品ヲ

消費スルモノニ限ラルト雖總テノ必需品税ハ結極富人ノ負擔ニ歸スルヲ以テナリ以上アダム・スミスノ説ヲ概括スルニ勞銀税利潤税(利子税ヲ除ク)必需品税ハ常ニ轉帳シ地租、奢侈品税ハ轉帳スルコトナシ斯クノ如キガ故ニ租税ヲ負擔スル社會上ノ階級ハ先ヅ土地所有者、富裕ノ消費者及或ル範圍ノ資本貸付者ナリトス之ノ深遠豊富ノ思想トシテ知ラレタルアダム・スミスノ説ハ全ク此ノ地代論、利潤論、勞銀論ヨリ生ズルモノナルガ故ニ若シ氏ノ地代論、勞銀ハ生活ノ必需品ニ基因ストノ説、利潤平均論ノ觀念ヲ疑フトキハ氏ノ所説ノ大部分ハ茲ニ破壊スベシ近代ノ經濟上ノ理論ハ既ニ此ノ所論ノ此等ノ基礎ヲ認メズリカードスラ既ニ其ノ根據ヲ覆セリ乍而アダム・スミスハ毫モ斟酌ヲ加ヘザル自由競争ノ理論並ニ單純ナル經濟原因ノ避クベカラザル作用ヲ基礎トシテ租税轉嫁ヲ論ジタルガ故ニ或ル意味ヨリスレバ氏ハ租税轉嫁論ノ絶對派ノ先驅ト稱スルヲ得ベシ

リカードノ著「經濟及租税論」ノ大部分ハ租税ニ關ス氏ノ鋭敏ナル頭腦ハ直チニ租税問題ノ真髓ヲ覺知シ本書ハ殆ンド全部租税轉嫁ノ研究ヨリナル氏ノ租税轉嫁ニ關スル議論ハ氏ノ他ノ著書ト同ジク善惡共ニ各同一ノ特色ヲ有ス即チ一方ニ

ハ深刻鋭利ナル分拆力換言スレバ現象ヲ全ク孤立セシメ其ノ現象ヲ紛亂セントスル原因ノ影響ヲ受クル事ナクシテ之ヲ論ズル驚クベキ力ト他方ニ於テハ假想セル場合ヲ實在セルモノトシ又假定ノ前提ヨリ數理的精確ト論理的斷定ニ依リテ得タル式ヲ經濟上ノ事實トシテ表示ス之等ノ特色ハリカード派ノ說ノ強味トスル所ニシテ又弱點タリ

リカードハアダム・スミスト同ジク租稅轉嫁ニ關スル一般ノ原則ヲ說カザルヲ以テ兩人ニ付テハ其ノ一般原則ハ各種ノ租稅ニ關スル議論ヨリ結集セザルヲ得ズリカードハ地代論ニ關シ又勞銀ト利潤ノ關係ニ付テアダム・スミスト其ノ說ヲ異ニスリカードノ地代論ニヨレバアダム・スミスノ地租ハ終ニ土地所有者ノ負擔ニ歸ストノ說ト全ク相反スリカードモ地代ハ生産費ヲ扣除シタル剩餘ニシテ生産物ノ價值ハ租稅ノ影響スル所トナラザルヲ以テ地代ニ課スル租稅ガ全部土地所有者ノ負擔タルヲ認メザルニアラズト雖之ト生産物稅十分一稅又ハ地租トハ全ク異ナリ之等ノ數者ハ土地所有者ヨリ消費者ニ轉帳セラルルモノトセリ氏ハ穀物ノ價格ハ地味ノ最モ劣等ナル土地ノ生産費ニ依リテ定マルモノナリトスルヲ

以テ其ノ生産費ヲ増加スルモノハ即チ穀物ノ價格ヲ騰貴ス故ニ生産物稅ハ穀物ノ價格ヲ騰貴シ消費者ニ轉帳ス穀價ノ騰貴ハ耕作者ガ租稅ヲ納メ資本ノ利用ニ依リ一般普通ノ利益ヲ引續キ得ントスル方法ニ過ギザルノミ元來地代ガ穀物ノ價格ヲ定ムルモノニアラザルヲ以テ耕作者ハ地代ヲ減額シテ租稅ヲ納ムル能ハズ又利潤ヲ減ジテ資本ヲ利用スルコト能ハザルガ故ニ利潤ノ一部ヲ削キテ租稅ヲ納ムル能ハズ然レバ穀價ノ騰貴以外他ニ租稅ヲ納ムル途ナキナリ

從テリカードノ說ニヨレハ純粹ノ地代ニ課スル租稅ニアラザル他ノ土地ニ課スル租稅ハ總テ消費者ニ轉帳スルモノタリ而シテ吾人ハ皆消費者ナリト雖消費者ハ盡ク此ノ租稅ヲ負擔スト云フニアラズ一大階級即チ勞働者ノ階級ハ除外セラ

ルベシ之レ粗生産品ニ對スル租稅ハ生活ノ必需品ノ價格ヲ騰貴セシムル諸稅ノ如ク必然勞銀ヲ騰貴スベケレバナリ勞銀ハ勞働者ノ自然的及慣習的生活ノ維持ニ必要ナリトスル額以上ニ永ク繼續スルモノニアラズト雖而モ勞銀騰貴セバ利潤ハ減少セザルベカラザルガ故ニ地租ハ土地所有者又ハ株主等ノ負擔ニ歸セズシテ勞働使用者タル資本主ノ負擔ニ歸ス

而シテ尙勞働ヲ使用スル資本主ハ其ノ納付スル租税ヲ他ニ轉帳シ能ハザルヤ否
 ヤノ問題存ス換言スレバ利潤税ノ轉帳如何ト云フコト之ナリリカードハアダム・
 スミスト等シク或ル特殊ノ階級ガ收得スル利潤ニ對スル租税ハ消費者ニ轉帳セ
 シメ得ト主張スト雖總テノ利潤税ガ轉帳スルヤ否ヤノ問題ハ斯ク單純ナルモノ
 ニアラズ今外國貿易ニ對シ何等ノ注意ヲ加フルコトナキトキハ物價騰貴ノ現象
 ヲ見ルベキモ貨幣モ亦外國ヨリ輸入セラレタル貨物ナルヲ以テ假ヒ物價騰貴ス
 ルコトアルモ其ノ騰貴永續スベキモノニアラズ高價ナル内國貨物ハ輸入貨物ノ
 應酬トシテ到底輸出スルコト能ハズ却リテ物價ガ以前ノ水平線ニ下落スルマデ
 ハ貨幣ノ輸出ヲ見ルニ至ルベシ此ノ關係ニヨリテ見レバ利潤税ハ消費者ノ負擔
 ニ歸セズシテ生産者ノ負擔ニ歸スト推論スルヲ得ベシ

氏ハ最後ニ勞銀税ヲ論ジ勞銀税ハ勞銀ヲ騰貴セシムルモノトセリ即チアダム・ス
 ミスノ原則ニ對スルブッハナンノ反對論ヲ論ジ生活必需品ノ價格ノ騰貴ハ必ズシ
 モ常ニ勞銀ヲ騰貴セシムルモノニアラザルコト及勞銀ハ又普通租額丈増加セラ
 ルルモノニアラザルコトヲ認ムト雖問題ヲ全轉ヨリ觀察スル氏ノ特色ハ恰モ此

ノ讓歩的承認モ尙氏ノ一般原則ヲ否定スルコト能ハザル如クニ其ノ論歩ヲ進メ
 租税ハ勞銀ヲ騰貴ストノ假定ニ基キ租税ガ利潤ヲ減殺スルノ已ムベカラザルヲ
 論結シ以テ彼ノアダム・スミスガ勞銀税ハ消費者ニ轉帳ストスルノ說ニ反對シ生
 産者ハ各自相互ニ他ノ生産者ノ貨物ノ消費者ナルガ故ニ他人ノ生産物ニ對シ高
 價ヲ支拂ハザルヲ得ザルニ依リテ乃チ自己ノ生産物ノ價格ヲ騰貴セシムルニ至
 ルベク而モ此ノ不都合ナル方法ハ無制限ニ進行スベシ斯ノ如ク租税ハ利潤ノ負
 擔ニ歸スルヲ以テ租税ガ利潤ニ課セラルト將タ勞銀ニ課セラルルトハ敢テ問フ
 所ニアラズ租税ノ結局歸スル所ハ即チ資本ニ對スル利潤ナリトセリ
 上述ノリカードノ說ハ氏ノ勞銀基金論利潤論經濟上ノ地代法ニ基クモノナルガ
 故ニ分配ニ關スル氏ノ一般原則ヲ容ルト否トニヨリ之等ノ議論モ或ハ消滅シ或
 ハ存續ス乍而二個ノ要點ハ——一ハアダム・スミストリカードノ議論ノ結果ノ差
 異一ハ兩者ノ論究方法ノ均シキコト——大ニ注意スルヲ要ス
 既ニ述ベタル如クアダム・スミスハ土地ニ對スル總テノ租税及勞銀並ニ利潤ニ對
 スル租税ノ大部分ハ土地所有者ノ負擔スル所ナルヲ以テ土地所有者ハ結局租税

ノ殆ンド全部ヲ負擔シ「富裕ナル消費者」ノ負擔スル所ハ寧ロ少部分ニシテ資本主ノ負擔スル所ハ尙一層少額ナルコトヲ主張シ反之リカードハ土地所有者ノ負擔スルハ本來ノ地代ニ對スル租税ノミニ止マリ土地ニ對スル他ノ租税ハ總テ轉帳スルモノナルコトヲ主張セリ故ニリカード及スミスハ勞銀ガ租税ノ影響スル所トナラザル點ニ就テハ互ニ一致スト雖リカードハ資本ヨリ利潤ヲ得ル者ヲ國ノ眞ノ租税支拂者トシアダム・スミスハ土地所有者ヲ眞ノ支拂者トス然レバ一ハ土地的利益ノ辯護者ニシテ一ハ資本的利益ノ辯護者ト稱スルモ可ナリ

斯ノ如ク其ノ結果ヨリ見レバ兩者ノ説ク所相異ナリト雖其ノ推理ノ方法ニ於テハ大ニ相一致ス彼ノロッシェルガリカードノ「宏大ナル抽象」ト稱スル所ハ恐ラクハ一層感銘スベキモノナランリカードノ推理ハ毫厘モ條件又ハ斟酌ヲ容サズ競争ノ法則ハ完全ニ行ハルルモノトシ資本、勞働ノ絶對的移動ハ前提トセラレ非常ニ實現ノ困難ナルベキ假想モ眞正ナル事實ノ説明トシテ正當ニ信ゼラレ——總テノ事項ヲ不注意ナル讀者ニモ尙信ゼシム——各事件ハ總テ最モ簡單ナル形式ニ變ゼラレ工業社會ノ複雑セル問題モ殆ンド平易ナル數學上ノ問題ノ如ク處理セラレ

タリリカードノ分配ニ關スル根本ノ法則ハ假ヒ正理ナリトスルモ租税負擔ニ關スル氏ノ説ハ尙不完全タルヲ免レズ社會ノ現象ヲシテ氏ノ論ズルガ如クナラシメバ其ノ所説正當ナリシナランモ實際ノ現象ヲ説明スルニハ尙不十分ナリシナラン氏ノ論ハ經濟上ノ摩擦ノ實際ニ於ケル効果ヲ看過シタリ然レドモ吾人ハ氏ノ分解力ノ大ナルニ驚キ衷心何分ノ疑念ヲ抱クモ尙氏ノ結論ヲ尊敬セザルヲ得ズ氏ノ租税轉嫁ノ法則ハ或ル點ニ於テハ早熟ニ失シ不充分タルヲ免レズト雖其ノ不屈不撓ノ抽象ハ絶對論派ノ秀絶ナルモノトナスニ憚ラザルナリ

第三章 均一分布説

此ノ説ハ既ニ第十八世紀ニ於テ有名ナル以太利ノ經濟學者ヴェリノ著書ニ其ノ萌芽ヲ發シタリ氏ノ説ニヨレバ何人モ消費スルヲ以テ租税ハ消費ノ際ニ總テノ人ト接觸シ之ガ爲メニ租税ハ自然ニ平衡ヲ得ルニ至ル傾向ヲ有ス今土地ニ課税セバ農産物ノ價格ヲ騰貴シ原料品並ニ製成品ニ課税センカ商人並ニ技術者ハ以

前ヨリモ其ノ價格ノ高カラシキコトヲ求ムベク勞働者ニ課税センカ勞働者ハ從前ヨリモ多額ノ勞銀ヲ得ズンバ已マザルベシ斯ノ如ク租税ハ常ニ膨脹力ヲ有シ絶ヘズ其ノ影響ヲ及ボス範圍ヲ大ニシテ以テ水平ヲ求メントス此ノ點ヨリ觀レバ租税ハ之ヲ甲ノ階級ニ課スルモ將タ乙ノ階級ニ課スルモ何等ノ差異ヲ生ズルガ如キコトナカルベシ

然シ氏ハ「租税ハ消費ニ依リ分布セラレ自ラ平衡ヲ得ルノ傾ヲ有スト」ノ說ヲ自己ノ満足スルマデ詳細ニ證明シタル後明白ナル此ノ無差別ノ法則ハ眞實防禦スベカラザルモノニアラザルヲ主張セリ租税ノ負擔ガ平衡ヲ得ルニ至ルト云フハ常ニ不斷ノ爭鬭―戦争ノ状態―ヲ包含ス又氏ノ他ノ場所ニ用ヒタル詞ヲ用ユレバ各階級間各個人間ニ革命ノ状態ヲ成スモノナリ租税ガ富有ニシテ勢力アル者ニ賦課セラルルトキハ彼等ハ容易ニ貧弱ナル者ニ轉帳シ得ベシト雖而モ直接ニ弱者ニ賦課セラシカ之ヲ轉帳シ平衡ヲ得セシムルコト徐々タルベクシテ彼ノ貧者ガ富有者ヨリ公平ヲ得ントスルニ當リテ遭遇スルアラユル躊躇障害ヲ伴フベシ而シテ氏ハ此ノ最初ノ反撥ヨリ最終ノ落着ニ至ル間ガ國民生活ノ最モ重要ナル危

機ヲナシ租税ノ轉帳ヲ考究スルニ際シテ特ニ記憶ニ存スベキ事ニ屬スト論結セリ從テ氏ハ貧民社會ヲ課税ノ範圍外ニ置クベシトノ熱心ナル主張者タリ

氏ニ先ダツ數年前英國ノマンフィールド卿ハ此ト同一ノ思想ヲ唱ヘタリ卿曰ハク「余ハ如何ナル租税モ總テ湖中ニ投ゼラレタル小石ガ紋波ヲ畫キ一波ハ一波ヲ生ジ遂ニ其ノ周圍全部ヲ中心ヨリ波動セシムルノ眞實ナルガゴトクニ然ルヲ主張スト」而モ卿ハ尙論歩ヲ進メテ之ヲ事實ニ適用スルヲ敢テセザリキ其ノ後數年ノディクソンハ租税轉帳ノ順序ヲ記述シ租税ニ關係アルモノハ總テ課税ニ依ル物價騰貴ニ比例シテ租税ヲ負擔スルニ至ルベシトセリ

之ト殆ンド同時代ノ他ノ英國ノ記者ハ課税セラルル貨物ハ勿論課税外ノ總テノ貨物ト雖租税ノ爲メニ價格ノ騰貴スルハ避クベカラザル所ナリトシテ曰ハク「彼ノ數多ノ水流ガ種々ノ水路ニヨリテ別々ニ排水セララルルニ拘ハラズ一般ノ洪水ヲ成スガ如ク數多ノ租税モ結局ハ相結合シテ全般ヲ蔽フニ至ルモノナレバナリ」ト其ノ故ニ各個人ハ假各自身ニ賦課セラレザルトキト雖尙租税ノ一部分ヲ負擔スベキナリ又第十八世紀ノ終ニ當リテジョン・ヤングノ著ハシタル著書ハ之ヨリモ

尙一層充分ニ同一ノ思想ヲ表明スヤングハ租税ハ其ノ課セラレタル貨物ノ價格ヲ騰貴セシムルノミナラズ尙貨幣ノ價值ヲ下落セシメ從テ課税外ノ總テノ貨物ノ價格ヲ騰貴セシムル勢ヲ有シ結局租税ニ依リテ勞銀モ亦増加スト主張セリ然レドモ勞働者ニシテ自己ノ田園ニ産シタルモノヲ食シ其ノ父祖ノ如ク自己ノ製シタルモノヲ衣ルトキハ勞働者ハ實際ニ於テハ毫厘モ政府ニ納税スル所ナク又以前ヨリモ多額ノ勞銀ヲ得ルコトナシトシテ曰ハク新ニ租税ヲ課スルトキハ課税前ニアリテハ人民ノ掌中ニ歸シタルモノヲ課税ニヨリ人民ヨリ取り去ルヲ以テ租税ハ人民ノ負擔ナルヲ免レズト雖其ノ行ハルル久シキニ從ヒ之ヲ感スルコト益々輕ク遂ニハ何等感ズル所ナキニ至ルモノノ如シト尙曰ハク世人ハ是ヲ以テ大膽ナル斷定ト云ハンモ而モ余ハ充分之ヲ説明シ得ルヲ信スト

然レドモヴェリ^エハ英國ノ記者ト共ニ世人ニ看過セラレタルモノノ如ク此ノ說ノ近世的形式ヲ備ヘタルハカナールノ有名ナル著書ニ始マル而シテ此ノ書今ハ稀ナルヲ以テ稍充分ノ説明ヲ爲スヲ正當ト信ズ

カナールハ重農學派ノ租税轉嫁論駁撃ヲ公示シタル著書ニ其ノ意見ヲ發表セリ

此ノ說ニヨレバ勞働ハ自然勞働(natural labour)——即チ生存維持ニ缺クベカラザル勞働——ノミナラズ氏ノ所謂獲得勞働(acquired labour)及餘分勞働(Superfluous labour)アリテ此ノ三種ノ勞働ガ總テノ剩餘即チ收入ノ基礎ヲ成ス從テ收入ニモ亦三種アリ即チ土地又ハ工業ニ使用スル固定勞働(fixed labour)ノ成果タル不動産收入(re-nte fonciere)工業上ノ熟練勞働(travail appris)ノ成果タル工業收入(rente industrielle)及商業上ノ餘分勞働(travail superflu)ノ成果タル動産收入(rente mobiliere)是ナリトス而シテ何人モ其ノ勞働ヲ最大ノ收入又ハ潤餘ヲ得ル職業ニ使用センコトヲ目的トシ彼此相互ノ間ニ爭鬪ヲ爲スカ故ニ總テノ經濟上ノ現象ヲ説明スル法則タル「利益均衡」(equilibrium of advantage)ヲ組成シ是等三種ノ收入ノ平衡又ハ均衡ハ租税轉嫁ノ法則ノ基礎ヲ成スモノタリ

氏ハ繼ケテ曰ハク租税ハ決シテ生存維持ニ必要缺クベカラザル自然勞働(travail natural)ノ負擔ニ歸シ能ハザルガ故ニ上記三種ノ收入ノ一ヨリ支拂ハレザルベカラズト又曰ハク租税ハ各種收入間ノ均衡ヲ紊亂スルガ故ニ轉帳セラルル從テ租税カ如何ニ課セラルルカ即チ收入ニ課セラルルカ又ハ消費ニ課セラルルカハ問フ

所ニアラズ其ノ何レニ課セラルルニセヨ轉嫁ハ常ニ異ナルコトナシ是租税ハ常ニ購買者並ニ販賣者ノ希望又ハ「決斷」ヲ減殺シ兩者ノ希望ガ租税ヲ兩者ノ間ニ均分スルニヨリテ均衡ヲ得ルマテバーノ賣買モ成立セザルベケレバナリト是即チ交換ニ於ケル「決斷」ノ均衡 (equilibrium of determination) タリ然レバ租税轉輾ノ第一節ハ左ノ如クナルベキモノトス

租税全額	租税半額	第一販賣者負擔ス
第一購買者負擔額	租税四分ノ一	第二販賣者負擔ス
第二購買者負擔額	租税四分ノ一	第三販賣者負擔ス
第三購買者負擔額	租税四分ノ一	第四販賣者負擔ス
第四購買者負擔額	租税四分ノ一	以下準之

而シ之レ只ダ第一節ニ過ギズ第一販賣者ハ購買者ガ租税四分ノ一ヲ負擔スルニ拘ハラズ自己ガ税額二分ノ一ヲ負擔スルヲ知ルヤ購買者ノ買ハントスル「決斷」ハ

自己ノ賣ラントスル所ヨリ一層強キヲ見テ賣却ヲ拒ムベシ而モ購買者ガ負擔シ得ル租税ヲ負擔スルトキハ即チ二分ノ一丈負擔スルトキハ同一ノ理由ニ基キ第二ノ販賣者ニ税額ノ一部分ヲ負擔セシムベク以下順次斯ノ如クシテ進ムベシ而シテ賣買當事者双方ガ同額ノ租税ヲ負擔スルニ至ルマデハ均衡ハ存在セサルナリ
租税ガ賣買當事者間ニ如何ニ分配負擔セラルルヤヲ理解セシムル爲メカナールハ貨物徹環ノ仕組ヲ連通管ノ例ニヨリテ説明セリ即チ連通管ノ一管ニ如何ニ多量ノ水ヲ注入シ又ハ之ヨリ排出セシムルモ他ノ各管ハ全部水平ヲ得ルマデ増減スベシ斯ノ如ク水ガ各管ノ直經ニ比例シテ自ラ分配シテ其ノ水平ヲ求ムルガ如ク租税モ辛抱力ニ比例シテ賣買兩者ノ間ニ均一ニ配分セラルベシ從テ經濟學者ヨリ云ヘバ現行租税ニ關係ヲ有セサル業態ニ課税セント工夫スルガ如キハ實ニ無用ノ業タルノミナラス何レノ部門ニ屬スル事業ニ課スル租税モ盡ク皆吸角ノ如キ作用ヲ爲スヲ以テ商人又ハ銀行業者ガ其ノ營業帳簿ヲ隱匿スルガ如キモ亦無益ノ事タリ彼ノ外科醫ガ血液ヲ搾取シタル血管ハ施術後他ノ血管ヨリモ血液

少シト云フコトナシ或種ノ工業ノ利潤ガ課税ノ爲メニ減少セラレタル場合モ亦
 斯ノ如クニシテ各業態ノ間ニ均衡ノ恢復セラレルマデ課税セラレザル業態ノ利
 潤ハ課税セラレタルモノニ流入スベシ故ヲ以テ事實ニ於テハ租税ノ負擔ハ結局
 消滅シ租税ハ遂ニ全ク何人ノ負擔トモ爲ラサルモノナリト云フモ可ナルヲ見ル
 然レドモカナルハ斯ノ如キ均衡ノ實現セラレルマテニハ相當ノ時日ヲ要スル
 ヲ自認シ賣買兩者ノ間ニ多クノ競合行ハレ又均衡ノ實現スルマテノ途中ニ多ク
 ノ困難ノ存スルヲ認メ之等ノ困難ヲ「租税ノ摩擦」ト呼ブ均衡ノ回復スルニ至ルマ
 デノ間ニアリテハ「自然的勞働」又ハ通常勞働者ノ勞銀スラモ租税ノ影響ヲ免レ難
 キガ如シ加之摩擦ノ行ハル、間ハ劇甚ナル動搖ヲ生ジ之ガ爲メニ總テノ業務ハ
 均衡ノ回復セラル、マデハ紛亂ノ渦中ニ投ゼラルベシ斯クテ氏ハ吾人ガ大ナル
 眞理ナリト認ムル結論ヲナセリ即チ舊キ租税ハ總テ良税ニ新税ハ總テ惡税ナリ
 一定不變ノ租税ヲ有セザル政府ハ絶ヘズ其ノ方法ヲ變更スル耕作者ノ如シ斯ノ
 如キ耕作者ノ土地ハ暫時ニシテ何物ヲモ生ゼザルニ至リ所有者自ラ衰滅スベク
 若シ充分長期ニ亘リテ行ハレンカ如何ナル租税モ良税トナルベシト然ルニ茲ニ

大ニ奇ナルハ氏ハ此ノ問題ノ實際上ノ解決トシテ現行ノ租税ハ全部之ヲ廢シ鹽
 税ヲ以テ之ニ代ヘント提言シタルコト之ナリ

カナールノ税ハ多數ノ賛成者ヲ得タルガ就中主要ナル者ハ佛ノクルセル・セ・ニ
 ル及シエルブリツツ獨ノブリツトヴィツトスクルセル・セ・ニールハ舊税ハ殆ンド氣候上
 又ハ農業上ノ不便利ト同一ノ作用ヲナシ此等ノ不便利ノ存セザル社會ハ其ノ存
 スル社會ヨリモ憐ムベク不便利ハ社會全般ニ擴張セラルベシトシシブルブリツツ
 モ稍異レル形式ヲ以テ同一ノ思想ヲ發表シテ曰ハク靜止ハ租税制度最良ノ性質
 ニシテ動搖ハ最惡ノ性質タリト而シテ尙總テノ租税ハ其ノ初メ如何ニ惡シキモ
 ノタルトモ漸次善良ノモノト成ルベシト主張セリ

此ノ說ハ獨ノブリツトヴィツツニ至リテ最モ極點ニ達シ氏ハ恒久不變ノ制度ニ依リテ
 ノミ租税ハ公正均衡ニ配分セラル、モノニシテ施行當初ニ於テハ之レ以上ニ背
 理苛歛ノモノナシト思ハル、租税モ亦其ノ數ニ漏レザルコトヲ主張シタリ是即
 チ此ノ說ガ「樂觀說」ト稱セラル、所以ナリ
 カナールト共ニ樂觀說創唱者ナル不思議ノ名譽ヲ分擔スル論者ヲ「チェールトス氏

ハカナールノ影響ヲ蒙ルコトナク全ク獨立ニ同一ノ思想ヲ記述シ特ニ租税ノ「分布」ナル語ヲ始メテ用ヒタルニ依リテ有名ナリ而シテ「分布」ハ氏ガ視學ヨリ借リタルモノニシテ租税ノ轉帳ヲ光線ノ分布ニ比較シ其ノ原則ヲ説明シテ曰ハク「租税ハ無限ニ轉帳シ貨物ノ價格ノ一部分ヲ構成スル傾ヲ有シ各人ノ負擔ハ其ノ國家ニ納税スル額ニ比例スルモノニアラズシテ却テ其ノ消費スル所ニ比例スベシト」而シテ氏ガ此ノ議論ノ根據トスル所ハ大約下ノ如シ即チ直接又ハ間接ニ租税ヲ納付スル製造者ハ其ノ租税ヲ製品ノ價格ニ加フベシ何トナレバ製造者ガ其ノ製品ノ價格ヲ定ムルニ當リテハ其ノ意識スルト將タ然ラザルトヲ問ハズ出費總額ニ相當ノ利益ヲ加ヘタル額タラシムルコト必要ニシテ若シ斯クスルコト能ハザランカ其ノ營業ヲ廢止スベシ然レバ租税ハ生産費ノ一部分ヲ成ス者ニシテ此ノ點ハ單ニ製造者ノ場合ノミナラズ農夫ニアリテモ亦然リ農夫ガ農業ヲ繼續スルニハ出費總額ハ償ハレザルベカラズ又勞働者モ同一ノ地位ニアリ租税ト共ニ勞銀ノ増加スルコトナカランカ彼等ハ其ノ職業ヲ變更スルカ然ラズンバ餓死スルニ至ルベシ斯ノ如キガ故ニ總テノ租税ハ無限ニ轉帳スベシトイフニアリトス

而モチエールノ著書ノ目的トスル所ハ私有財産ノ絶對權ヲ證明セントセルニアルヲ思フトキハ氏ノ此ノ結論ヲナセルモ敢テ驚クヲ要セザルナリ氏ハ最モ賢明確實ナル證據方法ニ從ヒテ政府ノ成シ得ル所如何ヲ問ハズ最モ多ク消費スルモノハ富者ナルガ故ニ最モ多ク租税ヲ納ムル者ハ富者ナリト説明シ社會主義者ニ對シテハ止メヨ汝ハ富者ガ既ニ最モ多ク租税ヲ納ムルヲ見ザルカト説キ間接税ハ貧者ニ重キ負擔トナルガ故ニ之ヲ制限スベシト主張スル急進派ニ對シテハ止マレ其ハ眞實ニアラズ富者ハ現ニ貧者ヨリモ多ク納税スルニアラズヤト説キタリ』氏ガ轉嫁ニ關スル「精確ニ眞ナル説」ト呼ブ論理上ノ結論ハ如何ナル租税制度ガ採用セララルモ何等ノ差異ナシトナスコト疑ヲ容レザル所ナリ然ルニ氏ガ「神ハ吾ガスノ如キ邪説ヲ主張スルヲ禁ズ」ト叫ブニ至リテハ吾人實ニ驚カザルヲ得ズ氏ハ第一ニ租税ノ平等ヲ期セリ而モ此ノ平等ノ如何ナルモノタルヤハ示サザリキ第二ニ租税ハ結局轉帳セラルルモ一時ハ最初ノ納税者ノ負擔タリトノ重要事項ヲ承認セリ而モ又直チニ喜ンデ此ノ承認ヲ看過シ長期間ニアリテハ政府ノ如何ナル行爲アリトモ租税ヲ負擔スル者ハ常ニ富者ナリト主張セリ

佛國ニ於テハ寧ロ淺薄トモ云フベキチエールノ此ノ説ハ殆ンド何等ノ効果ヲ收メズ只ダ彼ノ「租税ノ無限ナル轉帳」ニツイテ説明セルドブログリー一人ノ賛成シタルノミナルニ他ノ諸國ニ於テハ熱心ナル幾多ノ賛成者ヲ得タルハ注意スベキ所ナリ而シテ近世ノ賛成者中最モ有力ナルヲ澳國ノ教授スタイントススタインハ租税轉帳ノ原則全軀ハ思想ノ驚クベキ混亂ノ結果ナリト主張シタル人ニシテ氏ノ説ニ依レバ何人モ其ノ生産物使用者ノ爲メニ租税ヲ前拂スルニ過ギザルモノニシテ各々ノ租税ハ各々ノ人ニヨリテ各々ノ人ニ轉帳セラル、モノナルガ故ニ此ノ理論ヲ推究スルトキハ理論上租税ニ關スル學科ハ無用ナリト云フニ歸着ススタインハ租税轉帳ニ關スル混亂主義ニ代ヘテ租税ノ生産ト云フ單純ナル思想即チ總テノ租税ノ總額ハ生産ノ潤餘トシテ毎年眞實ニ生産セラレザルベカラズトノ思想ヲ主張シタリ

スタインニ取リテハ此ノ思想ハ甚ダ單純ナリシナラント雖其ノ何ヲ意味スルカハ獨乙ノ後繼者スラモ解釋スルコト能ハズト明言セザルヲ得ザリシ程ナレバ吾人ハ茲ニ此ノ不可思議ヲ明カニスルコトヲ敢テセザルベシ

英國ニ於テハ第十九世紀ニ此ノ説ニ關シテ論ジタルモノ比較的僅少ニシテマルチンノ結集シタル所ハ左ノ如シ「租税ハ如何ナル方法ヲ以テ課セラル、ニセヨ公衆ハ即チ租税ヲ負擔スルモノナリト其ノ後數年ニシテ如何ナル租税ヲ問ハズ結局ハ總テ消費者ノ負擔ニ歸スルコトヲ證明セントシテ一書ヲ著ハセル匿名ノ一記者アリ其ノ後ギボンガ著書ニ於テ此ノ問題ヲ之ト同一方法ヲ以テ記述シ且ツ「貨物ノ生産者輸入者又ハ販賣者ノ支拂ヒタル租税ハ間接税タルト直接税タルトヲ問ハズ又何人ガ收税官吏ニ納メタルト金庫ニ拂込ミタルトヲ問ハズ結局ハ消費者ノ負擔ニ歸シ其ノ支拂フ所トナルト」殆ンド同一ノ言語ヲ以テ均一分布説ヲ説明シタルニ鑑ミレバ前ノ匿名著者ハギボンタルコト明カナリトスギボンハ此ノ規則ヲ總テノ租税ニ實際適用シ地租ハ即チ土地ノ産物ニ課スル租税ニシテ利潤税又ハ所得税ノ如ク遂ニ消費者ノ負擔ニ歸スルモノナリトセリ

米國ニハ租税論ニ秀テタル學者僅少ニシテ殆ンド其ノ全部ハ近來マデチエールニ賛成シ米國ハ此ノ主義ガ今日尙行ハル、世界上唯一ノ國タル名譽ヲ請求スルヲ得而シテ此ノ穩當ニシテ苦情ナキ學說ノ主タル代表者ヲダビッド・エー・ウエルス

トス氏曰ハク「租税ハ自ラ均衡ヲ保チ自ラ分布ス租税ニシテ確實一様ニ賦課セラレシカ分布ト轉帳 (reperussion) ニヨリ總テノ財産ニ對シ確實平等ノ負擔タルコト誤ナク租税ハ總テ結局消費者ノ負フ所トナルコト必然ナリ」トアイザック・シャーマン亦同一ノ意見ヲ發表シテ曰ハク「直接ノ競争者ヨリ國家ニ對シテ爲ス比例的貢納ハ世人ノ一般ニ知了スル所タル水ノ壓力ガ何レノ方向ニ對シテモ同一ナルガ如ク總テノ人ト物ニ同一ニ普及スベシ」ト而シテ彼ノクローレーヌラモ此ノ意見ヲ全然拋棄スルコト能ハザリシナリ

米國ニ於テハ經濟學者ウーカイ始メテ樂觀說ノ眞否ニ疑ヲ懷キタリト雖氏ハ此ノ說ガ租税轉嫁ニ關スル數多ノ學說中ノ只ダ一說ニ過ギズシテ租税轉嫁ノ問題ハ此ノ說ヲ否定スルノミニテハ解決シ能ハザル事實ヲ看過シタルモノ、如シ第十八世紀ノ終ニ於テアレキサンダ・ハミルトンモ亦此ノ說ヲ主張シタルガ如キモ勿論斯ノ如キ名辭ヲ使用シタルニハアラズ氏ハ大政治家タリシガ故ニ此ノ說ニ基キタル租税制度ノ外觀上ノ便益ニ到底欺カルルガ如キコトナカリシナリ氏ハ細心ヲ以テ先ヅ第一ニ負擔ヲ衡平ニ分配スルコトノ重要ナル事項ニシテ斯ノ

如キハ一般原則ノ想像上ノ自働的作用ニ依頼スベキモノニアラザルコトヲ指摘シタリ。

樂觀說ハ殆ンド攻撃スルニ價ヒセザル程淺薄ニシテ如上論者以外主要ナル學者ハ何人モ之ヲ贊成セズ其ノ弱點ハ常ニ之ヲ維持セントシタル議論ニ現ハレ吾人ハ今此ノ議論ヲ茲ニ繰返スノ必要ヲ認メズ折衷說ノ批評及本書ノ積極的構成的部分全體ニ於テ此ノ說ノ淺薄ナルヲ示スベシ若シ此ノ說ニシテ眞理ナランカ現在ノ研究ノ如キハ到底其ノ必要ヲ認ムルコト能ハザル所ナリトス

彼ノ悲觀說ト稱セラルベキモノモ亦樂觀說ト同シク均一分布說ニ基クモノニシテ只ダ其ノ結論ヲ全然異ニスルノミ而シテ此ノ說ノ主タル主張者ヲ無政府主義ノ大家ブラウド・ントス氏ノ說ク所ニ依レバ租税ハ總テ結局消費者ニ對スル負擔トナリ立法者トシテハ然ラザラシムベク試ミ得ンモ而モ此ノ轉帳ハ到底防グコト能ハザル所タリ氏ハ結論ニ於テ直接税ト間接税トヲ區別スルハ全ク無用ニシテ且ツ斯ノ如キ分類ノ結果ハ常ニ「財政上無意味」ナリトシ又消費者ノ階級ハ貧者ニシテ租税ノ加フル壓力ハ富者ニヨリモ貧者ニ對シテ一層重キハ避クベカラ

ザル所ナルガ故ニ租税ハ總テ不公正ナリ此ノ不公正ハ即チ租税ヲシテ不公平タラシム租税ハ勿論必要欲クベカラザル所タリ而モ其ノ不公平ハ亦必然ニシテ避ケ得サル所ナリトス之レ即チブラウドーンノ有名ナル「經濟上ノ矛盾」ノ一タリ故ニ租税問題ハ遂ニ解決スルコト能ハザル所ニシテ瑕瑾ハ比例主義ニ伴フニアラズ革命ニ伴フニアラズ又政府ニ伴フニアラズ思想ニ伴フニアラズ又人ニ伴フニアラズ其ノ屬スル事物本然ノ性質中ニ之ヲ見ルベキナリ

ブラウドーンノ悲觀說ハ亦チエールノ樂觀說ト同シク皮想ノ見タルヲ免レズ兩者共ニ議論ヨリモ寧ロ其ノ用語ニ力ヲ用ヒテ満足ス兩者ノ議論ハ其ノ實際上ノ結果非常ニ相反スルニ拘ハラズ其ノ如何ナル租税ヲ賦課セララルモ事實上何等ノ差異ナシト信ズル點ニ於テハ實質上相一致スルモノナリ斯ノ如キ理論ヨリ觀察センカ財政學ハ全部只ダ狂言師假聲師ノ無用ノ產物タルニ過ギズ

近來ノ米國ノ學者アルバート・エス・ボルスハ恐ラクハブラウドーンノ影響ヲ蒙レリトスルヲ不當トシテ否定スベシト雖悲觀說ノ辯護者トシテ認メラル、所タリ實ニ氏ハ悲觀說ノ根柢ヲ租税轉嫁ノ行ハル、順序ノ不確定ナルニ置ク者ニシテ

其ノ說ニヨレバ「租税ノ轉移ニ關シテハ一定ノ法則決シテ行ハレザルノミナラズ又其ノ法則ヲ決定シ能ハザル所ナリ」……「其ノ施行ノ始メニ當リテ總テノ財産ニ對シ公平ニ賦課セララル租税モ其ノ施行中ニ非常ニ不公正ノ租税ト變ジ……者ハ其ノ一部分ヲモ他人ニ移スコト能ハズシテ租税全額ヲ負擔シ或者ハ他人ニ租税全額ヲ負擔セシメ又ハ殆ンド全部ヲ他人ノ負擔タラシムルガ如キ業務ニ從事シ又ハ幸ニシテ斯ノ如キ財産ノ所有者タルコトアリ斯ノ如クニシテ之ヲ制度全躰ヨリ見ルトキハ最モ大ナル不均一ヲ來タスモノタリ
ボルスガ其ノ說ヲ一般財産税ニ限リテ適用シタルハ事實ナリト雖此ノ推理ハ他ノ租税ニモ一樣ニ適用セララルベキモノタリ何トナレバ租税轉嫁ノ問題ニ付テハ吾人ノ後ニ述ブル如ク財産税ト利潤税トノ間ニ毫厘ノ差異ナケレバナリ或ル意味ニ於テハ殆ンド總テノ租税ハ利潤税ト見ルコトヲ得ベク若シ均一税ノ結果ハ常ニ大不均一タルコト眞ナリトセバ公正ナル租税ヲ得ントスル注意ハ實ニ憐ムベキ結果ニ終ルベシ然レドモ一定ノ法則ハ之ヲ制定スルコト能ハズトノ主張ガ誇大ニ失スルハ後章ニ於テ之ヲ見ルヲ得ベシ悲觀說モ樂觀說モ到底其ノ可ナル

ヲ見ザルナリ

第四章 資本還元説又ハ償却説

資本還元説ハ地租ニ關スル研究ト相關聯シテ發生シタルモノニシテ地租ヲ絶對ニ土地所有者ノ負擔ニ歸スト認ムル結果トシテ土地ノ價值ハ租額ヲ資本ニ還元セル價值丈減少スルモノトス言ヲ換ヘテ云ヘバ土地ノ價值ハ其ノ純收入ニヨリテ決定セラルルガユエニ土地ノ純收入ヲ減少スル作用ヲナス租税ハ其ノ租額ヲ資本ニ還元シタル價值丈土地ノ價值ヲ減少スト云フニアリテ有租地ヲ購買スル者ハ此ノ減少シタル價值ニ對シテノミ支拂フベシ購買者ハ斯ノ如ク減少セル價格ヲ支拂フニ依リテ租税ノ割引ヲ受クルガ故ニ全ク租税ヲ負擔スルコトナシ簡單ニ云ヘバ租税ハ永久ニ亘ル地代的負擔 (rental charge) トナリ土地ノ移轉毎ニ其ノ價格ヨリ割引セラルベシ此ノ議論ヨリスレバ地租ハ一度限り支拂ハレ而モ資本還元ニ依リテ直チニ轉帳セラルルガ故ニ最初ノ課税以後ニアリテハ結局何人ノ

負擔トモ爲ルコトナシトノ結論ヲ生ズベク税率ノ高低如何ハ其ノ變更セラレザル限りハ全ク何等ノ關係ヲ有セズ斯ノ如ク吾人ハ資本價值ノ増減トシテ觀察スルガ故ニ此ノ説ヲ稱シテ資本還元説又ハ償却説トスル所以ナリ殊ニ此ノ説ヲ土地ニ適用スルトキハ地租ハ所有者ニ對スル租税ノ性質ヲ失ヒ國家ヨリ見レバ地代的負擔ノ觀ヲ呈スルヲ以テ此ノ説ヲ一名地代的負擔説ト稱ス

此ノ説ハ其ノ萌芽ヲ第十八世紀ノ英國ノ一著書ニ發シ既ニ一七三三年頃消費税ヲ論ジタル小冊子ニ此ノ點ヲ論ズルモノアリ該著者ハ地租ノ結果ニ付テ曰ハク「新購買者ハ殆ンド何等ノ苦情ヲ唱フル理由ヲ有セザルナリ彼等ハ課税後購買シタル者ニシテ購買ノ際既ニ租税ノ免除ヲ受ケタルベケレバナリ」ト然レドモ著者ハ此ノ説ヨリ何等ノ結論ヲモ爲サザリシガ其ノ後相應ノ年月ヲ經テジョン・ヤングハ租税ハ世人ノ一般ニ信ズルガ如キ負擔ヲ爲スモノニアラズトノ通則ヲ再ビ主張セント企テタル有益ノ著書ニ於テ前記ノ著書ト何等ノ關聯ナク有租地ヲ購入シタルトキハ購買者ノ眞ニ購入シタル所ハ自己ニ屬セズシテ政府ニ屬スベキ地租ノ資本還元價值ヲ其ノ土地ノ全價值ヨリ減シタルモノナルコトヲ主張セリ

重農學派ニ屬スル佛國ノ學者殊ニチユルゴ一及ボーデューハ此ノ現象ニ對スル注意ヲ喚起シタルモ而モ其ノ說ハ第十九世紀ニ至ルマデハ大ナル影響ヲ起サザリキ

此ノ問題ヲ論ジタル第十九世紀ノ最初ノ學者ニシテ其ノ所論或ル點ニ於テ最モ趣味アルモノヲジョン・クレイグトス氏ハ奇怪ニモ今日マデ世人ニ知ラレザルガ最モ近頃ニ至ルマデハ財政學上ノ問題ニ關シ獨立ノ一著ヲ成セル英國唯一ノ著者トシテ世ノ注意ヲ引クベキ價值アル一人タリ氏ハ上記ノ說ヲ適用シ地租ハ將來ノ購買者ヲシテ全ク租稅ヲ免レシムベク現在ノ所有者ニ依リテ全部支拂ハレタルコトヲ說明セリ而モ氏ハ此ノ說明ヲ爲スニ當リテ重要ナル條件ノ說明ヲ省略シ爲メニ後繼者ヲシテ稍背理ノ結果ニ至ラシムルニ心着カザリシナリ

獨乙ノ財政學者中サルトリウス・ホフマン及ムルバルドノ如キハ其ノ論歩ヲ進メテ地租ハ資本還元ノ行ハルルガ爲メニ全然租稅ニアラズトマデ極論シ地租ハ租額ノ資本還元價值ヲ減ジタル土地ノ價值ニ對シ地代的負擔タルベキコト事實ナルヲ以テ地租ハ原所有者ノ財産ノ一部分ヲ沒收スル者ニシテ將來ノ所有者ヨリ

見レバ無稅タルガ故ニ此等ノ所有者ニ對シテハ他種ノ租稅ヲ賦課スベキ必要ヲ生ズト論シタリ

佛國ニアリテハ學者ニヨリ其ノ結論ハ一致セザリシト雖此ノ說ハ一部ジエー・ビー・セイニ依リテ說明セラレデスタット・ド・トラシイノ著書ニ於テ明快ニ說明セラレタリトラシイハ租稅ガ土地ニ課セラルルヤ其ノ租額ヲ資本ニ還元シタルト同額丈其ノ當時ノ所有者ヨリ直チニ奪取セラルルヲ以テ其ノ以後ニ於テ所有者ヲ變ズルコトアルモ爲メニ何人モ之ヲ負擔スルコトナシトノ奇ニシテ而モ且ツ重要ナル觀察ヲ爲シタル人ニシテ氏ガ其ノ說ヲ家屋稅及年金稅ニモ適用シタルハ注意スベキ値アリトス其ノ後數十年ニシテバッシイ最モ巧妙ニ資本還元說ヲ辯護シ屢々此ノ說ノ眞ノ創唱者ナリト誤認セラレタリバッシイ以後ハ佛蘭西ノ一般ハ此ノ說ヲ地租不變更說トシテ認メタリバッシイハ此ノ說ニ基キ地租ノ稅率ハ決シテ變更スベキモノニアラズトノ論理的結論ヲナシ若シ之ヲ增徴センカ即チ財産ノ沒收トナルベク若シ減稅センカ現在ノ土地所有者ニ稅額ノ資本還元額ヲ無償ニテ贈與スル事トナルベシトセリ以上ノ外數多ノ學者ハ此ノ說ヲ贊成シガ一ニール

ハ地租ハ原所有者ヨリ云ヘバ奪取ニシテ將來ノ所有者ニハ明カニ利益トナルノ實アルコトヲ主張シヴロヴスキ・ドゥ・ボイノ・レ・エルブリツツ及ワルラス亦同一ノ思想ヲ有シタルノミナラズ此等議論ノ弱點ハ佛國其ノ後ノ學者ノ洞見スル所トナラズバリューハ一般の問題ヲ甚ダ明快ニハ理解セズ只ダ地租不變更説ハ當然英國流ノ地代的負擔ノ思想ニ導クコト必セリト指示セルニ過ギズルロア・ヴオリユーノ如キハ此ノ説ヲ呼ンデ科學的精緻ノ點ニ於テ總テノ外觀ヲ具有スル非常ニ高尚ナル説トナスト共ニ之ノ説ニ反對スルニ拘ハラズ「絶對的斷定ニ過ク」ト云ヘルノミニシテ反對論ノ中心ニ入ラザリシナリ而シテ又此ノ説自身モ恐ラクハ澳國ノ經濟學者スタインニ至リテ最終極端ノ形態ヲ有スルニ至リシモノナルベク氏ハ此ノ問題ヲ以テ租稅論中最モ重要ナルモノトナシ地租ハ決シテ増稅セラルベキモノニアラズト論ジタリ

英國ニ於テハ事實上地租ガ年々償却セラルル地代的負擔タルニヨリ此ノ説モ二三ノ贊成者ヲ得タルモノノ如シト雖之レ其ノ特殊ノ場合ノ特殊ノ事情ニ歸スルモノタリ英國ノ地租ハ本來一般財產稅タリシガ後チ一磅ニ付四志ノ確定不變ノ

租稅ト思ハルルニ至レリ一七九八年此ノ稅率ハ永久ノ稅率トナリ之ヲ償却シ得ル特權ヲ土地所有者ニ附與セリ即チ一定額ヲ總額トシテ納付シ土地所有者ハ將來ノ租稅ヲ免除セラレタリ故ニ英國ニ於テ地租ガ年々償却セラルル地代的負擔トナリタルハ條例ヲ以テ明カニ制定セラレタルガ爲メニシテグレッグハ之ヲ理由トシテ國家ハ爲メニ土地所有者ト共ニ永久の財產權者トナリ從テ地租ハ土地ニ對スル負擔ニアラズト主張シタリ又セニオルガ新ニ課セラルル地租ノ轉嫁ト確定不變ノ永久的地租ノ轉嫁トヲ區別シグレッグト同一見解ヲ取ルニ至レルモ畢竟之ガ爲メニ過ギズ然レドモ斯ノ如キ特殊ノ事情ニ依リテ租稅轉嫁ノ一般的法則ニ關スル結論ヲ爲スヲ許容スベカラザルコト勿論ナリ新ニ地租ヲ賦課シ又ハ既ニ存スル地租ヲ増徴スルハ常ニ惡シト云フハ特ニ正鵠ヲ失セル説ニシテ租稅ハ只ダ土地ニ課セラルルモノノミニシテ地租以外何等ノ租稅存在セザル場合ニ限リテ此ノ説全部ガ地租ニ適用セラルルニ過ギズ夫以上ニ全ク地租ニ限ル特種ノモノナリト云フハ正當ニアラザルナリ

然レドモ此ノ説ノ後半部ノ眞理ナルハ既ニ第十八世紀ニ於テヤングノ認メタル

所ニシテ氏ハ地租ニ對シテ正當ナル議論ハ「家屋税窓戶税其ノ他相續セラルベキ財産ニ課スル他ノ總テノ租税」ニモ等シク適用セラルベキヲ論ジタルモ「グレッグ」ハ其ノ說ハ「土地以外ノ他ノ財産ニハ租税課セラレズ單ニ地租ノミ課セラルル」場合ニ限リテ正當ナリト明言セリ而モ後ノ經濟學者ハ此ノ點ニ全ク注意セザルガ如シ氏ハ尙進ンデ租税ヲ土地以外ノ財産ニ課スルコトナク單ニ土地ニノミ課スル場合ノ地租ノ如キ租税ハ遂ニ其ノ課セラルル其ノ種類ノ財産ノ現在ノ所有者ノ負擔ニ歸スルコト普通ナリト説明セリ「ジョン・スチュワルト・ミル」ハ自說ヲ述ベザリシガ實際ニ於テハ上記ノ說ト同一ノ意見ヲ有シ自ラ「或ル階級ノ所得ニノミ特ニ課税シ他ノ階級ニ屬スル所得ニ課税セズ從テ彼此ノ間ニ負擔ノ均衡ヲ取ラルルコトナキトキハ之レ公正ヲ破壞スルモノニシテ部分的沒收タリ」ト斷言セリ其ノ他ノ英國ノ學者ハ此ノ說ニ關シ殆ンド何等云フ所ナク只「ダッドレー・バックスター」ハ地代的負擔ニシテ地租救貧税、相續税ニ適用セラルルモノタランカ是實ニ「奇妙ナル說」ナリト云フベク此ノ說ガ三箇ノ錯誤ヲ有スルヲ發見シタリト攻撃セルモ其ノ攻撃ハ一モ眞ニ事ノ根底ニ達シタルモノアルナシ「ノール」ハ租税轉嫁

ノ廣汎ナル事實ノミヲ論ジタル章ニ於テ地代的負擔說ハ地租ニノミ關スルモノナリトシシ「ジウイク」教授ハ地代的負擔說ヲ以テ土地ニ課スル特別税ニノミ適用ヲ見ル所ニシテ「供給ノ絶對ニ制限セラレタル永續的性質ヲ有スル富ノ或ル特種ノモノニ」ニ關スルモノナリト限定セリ而モ尙氏スラモ此ノ說ノ眞ノ範圍ヲ正當ニ認識セザリシナリ

「デスタット・ド・トラシ」以外ニ佛國ニ於テ資本還元說ノ觀念ヲ租税轉嫁ノ一般通則タラシメント試ミタル者ハクルノ「唯一人トスクルノ」ハ其ノ用語同ジカラザルモ既ニ早ク此ノ說ヲ主張シタルガ主トシテ之ヲ獨占ノ法則ニ從フ貨物ニノミ適用シ且ツ此ノ說ヨリシテ通則的結論ヲ成サザリシ

然ルニ獨乙ノ經濟學者ニハ資本還元說ニ一層適切ナル解説ヲ與フル者アルガ如シ獨乙ニ於テ「ハラウ」最初ニ此ノ說ヲ充分研究シ此ノ說ガ地租ニ付テモ全然眞ナリトナスコト能ハザルヲ示シタリ氏ハ曰ハク第一在來ノ所有者又ハ其ノ相續者ハ往々繼續シテ土地ヲ所有スルコトアリ斯ノ如キ場合ニハ賣買ニ由リテ土地ノ資本價值ヲ減少スルガ如キ機會存セズ第二土地ノ價值ハ純生産ニ依リテノミ決

定セラレズシテ時々需要又ハ利率ノ變動ノ如キ他ノ原因ニ依リテ決セラルルコトアリ此ノ第二ノ場合ノ如キニ於テハ新買得者ハ租税關係ヲ原因トシテ實際上ノ支拂額ヲ減ジ得ルコト困難ナルガ故ニ租税ヲ感ズルコトナシト云フコト能ハズ假リニ此ノ説ヲ眞理ナリトスルモ是只ダ地租ノ税率ガ他ノ貨物ニ課スル租税ノ税率ニ超過スル範圍ニノミ適用ヲ見ルニ過ギズト而シテ其ノ結論ニ於テ此ノ説ハ家屋株券債券又ハ他ノ資本ノ如キ賣買セラルベクシテ其ノ價值ノ變動スルモノニ課セラレタル他ノ租税ニ總テ適用セラレザルベカラズトセリ

又此ノ説ハヘルフリヒ及ホックノ如キ學者ニ依リテ發達シ近來ハシエフレイニヨリテ明快ニ説明セラレタリシエフレイガ地代的負擔説ヲ資本還元ノ通説トシテ擴張スベシトハ氏ガ一般的地代説ヲ執ルニヨリテ世人ノ期待シタル自然ノ徑路ニシテ此ノ説ハ英國ノ讀者モ亦知ル所タリ即チ一般的地代説ハ地代ヲ土地ニ對スルモノノミニ限定セズ土地以外ノ他ノ利潤ニモ適用セララルベキモノナリトナスモノナリ氏ガ極力此ノ説ヲ主張シテ以來資本還元説ハ以太利ノバンタレオニト和蘭ノピアーンノ賛成スル所トナレリ而モ此等ノ學者ハ皆本書後篇ニ於テ説明

セラルベキ斟酌ニ注意スルヲ怠レリ吾人ハ今茲ニハ只ダ此ノ思想ノ沿革ニ就テ記スニ止メ其ノ説自身ハ近世的形式ヲ採リテ後ニ論ズル租税轉嫁ノ一般法則ノ一部分ヲ構成スト云ハンノミ

第五章 折衷説

絶對説並均一分布説ノ唱道セラル、ハ忽チニシテ非常ノ反對ニ遭遇シタリ然レドモ反對論者ノ大部分ハ單ニ之ヲ論難批評スルカ又ハ二三ノ特點ヲ考究シタルニ過ギザルヲ以テ此等ノ諸説ハ折衷説ノ各目ノ下ニ一括スルヲ相當トス

カナール及リカイド兩氏ノ説ノ弱點ヲ初メテ指摘セントシタル者ヲジュー・ビー・セイトス氏ノ説ニ從ヘバ如何ナル貨物ニ對スル租税モ其ノ價格ヲ騰貴セシムルトキハ租税ノ一部分ハ消費者ノ負擔ニ歸スベク而シテ價格ノ騰貴ハ消費ノ減少ヲ意味シ消費ノ減少ハ利益ノ減少ヲ意味スルガ故ニ斯ノ如ク消費者ガ租税ノ一部分ヲ負擔スル場合ニアリテモ生産者モ亦租税ノ一部分ヲ負擔スルモノタリ租税

ハ恰モ前方ニ發射セララル彈丸ト後方ニ反衝セララル大砲トノ兩者ニ影響スル
火藥ノ如シ消費者ハ其ノ影響ノ全部ヲ負擔スルモノニアラズ價格ハ租稅ノ全額
丈決シテ騰貴スルコトナシ

氏ハ尙繼テ價格若シ騰貴セザランカ生産者ハ租稅全額ヲ負擔セザルヲ得ズ而シ
テ課稅ノ爲メニ其ノ貨物ノ價格ノ騰貴スルヤ否ヤハ其ノ貨物が必要品ナルカ奢
侈品ナルカニ屬ス例ヘバ若シ原料ニ課稅スルトキハ其ノ原料ヨリ成ル製品ノ價
格ハ盡ク影響ヲ蒙ルト雖而モ貨物ニ依リテ其ノ程度ヲ異ニスルト同ジク生産者
ニ直接ニ課稅スルトキハ其ノ消費者ニ及ボス影響ハ甚ダ不均一タルベシ彼ノ資
本移動ノ法則ハ固定資本又ハ土地ニ對シテヨリハ流動資本ニ對シテ實際行ハル
ルコト非常ニ大ナルヲ以テ利潤ノ均一ノ如キハ到底實現スルモノニアラズ從テ
或ル貨物ノ生産者ハ他ノ貨物ノ生産者ヨリモ多額ノ租稅ヲ容易ニ他人ノ負擔ニ
移スコトヲ得加之カナールガ租稅ノ賦課ト吸角ノ作用トノ間ニ存ストセル類似
ハ非常ノ誤解タリ社會ノ富ハ自ラ水平ヲ保タント欲スル流動躰ニアラズシテ却
テ其ノ枝益々盛ンニ繁茂スルトキハ全躰ノ生長ニ對スル危險多クシテ其ノ枝ヲ

伐裁スルモ其ノ生長ヲ害セラレザル樹木ニ類似スト云フヲ適當トス又假リニカ
氏ノ示セル類似ハ適切ナリトスルモ類似ハ證據トナスニ足ラズ故ニ或種ノ租稅
ガ一階級ノ負擔ニ必ズ歸スト論定スルハ急噪ニ失シ租稅ハ或ハ其ノ性質ニヨリ
或ハ市場ノ狀況ニ依リテ其ノ歸着スル所ヲ異ニシ結局租稅ヲ免ル、コト能ハザ
ル者ノ負擔ニ歸ス而モ之ヲ免ル、方法ハ無數タリ而シテ其ノ不確實ナルコト租
稅ノ轉嫁ヨリ甚シキモノナク又變動ノ盛ナルコト之ニ過グルモノナク彼ノ絶對
說ノ論者ハ日常ノ事實ヲ無視シタル假定ニ基キテ推理スルニ過ギズト論結セリ
氏ハ尙此ノ説明ニ引續キ土地所有者ハ決シテ其ノ租稅ヲ消費者ニ轉セシムルコ
ト能ハズト確實ニ説明シ此ノ説明ハ氏ガ反對スル說ノ絶對ナルガ如ク全く絶對
ナリト信ズルモノ、如シ氏ハ地租ハ常則トシテ農産物ニ影響スルコト能ハズ而
シテ供給増減セザルガ故ニ其ノ價格變動シ能ハザレバ地租ハ土地所有者ノ負擔
タルベシト論ジ而モ尙一步ヲ進メテ租稅轉嫁ノ詳細ナル原則ヲ決定スルハ不能
ナリ社會ノ如キ複雑ナル機械ニ於テハ租稅ハ種々ナル欺騙的形式ニ於テ支拂ハ
ル、ナリト論結セリ

リカードニ對スル他ノ熱心ナル反對者ヲシスモンデイトス氏ハ消費物ニ課スル租稅ガ何人ノ負擔ニ歸スルヤハ市場ノ狀況複雑ナルガ爲メニ何人ト雖之ヲ豫言スルハ到底不可能ニ屬ストノ斷定ヲ根據トシテ立論シリカードノ「抽象」及特ニ其ノ未製品並勞働ニ課スル租稅ニ對スル說ヲ論ジリカードノ學說ノ基礎タル勞銀及利潤ノ均一、勞働並資本ノ安全ナル移動ニ反對シ巧妙ニ之ヲ駁撃シ問フテ曰ハク「農夫ハ其ノ勞銀減少シタルガ爲メニ辯護士トナリ醫師トナリ若シクバ時計製造者トナルベキカ硬キ手ヲ有シ屈強ノ身軀ヲ有スル農業勞働者ハ農業勞銀ノ再ビ騰貴スルマデ全然農圃ヲ去リテ製造場ニ籠城スベキカ此ノ危險ナル均衡說ニ要心セヨ何處ニ負擔ヲ荷ハスモ何ノ異ナル事ナシト思考スルニ當リテハ要心セヨ若シ吾人ガ生活必需品ニ課稅スルトキハ貧者ハ富者ニ其ノ負擔ヲ轉嫁スベシト信ズルニ付テハ要心セヨ若シ長年月ヲ經過セバ均衡ハ確カニ獲得スルヲ得ベシ而モ是最モ恐怖スベキ困難ノ後タルヲ覺悟セザルベカラズ此ノ均衡ノ確定セザルニ先チ商人ハ失敗シ其ノ事業ヲ放棄セザルヲ得ザルニ至ルベク之ガ爲ニ國家ノ蒙ル損害ハ租稅ニ依リテ得ル收入總額ニ超過スベシ勞働者ノ慘狀困難ハ最

大ノ敗戰ニ於ケルヨリモ一層多數ノ國民ノ生命ヲ奪フベシ而モ之等ハ皆經濟社會ノ均衡ヲ恢復シ再ビ之ヲ確定スルニ必要ナル恐ルベキ方法ニシテ人類ノ安寧幸福ヲ研究スル科學ヲ混雜セシメザル彼ノ抽象ヲ恣ニスルトキ起ル所ノモノタリト氏ハ斯ノ如キ劇烈ナル言葉ヲ以テ絶對說ノ攻撃ニ力ヲ盡シタルニ拘ハラズ建設的方面ニハ何事ヲモ試ミズ遂ニ一般的法則ヲ發見スルハ其ノ適スル所ニアラズト明言スルヲ憚ラザリキ

佛國ニアリテハガルニ一亦此ノ問題ヲ研究シ其ノ態度ハ後繼者ニ比シ稍深遠ナラズ租稅ハ長年月ノ間ニハ遂ニ消費者ノ負擔ニ歸スト論ジタルモ而モ又生産者ガ常ニ消費者ニ其ノ負擔ヲ移轉スルヲ妨害スル數多ノ事由存在スルヲ主張シ特ニ租稅ノ分布ニ因リ租稅免除者ヲ生ズトノ說ヲ否定シテ曰ハク「分割、分布及轉帳 (repartition) ハ不幸ニシテ蒸氣ト同義語ニアラズ」ト

上記ノ諸學者ヨリ一層重要ナル學者ヲバリコトス氏ハ術語ヲ混亂シ絶ヘズ「轉帳」ト「轉帳」ヲ混用シ直接轉帳間接轉帳ナル詞ヲ用ヒタリト雖其ノ說ノ實質ハ説明ノ形式ヨリモ非常ニ可ナリ氏ハ租稅ガ生産費ニ加ヘラレ消費者間ニ分布セララル

ト主張スル學者ヲ批評シ此ノ説ハ虚偽ニシテ且ツ非常ニ誇張セラレタルモノナリ若シ此ノ議論ニシテ確實ナランカ總テノ租税ハ其ノ結果同様ニシテ彼此ノ間ニ撰擇ヲナスヲ要セズ從テ租税ニ關シ或ハ書ヲ著ハシ或ハ考慮ヲ費スガ如キハ實ニ無用ノ業タリトセリ氏ハ一ニ一般的法則ノ可能ナルヲ主張シ課税貨物ニシテ其ノ供給制限セララルコトナキモノナルトキハ租税ハ先ヅ納税者ノ負擔ニ留リ貨物ノ供給減少セラルルニ比例シテ他ノ階級ノ負擔ニ移ルベシ若シ租税ノ移轉シ行クベキ人ガ其ノ使用ヲ制限シ得ルトキハ轉帳ノ結果ヲ一部分中和シ租税ヲ本來ノ納税者ニ再ビ轉帳スルカ或ハ他ノ階級ニ轉帳スベシト云ヘリ

氏ハ此ノ原則ヲ各種ノ租税ニ適用シ又其ノ思想ガ吾人ノ後ニ論ズル數量説又ハ算數説ニ接觸シタルコト疑ヲ容レザル所ナリ氏ノ説ノ正實ニシテ正當ニ解釋セラルル所ハ本問題ニ關スル多數ノ困難ナル事項ニ對シ解決ノ端緒ヲ與フト雖モ氏ハ僅カニ數頁ヲ本問題ニ費シタルニ止メ漠然タル概括ヨリ一步ヲ進メテ研究スルヲ敢テセズ通則トシテ貨物生産者ニ對シ總體ニ課セラレタル貨物税以外ノ租税ハ課税ノ最初ノ自然的結果ヲ全然變更スルガ如キ轉帳ヲ爲スモノト見ルコ

ト能ハズ最モ多數ノ場合ハ租税ノ全部又ハ大部分ハ第一次又ハ第二次ノ轉嫁ニヨリテ現實明白ニ支拂フ人ノ負擔ニ歸スト氏ハ問題ノ全部ヲ捕捉セズ其ノ説モ亦一般ニ知ラレザリシト雖氏ヲ以テ只ダ本問題解決ニ要スル最モ重要ナル一要素ヲ指摘シタル者タルニ過キズトスルハ當ヲ得タルモノニアラズ

以上ノ外佛國學者ニシテ本問題ノ解決ニ實質上ノ寄與ヲ爲シタルモノナシデユボイノ一ノ著ハ大部ナルモ眞ニ批評スルノ價值ヲ有セズ氏ハ問題全部ヲ非常ニ簡單ナルモノトシ地租家屋税ハ共ニ所有者ノ負擔ニ歸スルヲ普通トシ「スミス及リカード」ノ想像的區別ハ全ク何等ノ基礎アルニアラズ「人的財産又ハ利潤」ニ課スル租税ハ常ニ消費者ニ轉帳シ勞銀ニ課スル租税ハ賦課ニ依リテ之ヲ納メタル勞働者ノ負擔ニ歸スルヲ常トストセリ若シ斯ノ如キ方法ニヨリテ本問題ヲ解決セントセバ其ノ易々タルコト勿論ナリトス

ヴイニエーノ著ハ租税ノ他ノ方面ノ研究ニハ重要ナリト雖轉嫁ニ關スル所論ハ特別ノ價值アルモノニアラズ只ダ「懷疑説」ニモ均一分布説ニモ反對ナルコトヲ證スルノミ氏ハ主トシテ箇々ノ租税ヲ研究シタルモ未ダ能ク資料ニ精通セサルモノ

ノ如シ氏ノ意見中有益ナル二三ノ點ハ後ニ述フルコトアルベシ
 最後ニルロア、ポリユーニ就キテ一言スベシ氏ハ其ノ大著財政學ニ於テ一般ノ問題
 ヲ論究シ全卷ヲ通シテ有力ナル數多ノ議論存スルモコレ只ダ特殊ノ點ニ關スル
 モノノミニ過キズ氏ハ「一般轉帳論 (general repercussion doctrine) ガ眞理ヲ包含スル
 コトヲ許容スルト同時ニ此ノ說ニ多ク信賴スベカラザルコトヲ警告ス而シテ吾
 人ハ氏ノ著書ヲ通讀シ何物カ建設的ノ意見ヲ求メント欲スルモ何等ノ得ル所ナ
 シ
 獨乙ノ學者ノ本問題ニ寄與スル所ハ其ノ價值ノ大ナルモノアリ早キ時代ノ財政
 學者——ソイデン、ヤコブ、フールダ、マルフス、ビエルザック、ムルハルドノ如キ學者——ハ學說
 ノ進歩ニ確實ナル印象ヲ與ヘザリシヲ以テ比較的不充分ナルモノトシテ看過ス
 ルモ或ハ可ナリト雖フォン・チユー・チンハ充分注意スル價值アルモノトス是氏ガ經
 濟學ノ他ノ部分ニ於テ卓越セルニ依ル
 フォン・チユー・チンハ其ノ有名ノ著書ノ僅少部分ヲ租稅問題ニ費シ主トシテ地租
 ノ轉嫁ヲ論シ均一分布說ノ論理的推理ノ結果其ノ不合理トナルコトヲ示スヲ以

テ注意スルノ價アリ氏曰ハク「活動的の市民カ租稅ノ最終負擔者ニアラズシテ單ニ
 租稅ヲ前拂スルニ過ギザルトキハ租稅負擔ハ有名無實ナルガ故ニ社會ヲ害スル
 コトナクシテ國家ハ相當ノ程度マデ増稅ヲ爲シ得ルヲ知ル」ト又曰ハク「此ノ注意
 スベキ結論ハ課稅以後ニアリテモ貨物ノ消費高ハ課稅前ト異ナルコトナキヲ前
 提トスルモノニシテ是勿論此ノ說ノ弱點ナリ」ト
 ラウハ吾人ニ消極的結果ヲ與ヘタリ氏ハ其ノ結論トシテ七ヶノ原則ヲ定ム 第
 一租稅ガ納稅者ノ多數ヲシテ均シク其ノ貨物ノ需要並供給ニ變動ヲ及ボス行動
 ニ出デシムルトキノミ租稅ハ轉帳ス 第二一階級全躰ニ對シ所得ニ課スル租稅
 ハ或ル種ノ貨物販賣者ニ轉帳スルコト容易ナラズ是課稅ニ因ル納稅者ノ出費制
 限ハ種々ノ貨物ニ不均一ニ影響スルヲ以テナリ從テ需要ノ輕微ナル減少ハ供給
 ノ減少ニ依リテ差引セラルルコト數々ナリ 第三販賣者ガ一齊ニ供給減少ニ依
 ルノ外税金補償ノ途ナシト信ズル關稅ノ如キハ其ノ租稅ヲ消費者ニ轉帳スルコ
 ト易々タリ 第四官公吏ノ如キ確定セル所得ヲ得ル階級ニ課スル租稅ハ轉帳ス
 ルコト能ハズ 第五販賣貨物ノ性質ニ從ヒテ賦課セラレザル租稅ハ他ノ租稅ニ

比シテ轉帳容易ナラズ 第六地代ニ對スル租稅利潤ノ源泉又ハ勞働及利潤ノ源泉ニ對スル租稅ニアリテハ納稅者ガ投資ヲ變更スルニ依リテ租稅ヲ免レ得ルヤ否ヤヲ考慮スルコト實ニ重要ナリトス 第七租稅ノ轉移ハ賦課制度ノ不正ヲ宥恕スル理由トナラズ 即チ(イ)轉帳ハ實際ニ行ハル、ヨリモ寧ロ外觀ニ過ギザルコト多ク(ロ)若シ僅少ノ納稅者ノミガ或ハ高ニ失シ或ハ低ニ失シテ賦課セラルルモ物價ニ影響スル所ナク(ハ)施行ノ間ニ數多ノ難關ノ發生スルハ勿論ニシテ(ニ)高キ稅ハ假ヒ全ク轉帳スルトスルモ生産及消費共ニ減少スルコト數々ナルガ故ニ惡結果ナシト云フコト能ハズト是ナリ是等ノ原則ガ特種問題ノ研究ニ有力ナル援助ヲ與フルハ吾人之ヲ後章ニ見ン

以上ノ諸書ニ比シ一層重要ニシテ且ツ殊ニ或ル點ニ於テハ最モ内容豐富ナルモノヲフオン・ホックノ著トス氏ハ初メテ轉帳ヲ分拆シ種々ノ分類ヲ成シ前轉後轉消轉ト區分セルハ既ニ緒論ニ述べタルガ如シ氏ハ納稅者ノ立場ヨリ觀察シ租稅(1)課稅物ノ生産費ノ一部分タルカ(2)一般營業費ノ一部分タルカ(3)生活費ノ一部分タルカ又ハ(4)純收入即チ所得ニ對スル負擔タルベシトシ順次ニ酒精製造稅免許

稅又ハ營業稅、人頭稅又ハ家屋稅及所得稅ヲ例示シ一般ニハ前記分類ノ第一類ノ租稅及第二、三類ノ租稅ハ——是等ハ生活必需品ニ關スル限リニ於テ——實質上生産費ノ増加ニシテ消費者ニ轉帳スルノ傾ヲ有スト雖此ノ通則ハ多數ノ除外例ヲ有ス即チ(1)租稅高ク爲メニ或ハ其ノ貨物ノ需要ヲ減少シ或ハ消費者ガ劣等貨物ヲ代用トスルニ至ルトキハ一般ニ且ツ長期間ニ亘リテハ轉帳行ハレズ(2)市場ノ狀況變動シ貨物ノ價格租稅賦課以前ヨリモ低落スルトキハ一時ハ轉帳行ハレズ(3)生活必需品ニ課スル租稅ノ轉帳ノ例外ハ生産者ニ對スル上記ノ例外ヨリモ勞働者ニ對シテハ一層頻繁ニ發生シ且ツ一層危險ナリ之レ勞銀ノ頻繁ナル變更及勞銀ハ低廉ニシテ生活必需品ノ價格騰貴スルハ最モ悲惨ナル結果ヲ生スベケレバナリトセリ

故ニホックハ通則トシテハ租稅生産費說ヲ執ルト雖決シテカナール又ハチエールニ追従スルモノニアラズ氏ハ時ヲ經ル久シキニ亘レバ或ル種ノ租稅ノ轉帳ハ結果トシテ均衡ヲ來タスコトヲ明言シ只ダ其ノ均衡タルヤ確定不動ノモノニアラズ市場ノ狀況ニ依リテ斷ヘズ紛亂セラレ重要ナル經濟上ノ改革アル毎ニ全然轉覆

セラルルモノタルノミナラズ之ヲ經濟上ヨリ見ルモ公正タルコト必スベキニアラズ又便益ナリトサヘモ認ムルコト能ハズ是或ル事情ノ下ニアリテハ租税ノ轉帳ハ其ノ租税本來ノ不正ヲ減セズシテ却ツテ増大スルコトアレバナリ然レバ租税分布ノ樂觀說ハ到底不當タルヲ免レザルモノトセリ

プリンス・スミスモ亦殆ンド之ト同一ノ方法ニ依リテ本問題ヲ解決セントシ彼ノ追羽根ノ羽子ガ絶ヘズ轉々シ嘗テ何人ノ手ニモ留マルコトナク常ニ空中ニアルガ如ク租税負擔モ事實上亦然リトスル均一分布說ヲ嘲弄シ租税ノ轉帳ハ或ル條件ニ屬シ價格ノ騰貴ニ依リテ起ルモノニシテ價格ノ騰貴ハ需要ノ増加又ハ供給ノ減少ニノミ依ル而シテ生産者ハ需要ヲ増加シ能ハザルガ故ニ其ノ供給ヲ減少スベク此ノ供給ノ減少ハ國際貿易ニヨル外國輸出ナキトキハ生産ノ制限ニヨリテ爲スコトヲ得ルノミ即チ資本及勞力ヲ他ノ事業ニ移シテ始メテ爲シ得ベキ所ナリ然レバ租税轉帳ノ問題ハ生産者ガ租税ヲ他人ニ轉スル事ナクシテ負擔スルト其ノ生産ヲ制限スルトニヨリ蒙ル損害何レカ大ナルヤノ問題ニ歸着スベシト説明シ生産者ガ租税ヲ他人ニ移スニヨリテ得ル所自ラ之ヲ負擔スルトキヨ

リモ大ナルトキニ限リテ租税轉帳ハ起ルモノナリト一般的ニ論結セリ即チ氏ノ說ニヨレバ租税轉帳ノ問題ハ單純ノ計算問題タルニ過ギズ氏ハ其ノ理論ヲ實地ニ適用シ地租家屋税ハ其ニ轉帳スルコト能ハズ又間接税及勞銀税ハ最モ弱キ者ノ破滅ニヨリテノミ轉帳シ勞働者ノ破滅ハ其ノ餓死ヲ意味スルモノナリト思考セリ而シテ氏ハ其ノ所說中二三點ハ常ニ維持シ能ハザルニ拘ハラズ尙絕對說及分布說ニ對シ強ク抗辯セリ

獨乙最近ノ財政學者ニハ此等ノ方針ニ從ヒテ研究ノ步ヲ進メタル者殆ンドナシ例ヘバロシエルハ主ニ早キ時代ノ英國學者ノ說ヲ奉ジシエフレイハ主ニ資本還元說ヲ論シワグネルハ其ノ大著ノ最新版ニ於テサヘラウ及ホックノ書ヲ基トシ其ノ以外ニ出デスコインハ殆ンド用ヲ爲サザル二三ノ廣汎ナル概論ニ満足シフオツケハ租税ノ一般轉帳ニ信賴スルノ危險ナルヲ説明スルニ止マリ租税ニ關スル最近ノ著者フォン・シャールハ此ノ問題ニ只ダ僅カニ四頁半ヲ費シタルノミニシテ何等寄與スル所ナシ實ニ近來ノ獨乙ニ於ケル資料ハ時ニ甚ダ成功セルモノアルモ主ニ問題ノ困難ニ接觸セサラントセル事實ヲ充分表明スルモノナリ

吾人ハ未ダ英國ノ學者ニ付テ述ベザリシガ二三言ヲ以テ充分ナリト信ズ始メテ
 リカードノ分配論ヲ論難セルリチャード・ジョンズハ又リカードノ轉嫁論ヲ最初ニ否
 定セル人ニシテ自ラハ其ノ所說ノ範圍ヲ勞銀稅及消費稅ニ限リ勞銀稅結局ノ轉
 嫁ヲ豫メ斷言スルハ到底不可能ナリト主張シ勞銀稅結局ノ轉嫁ハ此ノ稅ガ人口
 ノ移動ニ及ボス結果如何ニ因ルモノニシテ假令勞銀ニ課稅スルモ之ガ爲メニ人
 口ノ移動ニ何等ノ影響ヲ及ボスコトナク只ダ第二次ノ快樂ヲ犧牲ニ供スルニ過
 キザル狀況ナルトキハ此ノ租稅ハ他ニ轉スルコトナク事情之ニ反スル時ニ於テ
 ノミ勞銀ノ負擔ヨリ利潤ノ負擔ニ轉スルモノタリトセリ

グヴァイド・ブチャナンハアダム・スミスノ租稅轉嫁論ニ對シジョンズニ先チテ聊カ論難ヲ
 加ヘ家屋稅ヲ地代ニ對スルモノト家賃ニ對スルモノトニ區別スルニ對シ例外ヲ
 設ケ勞働ニ付スル租稅ハ是ニ應シテ勞銀ヲ騰貴セシムベシトノ觀察ニ反對シ勞
 銀ガ眞ニ最少額ナルトキハ此ノ說或ハ可ナルベシト雖勞銀ガ勞働者ニ娛樂ヲ與
 ヘ奢侈サヘモ爲サシムル間ハ勞働者ハ常ニ租稅納付ノ資金ヲ有ス………
 勞働者ニ對スル總テノ租稅又ハ勞働者ノ消費スル貨物ニ對スル總テノ租稅ハ勞

働者ノ娛樂ヲ節畧スルノ結果ヲ來タスベク此等ノ租稅ハ勞働者ノ生活難ヲ増大
 ニシ一般ニ勞働者ノ階級ノ狀態ヲ低下セシムル傾向ヲ有ストセリ而シテリカー
 ド・ブチャナンノ議論ニ因リテ其ノ嚴格ナル說ヲ緩和シタルハ吾人ノ既ニ説明シ
 タル所ナリトス

ジェームス・ミルハ或ル點ニ於テハリカードト其ノ說ヲ異ニセント力メタリト雖全
 躰ニ於テハリカードノ後繼者ニシテ生産物又ハ農夫ノ利潤ニ課スル租稅ハ消費
 者ニ轉帳スベキコトヲ主張シ株券ノ利潤ニ對スル租稅ハ利潤ノ負擔タリトセリ
 而モ又一方ニハ勞銀稅ニ關シリカードノ說ハ勞銀ガ其ノ低減セラレ得ル最低點
 ニアル場合ニノミ可ナルモノナリトシ然ラザル場合ニハ勞銀稅ハ利潤ニ轉帳セ
 ラルルモノニアラズトセリ

セニヨルハ其ノ論究ヲ二三ノ點ニ限定シ製品ニ對スル課稅ハ一般ニ納稅額以上
 ニ其ノ價格ヲ騰貴スルモノナリトセルモ農産物ニ對スル租稅ニ關シテハリカー
 ドト其ノ說一致セズ地租ハ其ノ直接ノ結果トシテハ農産物ノ價格ヲ騰貴セシム
 ト雖其ノ終局ノ結果トシテハ原料品ノ生産及消費ヲ共ニ減少シ從テ其ノ價格ニ

何等ノ影響ヲ及ボスモノニアラザルコトヲ主張シ十分一税ハ消費者ニ轉帳スルコトナシトセリ

ジョン・スチュアルト・ミルハ大躰ニ於テハ重ニ先輩ノ意見ヲ遵奉シ先ヅ完全ナル自由競争ト資本ノ完全ナル移動トヲ斷定シ此ノ斷定ヲ基礎トシテ其ノ説ヲ成シ左ノ三點ヲ除クノ外ハリカードノ説ニ從ヘリ即チ第一ニハ十分一税ハ長年月間ニハ土地所有者ノ負擔ニ歸シ消費者ノ負擔ニ歸スルモノニアラズトノセニヨルノ脩正説ヲ賛成シ第二ニハ勞銀税ガ何人ノ負擔ニ歸スルヤニ付テハ父ノ見解ニ賛成シ第三ニハ輸入税輸出税ノ轉嫁ヲ一層適切ニ解説セリ

マッカロックノ思想中其ノ獨創ニ係ルモノハ只ダ一點ニシテ氏ハ特別利潤税ハリカードノ考フル如ク必ズシモ價格ヲ騰貴スルモノニアラズ消費者ノ負擔ニ轉移セラレズシテ却リテ生産費ヲ減少セシムルコトアリト主張シ生産者ハ熱心ニ租税ノ壓迫ニ堪ユルノ方法ヲ講ジ技術ノ熟練事業ノ擴張生産力ノ増加ニ依リ又ハ出費ヲ節約シテ租税ヲ補フベキガ故ニ租税ハ繼續シテ生産者ノ負擔ニ歸スルコトナク又消費者ノ負擔ニモ歸スルコトナシトセリ然レドモ此ノ説ハ實際ニ於テハ

租税轉帳ノ順序ニ何等ノ説明ヲ加フルモノニアラズ寧ろ緒論ニ述ベタル租税連脱ノ説明ニシテ彼此全ク異ナレルモノナリトス故ニ租税連脱ノ科學的研究ハ氏ニヨリテ創始セラレタリト云フヲ得ベシ

フォーセットノ租税轉嫁研究ハ第一舊派經濟學ノ極端ナル説明ノ二三ヲ誇張シタルニ依リ——例ヘバ貨物ニ對スル租税ハ租税額以上ニ價格ヲ騰貴スト云フガ如キ——第二其ノ思想稍不確定ナルモ地方税ノ轉嫁ニ付テ研究シタルニ依リ注目ニ價スト雖吾人ハ此ノ二點ニ對シ後段ニ充分ノ説明ヲ爲スベキヲ以テ今ハ只ダ是ヲ指摘スルニ止ム

舊派學說ニ對スル有益ナル批評ハクリップレスリーノ著書中ニ見ルヲ得氏ハ舊派ノ結論ガ嚴正ニ失スルヲ指摘シテ曰ク「租税轉嫁ヲ決定スル爲メニ普通適用セララル理論上ノ大法ハ數々誤謬ニ陥ラシムルモノナリ是等ノ大法ハ長期間ニ於ケル租税ノ傾向ヲ示スモノニシテ他ニ之ヲ紛亂スル原因ナキ状態ニ於ケル勞銀又ハ利潤ノ理想的平均率又ハ自然率ヨリノ推論ヲ供スルニ過ギズ而モ租税ハ生活ノ實際状態ノ下ニ現實各個人ノ享受スル勞銀利潤又ハ他ノ資金ヨリ直接ニ納付

セラルルモノニシテ經濟學者ノ心裡ニ於ケル假想又ハ抽象ヨリ支拂ハルルモノニアラズト而シテ氏ハ經濟上ノ摩擦ガ舊派學者ノ想定シタル不變ノ法則ノ作用ヲ中和スルコト及時ニ是等不變ノ法則ト正反對ノ結果ヲ實現スルコトニ注意スベキヲ唱道シタリト雖其ノ範圍ヲ數種ノ租稅ニ限定シ自身ノ建設的方面ハ甚ダ精巧ナリト云フヲ得ズ吾人ハ後章ニ於テ氏獨創ノ意見ニ付キ述ブル所アルベシ』最近ノ研究ハバスターイブル、グラチアニ二教授ノ財政學ニ關スル一般的著書ノ中ニ之ヲ見ルヲ得此ノ兩書ハ本書第一版ノ出版以前ニ出版セラレバスターイブル教授ハ英國ノ諸先輩ヨリモ一層現實的觀察ヲ本問題ニ下シ一般的研究ニ一章ヲ費シタルノミナラズ各個ノ租稅ノ轉嫁ニ關シ簡單ニ而モ有益ナル研究ヲ加ヘタリグラチアニ教授ノ本問題ニ對スル研究モ亦之ト大躰同様ニシテ兩教授ノ觀察ハ本書後篇ニ論ズル所ト大ニ一致スル所アルヲ見ル

第六章 消極說一名不可知說

此ノ說ハ租稅轉帳ニ付キテハ到底一般的結論ヲ成スコト能ハズトスルモノニシテ租稅轉嫁論ノ項目中ニ列スルノ價值殆ンド皆無ナリト雖實際家中之ノ說ヲ採ル者稀レナラザルヲ以テ一言ヲ費スヲ適當ナリト信ズ

此ノ說ノ最モ適當ナル説明者ヲアドルフ・ヘルドトス氏ノ租稅轉嫁ニ關スル議論ハ生産費ガ常則利潤 (normal profits) ノ條件タルコトヲ認メザルニ基クモノニシテシユレニ從ヒテ地代ノ觀念ヲ一般ニ推シ及ボシ此ノ點ニ於テハ同一ノ思想ヲ撰ビタル英米學者ノ先驅者タリ而シテ此ノ觀念ヲ利潤ニ適用スルトキハ最大生産說又ハ限界生産費說トナリ又利潤ヲ以テ限界生産費ト市場價格ノ差額ナリトスルモノタリト雖而モヘルドハ其ノ說ニ基キ正當ナル結論ヲ成スコトヲ爲サス氏ハ思考鋭敏ニシテ思想高尚ナリシニ拘ハラズ舊派ノ經濟學說ハ總テ無價値ナリトノ思想ニ沈溺シ其ノ批評ハ時ニ眞實ヲ得タルモノアルガ如ク又當ヲ失シタルモノ少カラズ氏ハ他ノ少壯獨逸學者ノ如ク學說ノ建設ヨリハ寧ロ批評ニ長ジ氏自身ガ積極的ニ純粹理論ニ寄與スル所ハ甚ダ大ナラザリシナリ氏ノ說全部ハ生産費說ノ誤解ニ基キ其ノ誤解時ニ殆ンド自恣頑惡ト認メラルルモノアリ故ニ一

時其ノ意見ニ賛成シタル獨逸人スラモ今ハ其ノ極端説ヲ排斥スル狀況ナルヲ以テ其所説ヲ詳細ニ論究スルモ益スル所ナカルベシ氏ノ結論ハ主ニ消極的ニシテ之ヲ概括スレバ吾人ハ租稅轉嫁ノ問題全部ニ付キテハ何物ヲモ知得スルコト能ハズトノ氏ノ自白ヲ引用スルヲ適當ナリトス故ヲ以テ吾人ハヘルドヨリ積極的ニ何物ヲモ學ブ所ナキノミナラズ氏ノ結論ヲ賛成スル學者ハ其ノ地位未ダ重ヲナスニ至ラザルモノニシテ吾人ハ是以上研究ノ歩ヲ進ムルノ必要ヲ認メズ

第七章 社會主義説

此處ニ社會主義説ト稱スルモノハ實ニ前各章ニ述ベタル一般ニ通ズル説ト同等ノ地位ニ置カルベキモノニアラズ其ノ特質ハ名稱ノ示ス如ク一部分的ノモノナリト雖而モ其ノ適用ハ一般ニシテ且ツ社會主義者ノ領袖ハ其ノ勢力ノ及ブ階級間ニ之ヲ傳播セント熱心盡力スルヲ以テ數言ヲ費スノ價值ハ充分ニ存ス此ノ學説ハ大煽動家ラッサルノ創メテ唱導シタル所ニシテ氏ハ特ニ思フ勞働者ノ

利害ニ潜メ個人ノ所得又ハ財産ニ對シ直接ニ課セザル租稅ハ總テ之ヲ間接稅ト稱ス從テ氏ノ所謂間接稅ハ消費ニ對スル租稅ノミナラズ地租營業稅ヲモ包含ス氏曰ハク總テ是等ノ間接稅ハ——例ヘバ獨乙ニアリテハ——結局社會ノ下層階級ノ負擔ニ歸ス何トナレバ獨乙ノ勞働者ハ愛蘭ノ勞働者又ハ印度ノ農民ノ如ク窮乏ノ底ニ沈マザルガ故ニ彼等ヲシテ餓死ノ狀態ニ至ラシムル前ニ其ノ勞銀ヨリ尙聊カ奪取シ得ル所アレバナリト氏ハ語ヲ繼ゲテ曰ハクアダム・スミス及リカドドガ説ク所ハ生産ニ對スル租稅ノ轉嫁ニ關スル理論ニ付テハ充分正當ナリト雖此點ニ於テハ誤アリト云フベシ是勞銀ハ他ノ貨物ノ價格ト比較スルトキハ其ノ騰貴スルコト最モ後ルルコトハ科學上ノ事實ナルガ故ニシテ從テ所謂間接稅ノ總テヲ負擔スル者ハ勞働者ナリ即チ勞働者ハ總テノ租稅ノ大部分ヲ負擔スト此ノ誇張ニ失セル説ハ社會主義論者ノ多數ノ賛成スル所タルノミナラズ社會主義ト相去ルコト甚ダ遠キ通俗記者ノ賛成ヲ得タリ例ヘバトーマス・ジ・イ・シャーマンノ如キハ間接稅ヲ定義スルニ當リテハラッサルヨリモ一層狹義ニ限定スルニ拘ハラズ間接稅ノ轉嫁及影響ヲ説明スルニ當リテ過度ニ失シタルコト氏ト異ナラ

ズ之ニ反シテ一層近代的ニシテ一層科學的ナル觀察ハ直接税ガ先天的ニ善良ナルモノニアラザル如ク間接税モ先天的ニ惡シキモノニアラズ其ノ善惡如何ハ全ク直接税又ハ間接税中ノ何レノ種類ニ屬スルヤニ依リテ決ストスルモノニシテ即チ勞働者ノ負擔トナラザル善良ナル間接税アリ又勞働者ノ負擔ニ歸スル惡シキ直接税アルコト吾人ノ後ニ説明スル所ノ如シ

第八章 數量說一名算數說

租税轉嫁ノ研究ニ貢獻スル所最モ多キニ拘ハラズ近來マデ人ノ注意スル所トナラザリシ一派ノ學者アリ吾人ハ之ノ派ニ對シ適當ノ名稱ヲ附スル能ハサルヲ以テ假リニ之ヲ數量派又ハ算數派ト稱ス而シテ此ノ派ニ屬スル學者ハ其ノ研究ノ方法ハ同一ナリト雖其ノ結論ハ斯ク相同ジカラザリシナリ
此ノ派ノ學者中最初ノ人ニシテ且ツ最モ暗指ニ富メルヲクルノトトス氏ハ租税ノ轉嫁ハ價值ノ一般原理ヨリ分離スベカラザルノミナラズ其ノ重要缺クベカラ

ザル一部ヲ成スモノナリトノ前提ヨリ立論シ其ノ處女作ニシテ而モ最モ深奧ナク著書ニ於テ今日ノ經濟原論ノ新主義ノ必要缺クベカラザル部分ヲ成ス數多ノ通則ヲ定メ價值論ヲ租税論ノ研究ニ適用セント企テタリ氏ハ又獨占ノ範圍ニ屬スル貨物ト競争ノ範圍ニ屬スル貨物トヲ各別ニ研究シ或ル貨物ノ供給價格 (Supply price) ノ増加ガ生産者及消費者ニ如何ナル影響ヲ及ホスカヲ論證スルガ爲メニ微分學ヲ應用シ又此ノ影響ト報酬均一法、報酬遞増法、報酬遞減法トノ關係ヲ解

拆シ以テ本書後篇ニ論述セントスル重要ナル結論ニ到達セリ
折衷派ニ屬スル多數學者ノ粗笨曖昧ナル說ト比較シテクルノ一ノ明瞭精確ナル議論ヲ讀ムトキハ大ニ其ノ惑ヲ解ク所アリト雖而モ氏ノ租税轉嫁ニ關スル所論モ亦盡ク適切ナリト云フヲ得ズ即チ氏ノ研究ハ實際ニ於テハ全部貨物ニ課スル租税ノ轉嫁ニ關シ氏ハ貨物ニ課スル租税及利潤ニ課スル租税以外ニ他ノ諸税ノ存スルヲ看過シ租税ヲ以テ正常供給價格 (normal supply price) 又ハ生産費ヲ増加スルモノナリトスルハ課税ノ結果トシテ生スベキ場合ヲ總テ網羅シ盡シタルモノニアラザルノ事實ヲ知ラザリシナリ然レバ氏ハ其ノ後ノ著書ニ於テハ數學ヲ用

ヒズシテ租稅轉嫁ヲ論究シ其ノ前ニ論シタル所ヲ他ノ租稅ニモ及ボサントセリ乍而此ノ企ハ如何ナル場合ニモ成功セリト必スベカラス或ル場合ノ如キハ——例ヘバ建物稅ノ如キ——其ノ觀察實ニ誤謬ニ陷レルモノアルノミナラズ或ル種ノ租稅全部例ヘバ勞銀ニ課スル諸種ノ租稅ノ如キハ全ク除外セラレ此ノ企モ遂ニ一般的結論ヲ成スニ至ラザリシガ只ダ其ノ貨物稅ニ關スル研究ニ就テハ能ク氏ノ著ニ超ユルコト蓋シ難シトス

クルノ一ノ思想ハ佛國ノ數學家フーボウーノ推擴スル所トナレルモノアリ然リト雖フ氏ハ實際上數多ノ公式以外ニ何等ノ加フル所ナク只ダ樂天主義ニ熱心反對セルガ故ニ主トシテ人ノ注意ヲ引キタルニ過キズ氏曰ハク「租稅ノ分布ハ光線ノ分布ガ蠟燭ノ位置ノ如何ニ拘ハラズ一樣ニ室内ノ各部ヲ輝カスヨリモ一層比例的ナルモノニアラズ」ト氏ハ哀シゲニ本來不公平ナル租稅ノ公平トナルガ如ク本來公平ナル租稅モ其ノ運用ニ依リテ不公平ヲ來タスコト易々タルベシト論結セリ

其ノ後數年ヲ經テ英國ノ數學家フリーミング・ジェンキン亦同一性質ノ研究ヲ爲

シ主トシテ氏ガ貨物稅ト稱スル租稅ヲ論ジタル論文ヲ成セリ氏ハクルノ一ニ關シ何等知ル所ナキハ明カニシテ英人中數學ノ方法ヲ經濟問題ニ應用セル最初ノ一人タリ氏ノ創見的寄與ハ需要曲線(Demand curve)ト供給曲線(Supply Curve)ノ結合ヲ基礎トセル圖ノ使用ニシテ氏ハ之ニ依リテ「貨物稅ガ賣主及買主ノ負擔ニ歸スル比ハ買主ノ支拂フ價格ノ増加ト賣主ノ取得スル價格ノ減少トノ比ニ過キズ」ト論結シタリ然レ雖土地又ハ家屋ニ課スル租稅ニ關スル說ハ日常生活ノ實際上ニ眞實ナル結果ヲ生シ能フニ適合セシムルニノミ專ニシテ却リテ誤レルノミナラズ氏ハ其ノ他ノ租稅ヲ全ク忘却シ租稅轉嫁ノ一般的法則ヲ求メントシテハ殆ンド何等ノ爲ス所ナシ只ダ租稅ノ生産費ニ對スル影響ノ特殊ノ點ニ關スル氏ノ注意ハ暗示的ニシテ余輩之ヲ後章ニ論ズベシ

後幾何モナク近來英國ノ讀者ニ好愛セラルル以太利ノ若キ經濟學者バンタレオニ「ハ租稅轉嫁ニ關シ一部ノ書ヲ著ハセリ氏ハクルノ一ノ著書ヲ知ラズト雖尙數學上ノ線ニ依リテ示サレタル生産費ノ原則ニ其ノ基礎ヲ置カントシ其ノ書ノ大半ヲ經濟原論——價值ノ原理——ノ研究ニ費シタル後主要ナル租稅ヲ各別ニ